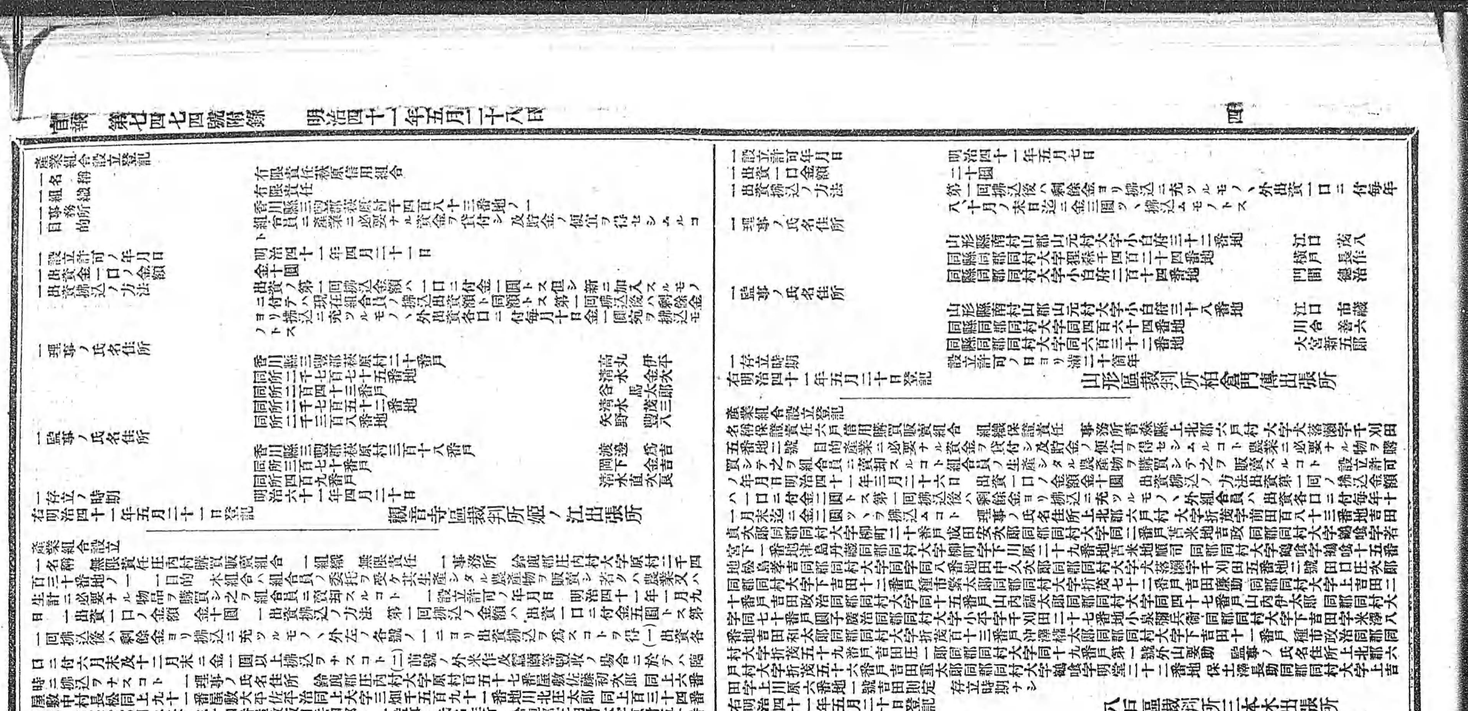

本文

官報　第七千四百七十四號　明治四十一年五月二十八日　木曜日　印刷局

○告示

外務省告示第三號

鴨綠江日清合同材木會社ノ件ニ關シ本月十四日清國駐箚帝國特命全權公使及同國外務部會辦大臣ハ左記取極ニ調印セリ

明治四十一年五月二十八日　外務大臣　伯爵林董

大日本國特命全權公使男爵林權助大清國外務部會辦大臣那桐各本國政府ノ委任ヲ奉シ明治三十八年十二月二十二日卽チ光緖三十一年十一月二十六日締結セル滿洲ニ關スル日清條約附屬協約第十條ノ規定ニ基キ日清合同材木會社ノ章程ヲ協定スルコト左ノ如シ

第一條　鴨綠江右岸帽兒山ヨリ二十四道溝ニ至ル間該江面ヲ距ル六十清里內ヲ割定シテ界ト爲シ（奉天ヨリ委員ヲ派シ日本委員ト會同測定シテ標ヲ立テ界ヲ示ス）界內ノ木材ハ日清兩國合資ヲ以テ採伐事業ヲ經營スルモノトス但シ會社創業ノ始ニ於テハ兩國ヨリ員ヲ派シ局ヲ設ケテ營業シ一箇年後一切ノ事務整頓妥當トナリタルヲ俟チテ兩國ヨリ招商承辦セシムヘシ

第二條　日清合同ノ材木會社ヲ鴨綠江採木公司ト稱ス

第三條　本會社ノ資本ヲ參百萬元トシ日清兩國ヨリ各半額ヲ出資スヘシ

第四條　本會社ハ其ノ總局ヲ安東ニ設置ス又本會社カ必要ト認ムルトキハ督辦ニ居出ノ上夫々各地ニ分局ヲ設置スルコトヲ得

第五條　本會社ハ從來ノ清國木把ノ事業ヲ保全スルコトニ同意ス因テ第一條ニ聲明セル劃定界內ハ會社ノ採伐ニ歸スルモ其ノ界外及ヒ渾江ノ森林ハ仍ホ從來ノ清國木把ノ採伐ニ歸スルモノトス但シ木把ノ要スル資本金ハ本會社ヨリ借入ルヘシ其ノ採伐セル木材ハ江浙鐵路公司所要ノ枕木及渾江沿岸居民自用ノ木材ヲ木把ヨリ直接買取リ得ルノ外其ノ餘ハ全部會社ノ買收ニ歸ス會社ハ市價ヲ按シテ之ヲ發賣シ任意壟斷スルヲ得ス

第六條　會社自ラ採伐セル木材及木把ヨリ買收セル木材ニシテ清國政府及清國諸官署ニ於テ之ヲ需用スルトキハ護照ヲ差出シテ會社ヨリ買取ルヘシ但シ此ノ場合ニハ會社ハ實費ニ依リテ計算シ價格ヲ高ムルヲ得ス

第七條　本會社ノ營業期限ヲ二十五箇年トシ滿期ニ至リ清國政府ニ於テ會社ノ經營事業ヲ尙ホ妥當ナリト認ムルトキハ會社ハ清國政府ニ出願シテ期限延長ノ許可ヲ求ムルコトヲ得

第八條　本會社ニ督辦一人ヲ置キ奉天督撫ヨリ東邊道臺ニ命シテ兼任セシメ會社ノ經營事業ヲ監督ス又理事長二人ヲ置キ日清兩國ヨリ各一名ヲ任命シ會社一切ノ業務ヲ經理ス其ノ他ノ理事技師等ハ理事長協議ノ上選任ス若シ界內ニ於テ入山伐木ノ爲別國人ヲ兼用スルノ必要アルトキハ理事長ヨリ豫メ督辦ノ認可ヲ求メ之ヲ定ムヘシ

第九條　本會社ハ每年末ニ於テ其ノ年內一切ノ事業報告書及收支計算書ヲ作成シ兩國當該官憲ニ提出シテ查閱ヲ受クヘシ

第十條　本會社ハ其ノ收入中ヨリ一切ノ費用ヲ引去リタル純益ノ百分ノ五ヲ報效金トシテ清國政府ニ上納シ殘餘ノ利益ハ日清兩國株主ノ均等分配ニ歸ス會社ノ費用ハ任意支出スルヲ得ス期ヲ按シテ會社使用人ノ俸給其ノ他一切ノ經費額ヲ豫算シ督辦ニ提出シテ認可ヲ受クヘシ

第十一條　會社設立ニ關スル一切ノ辦法ハ此ノ大綱議定ノ後一箇月以內ニ奉天督撫及在奉天日本總領事ヨリ各一名ノ委員ヲ任命シテ詳細ナル章程ヲ商議セシメ協定ノ後之ヲ會社ニ交付シテ遵照辦理セシメ三箇月以內ヲ限リ開業スルモノトス以後會社ニ於テ別ニ規則ヲ定ムル場合ニハ督辦ノ認可ヲ經テ施行スヘシ

第十二條　本會社ノ納付スヘキ木材稅ハ奉天ニ於テ詳細ノ章程ヲ商議スル際兩國委員ニ於テ從來規定ノ稅額ヲ查明シ地方官ニ商議シ同意ノ上酌減スヘシ但シ會社カ輸入スル機械及伐木ニ必要ナル器具等ニ就テハ一切ノ稅金釐金等ヲ免除スヘシ

第十三條　本會社開業ノ後ハ日本國政府ハ現在ノ鴨綠江木材廠ヲ全ク撤去スルコトニ同意ス

大日本國特命全權公使　男爵林權助印
大清國外務部會辦大臣　那　桐印

大日本國明治四十一年五月十四日
大清國光緖三十四年四月十五日　在北京

司法省告示第三十一號

本年四月一日沖繩縣宮古郡間切ヲ廢シ平良村下地村、城邊村、伊良部村ヲ置キタルニ付キ同日以前ニ登記ヲ終結シタル宮古郡間切戶籍役場ノ身分登記簿ハ便宜上同郡平良村戶籍役場ニ於テ保存ス隨テ該身分登記簿ノ閱覽又ハ登記ノ

第7474号 本文

第7474号 本文

謄本若クハ抄本交付ノ請求屆出受理ノ證明ノ請求竝ニ身分登記ノ取消又ハ變更ノ申請ハ平眞村戸籍吏ニ爲スヘシ

明治四十一年五月二十八日　司法大臣　男爵　千家尊福

農商務省告示第百十六號

森林法第三十二條ニ依リ森林ノ開墾ヲ制限スルコト左ノ如シ但シ御料林、國有林竝砂防法其ノ他ノ法令ニ基ク開墾制限地ヲ除ク

明治四十一年五月二十八日　農商務大臣　松岡康毅

一制限事項

開墾ヲ爲サムトスル者ハ所轄地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

一制限區域

國	郡	町村	大字	字
土佐	長岡	東本山	川口	イケナカ
同	同	同	同	ヤマノカミ
同	同	同	同	ヘンロイワヤ
同	同	同	同	ムマノヨケ
同	同	同	同	ナベラノタニ
同	同	同	同	カイダラ
同	同	同	同	トクゾ
同	同	同	同	イノタニ
同	同	同	同	マサゴナ
同	同	同	同	エドノイシ
同	同	同	同	センダチ
同	同	同	同	カゲヤシキ
同	同	同	同	ヲヽスミ
同	同	同	同	ヒノクチ
同	同	同	同	ニシウラ
同	同	同	津家	カキナロ
同	同	同	同	ヘナ
同	同	同	同	松ケ内
同	同	同	同	市ノ内
同	同	同	同	德吉
同	同	同	同	サヤノカミ
同	同	同	葛原	ヲヽスミ
同	同	同	同	イタハシ
同	同	同	立川上名	ヲヽジ
同	同	同	同	カワヲク
同	同	同	同	サガリノヤマ
同	同	同	同	マツバイ
同	同	同	同	ウトキヤマ
同	同	同	同	セリヤム
同	同	同	同	マツバウ子
同	同	同	同	ジンノ
同	同	同	同	カシズカ
同	同	同	同	サガリ
同	同	同	同	ウリウノヤマ
同	同	同	同	アリフカ
同	同	同	同	リウヲヽ山
同	同	同	同	カキノナル
同	同	同	同	ビルダニ
同	同	同	同	サデ
同	同	同	同	カシノヤスバ
同	同	同	同	カシヤマクチ
同	同	同	同	ナダニ
同	同	同	同	サシデ
同	同	同	同	コヤノモト
同	同	同	同	ヲクゼリ
同	同	同	同	ツクポ
同	同	同	同	トチヲ
同	同	同	同	ヨコアレ
同	同	同	同	ヲグルス
同	同	同	同	ニヲガウチヤマ
同	同	同	同	カゲム子
同	同	同	同	アテヤマ
同	同	同	同	コヲロクビ
同	同	同	同	ウメカタニ
同	同	同	同	カシアレ
同	同	同	同	アレバノサコ
同	同	同	同	コエトヲ
同	同	同	同	レモニイタ
同	同	同	同	ハチガウ
同	同	同	立川下名	サヽガム子
同	同	同	同	ヨコガイ
同	同	同	同	スマノキヤ
同	同	同	同	ヲヽノ
同	同	同	同	ガケノナル
同	同	同	同	ノクビ
同	同	同	同	ノベシ
同	同	同	同	エンマノ一
同	同	同	同	コヲガタ
同	同	同	同	コゲヲキカ
同	同	同	同	シモヤシキ
同	同	同	同	シヽアソビ
同	同	同	同	タルノウエ
同	同	同	同	カマノタニ
同	同	同	同	センド
同	同	同	同	カキモ
同	同	同	同	トカケノ
同	同	同	同	カシワノタ
同	同	同	同	ハケヒウラ
同	同	同	同	テンクダキ
同	同	同	同	ムギアレ
同	同	同	同	ツヘノナル
同	同	同	同	カケヒ
同	同	同	同	クズノ
同	同	同	同	ナカノ
同	同	同	同	ウメノキダニ
同	同	同	同	タデキ
同	同	同	同	トギヤ
同	同	同	同	シデナロ
同	同	同	同	トチダニ
同	同	同	同	キトウラ
同	同	同	同	シロカウチ
同	同	同	同	アソアレ
同	同	同	同	ツバキヤマ
同	同	同	同	ヨコガイ
同	同	同	中村大王	水ツチ
同	同	同	同	モミノ本
同	同	同	同	中ゾアレ
同	同	同	同	上ミヤナバ
同	同	同	同	北ハエ
同	同	同	同	中ミネ
同	同	同	同	トンバ
同	同	同	同	長砂
同	同	同	同	弓トり
同	同	同	小川	柚山
同	同	同	同	宮ノ前
同	同	同	同	廣澤
同	同	同	同	クロマツタ
同	同	同	同	フタゴ
同	同	同	同	地磯
同	同	同	同	ヤケダキ
同	同	同	同	中ノ谷
同	同	同	同	フエバ
同	同	同	同	ヲク
同	同	同	同	ミノコシ
同	同	同	杉	下セド
同	同	同	同	上セド
同	同	同	同	上成
同	同	同	同	北押ノ谷
同	同	同	同	高タビ
同	同	同	同	トチノセ
同	同	同	敷岩	エノキノウ子
同	同	同	同	ヒルノサコ
同	同	同	同	大日浦
同	同	同	同	ウ子ナシ
同	同	同	同	サヽノサコ
同	同	同	穴内	鹿子ガモリ
同	同	同	同	カキナル
同	同	同	同	上巳家床
同	同	同	同	シガキ
同	同	同	同	シマダ
同	同	同	同	ヲヽヤ
同	同	同	和田	大捻梅
同	同	同	同	和田奥
同	同	同	同	溝ノ口
同	同	同	同	矢口
同	同	同	同	チヤバタケ
同	同	同	同	ヨコハタケ
同	同	同	同	横野山
同	同	同	同	コミアレ
同	同	同	同	ナカヲク
同	同	同	同	アヲモン
同	同	同	同	タリノ向
同	同	西豐永	永淵	ヒリ
同	同	同	同	ミツガモリ
同	同	同	同	イベタニ
同	同	同	桃原	ヤスバ
同	同	同	同	高山
同	同	同	遠火	築
同	同	同	同	城山
同	同	同	川戸	田中
同	同	東豐永下	土居	サデ
同	同	同	同	柿ノ畝
同	同	同	同	ツガノ畝
同	同	同	同	塚ノ下
同	同	同	佐賀山	鎌谷山
同	同	同	中屋	城山ノ北
同	同	同	同	ヲシノス
同	同	同	同	瀬ノ上
同	同	同	同	平石
同	同	同	同	岩屋ノ本
同	同	同	同	クハザコ
同	同	同	黒石	野地ノサコ
同	同	同	同	長サコ
同	同	同	同	長サコノ
同	同	同	同	西ノ畝
同	同	同	同	尾ノ畝
同	同	同	同	一升ナル
同	同	同	同	鷲ノ巣
同	同	同	庵谷	雨カ森
同	同	同	同	ツガノ尾
同	同	同	同	大ザワ
同	同	同	同	城山
同	同	同	同	梶カ島
同	同	同	船戸	ウスヲキ
同	同	同	同	水呑
同	同	同	同	天狗ノナル
同	同	同	同	ヒトクラ
同	同	同	安野々	ダケノカ
同	同	同	同	東ライ
同	同	同	同	ウチダ
同	同	同	同	ウトヲ
同	同	同	同	ヒラノ宮
同	同	同	寺内	堀田畝
同	同	同	同	堀田
同	同	同	同	セン本
同	同	同	同	ヲモチ
同	同	同	同	笠松
同	同	同	同	ミサコ山
同	同	同	同	フルツク石
同	同	同	大砂子	ムマノ
同	同	同	同	イワガラ
同	同	同	同	ハナソノ
同	同	同	同	ヨコアレ
同	同	同	同	上二段歩
同	同	同	上東	上水ノ木
同	同	同	同	タカバ
同	同	同	同	宮ノ谷道ノ上
同	同	同	同	燈明堂道ノ上
同	同	同	同	新宅
同	同	同	同	長畑
同	同	同	西久保	ホドノ山
同	同	同	同	ホドミ山
同	同	同	同	クルミ山
同	同	同	同	ニカチ
同	同	同	同	茶ウスタ
同	同	同	同	キヤノタ
同	同	同	同	コヤノサキ
同	同	同	同	山神ノサ
同	同	同	同	シヲウリ
同	同	同	同	ノ向ヒ
同	同	同	同	マル山
同	同	同	同	クロカナ
同	同	同	同	ヤス

國	郡	町村	大字	字
同	同	同	同	ホソノ上
同	同	同	同	タキノサキ
同	同	同	同	キドロ
同	同	同	同	カウタ畝
同	同	同	同	山ノ神ノ上
同	同	同	船戸	堀切
同	同	同	同	瀬ノ上
同	同	同	同	大荒
同	同	同	梶ケ内	平野
同	同	同	奥大田	佐辨當
同	同	同	同	小休場
同	同	同	同	総ノ口
同	同	同	同	白石
同	同	同	同	宇戸ケ追
同	同	同	同	阿勢美ノ追
同	同	同	同	奥
同	同	同	同	傳兵衛屋式
同	同	同	同	追ノ向
同	同	東豐永	西川	タケノハナ
同	同	同	同	西アド
同	同	同	同	イチカケ
同	同	同	同	北高島
同	同	同	同	ミヤトコ
同	同	同	同	コウロ
同	同	同	同	西柳ノ木
同	同	同	同	南高島
同	同	同	同	イテクチ
同	同	同	同	北カシヤ
同	同	同	同	東柳ノ本
同	同	同	同	西松ノ本
同	同	同	同	東アカスエ
同	同	同	同	シヨプノ
同	同	同	同	クボウ
同	同	同	同	西コウカ
同	同	同	同	ノナル
同	同	同	同	カワラノ
同	同	同	同	ウ子ラノ
同	同	同	同	ヒラナベ
同	同	同	同	南トコロノ
同	同	同	同	イヲリ山
同	同	同	同	南井デノ
同	同	同	同	上エ
同	同	同	大平	ヲヽチ
同	同	同	同	桑平
同	同	同	同	コイノヲ
同	同	同	同	上中山
同	同	同	同	山王
同	同	同	同	東山
同	同	同	同	宮ノ上エ
同	同	同	同	宮ノ西
同	同	同	粟生	城山
同	同	同	同	城ノ北山
同	同	同	同	トヲ見石
同	同	同	同	タロヲ南山
同	同	同	同	タロウ山
同	同	同	同	大山
同	同	同	同	タロウ畝
同	同	同	同	長川原
同	同	同	同	セカシ
同	同	同	同	橋ノ岡
同	同	同	同	竹ノ後
同	同	同	同	トチ溝谷
同	同	同	同	阿ン場
同	同	同	同	閑ノカミ
同	同	同	同	指出カゲ
同	同	同	同	ヲス谷
同	同	同	同	コヤトコ
同	同	同	同	東雲地
同	同	同	下ノ土居	太其
同	同	同	同	狸穴
同	同	同	同	タケ山
同	同	同	同	メヲトイシ
同	同	同	同	ヒノクチ
同	同	同	八畝	大休場下
同	同	同	同	岩平下タ
同	同	同	同	大川上
同	同	同	同	井手ノ下
同	同	同	同	岩平上
同	同	同	同	フタコブチ
同	同	同	同	カマタキ
同	同	同	同	黒瀧
同	同	同	同	檜山北
同	同	同	同	タカジキ
同	同	同	南大王	り
同	同	同	同	新茶アレ
同	同	同	同	シヨガタキ
同	同	同	立野	井ノクロ
同	同	同	同	ソヲノクボ
同	同	同	大瀧	大杉
同	同	同	同	大杉瀧
同	同	同	同	二津岩
同	同	同	同	鍛冶屋上
同	同	同	同	一本木
同	同	同	同	池ノ前
同	同	同	同	多羅内
同	同	同	同	三方堺
同	同	同	同	細野
同	同	同	同	上ノ成
同	同	同	同	大毛田
同	同	同	同	戸家砂
同	同	同	同	上休場
同	同	同	八川	ヌル井ノウエ
同	同	同	同	ハテトコナル
同	同	同	同	ホウズカ
同	同	同	同	コヲ口
同	同	同	同	ハツソヲ
同	同	同	同	コヤスバ
同	同	同	同	ナカス
同	同	同	筏木	松サコ
同	同	同	同	ヨコアレ
同	同	同	同	ナカヲカ
同	同	同	岩原	中岡北
同	同	同	同	シマノサコ
同	同	同	同	アツキアレ
同	同	同	同	カンバヲ
同	同	同	同	カ大道ノ上
同	同	同	同	西ハツソヲ
同	同	同	同	八船ノ峯
同	同	同	同	八ワソヲ
同	同	同	同	横山
同	同	同	同	西横山
同	同	同	同	西中荒
同	同	同	同	上ハトヲシ
同	同	同	同	コチノ峰
同	同	同	同	クワウチ
同	同	同	同	上ハ水ノ本
同	同	同	同	東奈良ノ畝
同	同	同	同	トチノ本
同	同	同	同	上ハヨシガノ
同	同	同	川井	渡瀬
同	同	同	同	柳淵
同	同	同	同	竹ノ向
同	同	同	同	城ノナル
同	同	同	同	池ノナル
同	同	同	同	竹首
同	同	同	同	石堂
同	同	同	柚ノ木	落合
同	同	同	同	鈴賀畝下
同	同	同	同	仁井屋前
同	同	同	同	中ノ泊下
同	同	同	同	浅尻
同	同	同	同	中ノ川東
同	同	同	同	向屋
同	同	同	怒田	大ボシ
同	同	同	同	小城
同	同	同	同	耶岩淵
同	同	同	同	赤淵
同	同	同	同	上野城
同	同	同	同	モヽナ田
同	同	同	西峰	シソキ
同	同	同	同	谷道
同	同	同	同	打置
同	同	同	同	ワカバサコ
同	同	同	同	大野休場
同	同	同	同	エビス
同	同	同	同	高場岡
同	同	同	同	下タチカラ
同	同	同	同	力石
同	同	同	同	ハギヤスバ
同	同	同	同	エヒスギ
同	同	同	同	トヲ
同	同	同	同	打越
同	同	同	同	トチノナ
同	同	同	同	ロ山
同	同	同	同	水屋谷
同	同	同	同	カクトヲ
同	同	同	同	切
同	同	同	同	ワクスヾ山
同	同	同	高原	廣瀬
同	同	同	同	古井堂地
同	同	同	同	長荒
同	同	同	同	カトヲ瀧
同	同	同	同	黒柿
同	同	同	同	上エ井溝
同	同	同	中内	ウツナル
同	同	同	同	丸山
同	同	同	同	山ノ神
同	同	同	同	休場西
同	同	同	同	休場
同	同	同	同	平野
同	同	同	同	西ノ峰
同	同	新改	平山	西ノ城
同	同	同	同	權ノ木谷
同	同	天坪	同	[illegible]
同	同	同	北川	クスノ畝
同	同	同	同	高山
同	同	同	同	岩中
同	同	同	同	城岸山
同	同	同	同	抜立山
同	同	同	同	三傍士
同	同	同	角茂谷	岩瀧山
同	同	同	同	黒磯山
同	同	同	同	子ノ岡
同	同	同	同	ユ木谷
同	同	同	同	寶林
同	同	同	同	カセノ
同	同	同	同	ヤシキノ
同	同	同	同	三寶ノ畝
同	同	同	同	川上
同	同	同	同	宮ヲガ畝
同	同	同	同	橘カサ
同	同	同	同	東ニガ
同	同	同	同	南リエガ
同	同	同	同	中ヒロサ
同	同	同	同	南ヤシバ
同	同	同	馬瀬	岩屋ノ元
同	同	同	同	高ヤノ畝
同	同	同	同	中イラ
同	同	同	同	石土
同	同	同	同	西長畝
同	同	同	同	猪谷ノ戸
同	同	同	同	瀬
同	同	同	同	越サヽタレ
同	同	同	同	堂ノラネ
同	同	同	戸手野	兜右
同	同	同	同	松本
同	同	同	同	蜂ノ巣
同	同	同	繁藤	神ノ元
同	同	同	同	西向
同	同	同	同	中
同	同	同	同	岩屋佐古
同	同	同	同	鱗谷
同	同	同	同	牛ケ谷
同	同	同	同	東トチ谷
同	同	同	同	北路
同	同	同	同	明神谷
同	同	同	同	舟谷
同	同	同	樫谷	木地ケ樋
同	同	同	同	池ノ本
同	同	同	同	仲瀧
同	同	同	穴内	フルツク
同	同	同	同	柳瀬
同	同	同	同	岩見峠
同	同	同	同	赤荒
同	同	同	同	鉄砧
同	同	同	北瀧本	本瀧
同	同	同	同	西別宮内
同	同	同	同	大別宮
同	同	同	同	小別宮
同	同	同	同	下中山
同	同	同	同	澤ノ水
同	同	同	同	下土山
同	同	同	同	篠原
同	同	同	同	上小谷ケ
同	同	同	同	中小倉
同	同	同	同	ヒロクボ
同	同	同	同	シヨウガナ
同	同	同	同	ロ

同	同	同	同	ケヤキ谷
同	同	同	同	シイノ谷
同	同	同	同	シラヒゲ
同	同	同	同	青野山
同	同	同	同	上ミ青野
同	同	上倉	黒瀧	カナトコ
同	同	同	同	ヒラモヲ
同	同	同	同	焼瀧
同	同	同	同	鳩ノ巣
同	同	同	桑ノ川	瀬戸
同	同	同	同	鴨ノ巣
同	同	同	同	城瀧
同	同	同	同	高岩
同	同	同	同	横野
同	同	同	同	八ケ森
同	同	同	同	ヤネ松
同	同	同	同	城瀧
同	同	同	大改野	キワタガ谷
同	同	同	同	檜瀧
同	同	同	同	唐谷
同	同	同	同	笠松ケ畝
同	同	同	同	釜ガ日浦
同	同	同	中ノ川	東川ノ向ヒ
同	同	同	同	釜カ日浦
同	同	同	同	モキアレ
同	同	同	同	焼瀧
同	同	同	中谷	北地山
同	同	同	同	瀬戸カゲ
同	同	同	同	小屋ノ前
同	同	同	同	鹿遊
同	同	同	同	切秡
同	同	同	同	シヅキ瀧
同	同	同	上倉	北路
同	同	同	同	コヲレ山
同	同	同	同	横ノ山
同	同	同	同	赤土ノ平
同	同	同	同	笠松ケ畝
同	同	同	同	上大門
同	同	同	同	大門奥ノサコ
同	同	同	同	横野
同	同	同	同	北立尾
同	同	同	同	ヲヽウヱ
同	同	同	同	立尾
同	同	同	同	大マガリ
同	同	同	同	クラヽ
同	同	同	同	谷ノ木
同	同	同	同	マトバ
同	同	同	同	西裏谷
同	同	同	同	柿ノ本
同	同	同	同	竹ダヲシ
同	同	同	同	子ビキ
同	同	同	同	上子ビキ
同	同	同	同	木ヲジカ森
同	同	同	同	上屋敷
同	同	同	同	東裏
同	同	同	同	谷口
同	同	同	同	ガンギノモト
同	同	同	同	シミヅ
同	同	同	同	立テ
同	同	同	同	中山
同	同	同	中谷	ミヤザレ
同	同	同	同	東路
同	同	同	同	カライワ
同	同	同	同	フカンドウ
同	同	同	同	藤カ瀧
同	同	同	同	コヤトコ
同	同	同	同	フクノソヲ
同	同	同	同	中瀧
同	同	同	同	スヾガウ子
同	同	同	同	大ケタ
同	同	同	同	サララ木谷
同	同	同	同	トモヅクリ
同	同	同	同	ヤヂノムカイ
同	同	同	同	宮ノ谷
同	同	同	同	宮ノ平
同	同	同	同	ウルシガヒラ
同	同	同	同	ウルシガ谷
同	同	同	同	石田
同	同	同	同	上水口
同	同	同	同	サガヤマ
同	同	同	同	木戸口
同	同	同	同	上大隅
同	同	同	同	西大隅
同	同	同	同	東大隅
同	同	同	同	イワガラ
同	同	同	同	ウヂタニ
同	同	同	同	サカノウ子
同	同	同	同	笹ノ本
同	同	同	同	和田ノ空
同	同	同	同	陰屋敷
同	同	同	同	流レ田
同	同	同	同	和田屋敷
同	同	同	奈呂	宮ノ久保
同	同	同	同	境谷
同	同	同	同	西境谷
同	同	同	同	カウベ
同	同	同	同	西カウベ
同	同	同	同	上平數
同	同	同	同	上屋敷
同	同	同	同	奴田ノ本
同	同	同	同	水谷
同	同	同	同	黒屋敷
同	同	同	同	扶谷
同	同	同	同	西屋敷
同	同	同	同	鬼ケ平
同	同	同	同	藏谷
同	同	同	同	大隅ノ上
同	同	同	同	大隅
同	同	同	同	東谷
同	同	同	同	宮ノ谷
同	同	同	同	土山
同	同	同	同	東田野々
同	同	同	同	大森
同	同	同	同	松山口
同	同	同	同	松山
同	同	同	同	モヽノ木サコ
同	同	同	同	馬ケ谷
同	同	同	同	十二所
同	同	同	同	北十二所
同	同	同	同	シゴウヤシキ
同	同	同	同	中ヤシキカゲ
同	同	同	同	竹ノモトカゲ
同	同	同	同	岩屋ガ谷
同	同	同	同	ヒジリノ上
同	同	同	同	中ウ子
同	同	同	同	石ドウガ谷
同	同	同	同	竹ノモト
同	同	同	同	宮ノ下
同	同	同	同	宮ノ上
同	同	同	同	宮ノカゲ
同	同	同	同	サワノ谷
同	同	同	同	ウドケ谷
同	同	同	同	西平
同	同	同	同	ウトゲ谷
同	同	同	同	ヤジノモト
同	同	同	同	釜床
同	同	同	同	ハチダイ
同	同	同	八京	瀧戸北山
同	同	同	同	八丈岩
同	同	同	同	東唐岩
同	同	同	同	傍示カ森
同	同	同	同	大森
同	同	同	同	盤越南平
同	同	同	同	カニコヱミチ
同	同	同	同	景谷西ノ谷
同	同	同	同	矢師谷東佐古
同	同	同	同	矢師谷中佐古
同	同	同	同	上森屋カウ子
同	同	同	同	矢師カ谷
同	同	同	同	西佐古上ヘ
同	同	同	同	屋地ノ上
同	同	同	同	東葛屋敷
同	同	同	同	カウノス谷
同	同	同	同	大シダノ
同	同	同	同	サコ北地
同	同	同	同	上泉佐古
同	同	同	同	上イヲ木
同	同	同	同	ガミ子
同	同	同	同	イヲキカウ子
同	同	同	同	登立東地
同	同	同	同	東大久保
同	同	同	同	西大久保
同	同	同	同	大久保南ヌタ
同	同	同	同	大角石ガサコ
同	同	同	同	葛山
同	同	同	同	青ガタ尾
同	同	同	同	ノ上ミ
同	同	同	同	總カ谷
同	同	同	同	高森
同	同	同	同	上中黒
同	同	同	同	スヽカ谷
同	同	同	同	ナガレ
同	同	同	同	大谷
同	同	同	同	カタブキ谷
同	同	同	同	燧石
同	同	同	同	漆ケサコ
同	同	同	同	コマレ越南谷
同	同	同	同	大岩谷
同	同	同	同	椿ノ本
同	同	同	同	領知作リ
同	同	同	同	乳母ガ瀧
同	同	同	同	瀧戸西山
同	同	同	同	小丸山西平
同	同	同	同	小谷口
同	同	同	同	エンドヲジリ
同	同	同	同	フトガウ
同	同	同	同	子ロクボ
同	同	同	白木谷	佐古田
同	同	同	同	瀬戸ケ谷
同	同	同	同	黒岩谷
同	同	同	同	下小松
同	同	同	同	瀬ケ淵
同	同	同	同	尾花
同	同	同	同	三貫立
同	同	同	同	上鍛冶屋谷
同	同	同	同	新田
同	同	同	同	東汗田
同	同	同	同	柳カ本
同	同	同	同	橋石
同	同	同	同	一道木
同	同	同	同	椎ノ木カ佐古
同	同	同	同	井ノ木
同	同	同	同	西久オ尾
同	同	同	同	櫛山
同	同	同	同	細サコ
同	同	同	同	松山
同	同	同	同	鵜居カ窪
同	同	同	同	北惣大カ打
同	同	同	同	市ノ内
同	同	同	同	西萩野
同	同	同	同	峰カ打
同	同	同	同	大屋敷
同	同	同	同	中ノ谷
同	同	同	同	姥ケ岩
同	同	同	同	楢ノ本
同	同	同	同	林ノ空
同	同	同	同	長佐古
同	同	同	同	上殻谷
同	同	同	同	長通リ
同	同	同	同	清水
同	同	同	同	大隅
同	同	同	同	西ノ瀧
同	同	同	同	高畠
同	同	同	同	北馬突岩
同	同	同	同	德善
同	同	同	同	赤松ケ尾
同	同	同	同	馬突岩
同	同	同	同	長倉
同	同	同	同	瓦堂
同	同	同	同	上瀧カ谷
同	同	同	同	北番所
同	同	同	同	南番所
同	同	同	同	北聖
同	同	同	同	中聖
同	同	同	同	南聖
同	同	同	同	下笠椎谷
同	同	同	同	五郎谷
同	同	同	同	上林ノ尾
同	同	同	同	上黒磯
同	同	同	同	田ノ谷
同	同	同	同	彦谷
同	同	同	同	岡尾
同	同	同	同	上木榭
同	同	同	同	小野カ谷
同	同	同	同	上大岩谷
同	同	同	同	大ツヱ
同	同	同	同	登カ谷
同	同	同	同	椎木谷
同	同	同	同	植込
同	同	同	同	蒲癸
同	同	同	同	上嵯峨
同	同	同	同	檜原谷
同	同	同	同	中嵯峨
同	同	同	同	下嵯峨
同	同	同	同	割石
同	同	同	同	市ノ尾
同	同	同	同	馬角
同	同	同	同	箕底
同	同	同	同	南谷
同	同	同	同	松山
同	同	同	同	大平
同	同	瓶岩	矢崎	所林
同	同	同	同	カマガ谷
同	同	同	同	樋ノ谷
同	同	同	龜岩	五郎兵衛谷
同	同	同	同	櫟山第三番

（四）

同	同	同	同	櫟山第四番
同	同	同	同	櫟山
同	同	同	同	坂ノ付
同	同	同	同	釣瓶
同	同	同	同	サデ
同	同	同	同	松尾
同	同	同	同	モトノヲ
同	同	同	同	境谷
同	同	同	同	清川
同	同	同	同	蟹越
同	同	同	同	上中山
同	同	同	同	東平
同	同	同	同	大岩ノ木
同	同	同	同	新田
同	同	同	同	大龜岩
同	同	同	同	落合
同	同	同	同	間山
同	同	同	同	屋根松
同	同	同	同	祇園
同	同	同	外山	名家谷
同	同	同	同	楠原
同	同	同	同	荒初林
同	同	同	同	ニカゲ
同	同	同	同	松原
同	同	同	同	光リ岩
同	同	同	同	中内
同	同	同	同	横地
同	同	同	同	マトバ
同	同	同	同	影山
同	同	同	同	名元屋敷
同	同	同	同	上ムクロ
同	同	同	同	ガナロ
同	同	同	才谷	眞蛇ノ畝
同	同	同	同	女夫岩
同	同	同	同	向ヒ山
同	同	同	同	横山
同	同	同	同	大向イ
同	同	同	同	宮ノ畝
同	同	同	同	宮ノ谷
同	同	同	同	別處ノ谷
同	同	同	同	山ノ神
同	同	同	同	坊ノ畝
同	同	同	同	西山
同	同	同	同	栗ケ畝
同	同	同	同	水ケ久保
同	同	同	同	立岡
同	同	同	天行寺	中川原
同	同	同	同	青谷
同	同	同	同	栃谷
同	同	同	同	小守
同	同	同	同	庄次谷
同	同	同	同	久保ノ畔
同	同	同	成合	祇園
同	同	岡豊	瀧本	金子ノ上
同	同	同	同	壁岩
同	同	同	同	東谷
同	同	同	同	王子カ谷
同	同	同	同	呉磯
同	同	同	同	橘谷

農商務省告示第百十七號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年五月二十八日　農商務大臣　松岡康毅

國	郡	村	大字	字	地番	面積
信濃	西筑摩	大桑	野尻	秋ケ澤	三、一四九	五七二〇ノ內 一三二六
同	同	讀書	—	羅天	四、九八六	四、五六〇二ノ內 三六〇八
同	同	同	—	片ランカン	四、九〇三	二二〇ノ內 八

農商務省告示第百十八號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十一年五月二十八日　農商務大臣　松岡康毅

國	郡	町村	大字	字	地番	面積
大和	吉野	四鄕	大豆生	八幡	七四四	一、六四二五
同	添上	佐保	法蓮	山畑	一、九二七	九一一五
同	同	櫟本	櫟本	治道山	二、四八九	二〇二二
同	同	同	楢	上ノ宮	八九八	一、〇七二六
同	同	治道	横田	市場	二四	六一〇七
同	同	同	白土	宮東	五九二	七〇五

農商務省告示第百十九號

森林法ニ依リ保安林編入ニ關シ所轄地方長官ニ於テ告示シタル左記ノ箇所ハ之ヲ保安林ニ編入セス

明治四十一年五月二十八日　農商務大臣　松岡康毅

國	郡	村	大字	字	地番	面積	所有者
上野	吾妻	嬬戀	鎌原	綸ノトヤ	一〇五三ノ二八	四七三、六六二〇ノ內 一〇三、五〇〇〇	佐々木政治

農商務省告示第百二十號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十一年五月二十八日　農商務大臣　松岡康毅

國	郡	村	大字又ハ總稱	字	地番	編入面積	所有者
上野	吾妻	嬬戀	南木山	水ノ登	二六	三〇九、二九〇五	國
同	同	同	同	淺間山	二	九五一、三三一〇	同
同	同	同	鎌原	大ガイジコ	一〇五三ノ一	二一〇、八三一〇	嬬戀村大字鎌原村同芦生田村同大前村同大笹村及長野原町大字應桑村
同	同	同	同	モロシコ	一〇五三ノ二六	八四〇、一六二〇	同
同	同	同	同	三尾山	一〇五三ノ三二	三七四、五八一〇	同
同	同	同	同	横笹	一〇五三ノ三五	一四四、一六二〇	同
同	同	同	同	籠ノ登	一〇五三ノ三六	實測 二〇九、七五二五	若旅喜一郎
同	同	同	同	モロシコ	一〇五三ノ二七	三〇〇、〇〇〇〇ノ內 一四二、五〇〇〇	佐々木政治
同	同	同	同	綸ノトヤ	一〇五三ノ二八	四七三、六六二〇ノ內 三七〇、一六二〇	同

遞信省告示第五百六十七號

明治四十年九月遞信省告示第五百七十七號外國小包郵便物ノ取戻若ハ名宛變更又ハ代金引換外國小包郵便物ノ代金引換ノ取消若ハ其ノ金額低減ニ關スル請求書ヲ宛ツヘキ外國官署ニ左ノ二項ヲ追加ス

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

大不列顚及愛蘭（瑞西國ノ媒介ニ依ルモノ）	「バール」第十五局	Bureau de Poste Suisse de Bâle 15.
亞米利加合衆國（瑞西國ノ媒介ニ依ルモノ）	「バール」第十五局	Bureau de Poste Suisse de Bâle 15.

遞信省告示第五百六十八號

明治三十八年十二月遞信省令第八十四號ニ依リ來六月一日ヨリ左記鑛業特設電話所ヲ設置ス

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

名稱	位置
筑後鑛山（チクゴコウザン）鑛業特設電話所	福岡縣八女郡星野村

遞信省告示第五百六十九號

來六月一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

名稱	位置	名稱	位置
糸崎郵便局	廣島縣御調郡貢村	唐津郵便局	佐賀縣東松浦郡唐津町

（五）

第7474号 本文

遞信省告示第五百七十號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加改正シ來六月一日ヨリ施行ス

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

追加

	加入區域外通話區域	一通話ノ電話料	一回ノ電話呼出料
「大宮高崎間」ノ次ニ	長大宮岡谷間	金六十錢	金二十錢
「熊谷高崎間」ノ次ニ	長熊谷岡谷間	金六十五錢	金二十錢
「長東京山形間」ノ次ニ	長東京石卷間	金一圓	金二十五錢

改正

岡山丸龜間	金三十錢	金二十錢

遞信省告示第五百七十一號

明治四十年九月遞信省告示第五百六十九號本邦ト國際返信切手券ヲ交換スル國名表中「伯西兒」ヲ削除シ「在「マロック」佛國局」ノ次ニ「在土耳古佛國局」ヲ加フ

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

遞信省告示第五百七十二號

明治四十年九月遞信省告示第五百八十五號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル諸國等ヲ示ス表「第一　通常爲替」ニ「一　直接交換國」「甲　羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノ」ノ部中獨逸保護國「トゴ」ノ項「「ロメ」(Lome)」ノ次ニ「「ポルト、セグロ」(Porto Seguro)」ヲ加フ

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

遞信省告示第五百七十三號

來六月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

名稱	位置
上磯郵便局	北海道渡島國上磯郡上磯村

遞信省告示第五百七十四號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中「石狩國札幌郡豐平村大字豐平」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

一渡島國上磯郡上磯村大字上磯村字下町、同上町、同濱榮町、同川原町、同飯生町、大字谷好村字宗山川尻、同北三ッ谷、同南三ッ谷、同宗山ノ內（自一番地至十六番地）

遞信省告示第五百七十五號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

	加入區域外通話區域	一通話ノ電話料	一回ノ電話呼出料
「江差函館間」ノ次ニ	江差上磯間	金二十錢	金十五錢
「壽都函館間」ノ次ニ	壽都上磯間	金四十錢	金二十錢
「瀧川旭川間」ノ次ニ	函館上磯間	金十錢	金十錢

遞信省告示第五百七十六號

來六月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

名稱	位置	名稱	位置
舞子郵便局	兵庫縣明石郡垂水村	妹尾郵便局	岡山縣都窪郡妹尾町

遞信省告示第五百七十七號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ來六月一日ヨリ施行ス

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

「播磨國明石郡垂水村ノ內大字山田」ノ下ニ同東垂水（字平尾ヲ除ク）、同西垂水」

「備中國都窪郡早島町大字早島」ノ項ノ次ニ

一備中國都窪郡妹尾町大字妹尾、同箕島字清戸、同東新田、同赤松、同門前、同樋ノ口、同濱

遞信省告示第五百七十八號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年五月二十八日　遞信大臣　子爵堀田正養

	加入區域外通話區域	一通話ノ電話料	一回ノ電話呼出料
「大阪早島間」ノ次ニ	大阪妹尾間	金五十錢	金二十錢
「神戸早島間」ノ次ニ	神戸妹尾間	金四十錢	金二十錢
「岡山早島間」ノ次ニ	岡山妹尾間	金十錢	金十錢
「倉敷早島間」ノ次ニ	倉敷妹尾間	金十錢	金十錢
「米子杵築間」ノ次ニ	早島妹尾間	金五錢	金五錢

關東都督府告示第四十九號

明治四十一年五月二十一日ヨリ瓦房店郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年五月十五日　關東都督　子爵大島義昌

關東都督府告示第五十號

明治四十年二月告示第八號電話加入區域外通話區域及電話料中左ノ通追加シ明治四十一年五月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年五月十五日　關東都督　子爵大島義昌

加入區域外通話區域	一通話時ノ通話料	一回ノ電話呼出料
大連大石橋間	金八十錢	金二十五錢
大連牛家屯間	金九十錢	金二十五錢
旅順大石橋間	金九十錢	金二十五錢
旅順牛家屯間	金一圓	金二十五錢
大連瓦房店間	金三十五錢	金二十錢
旅順瓦房店間	金五十錢	金二十錢
金州瓦房店間	金二十五錢	金十五錢
柳樹屯瓦房店間	金二十五錢	金十五錢
大石橋瓦房店間	金四十五錢	金二十錢
牛家屯瓦房店間	金五十錢	金二十錢

關東都督府告示第五十一號

明治四十年二月告示第十號電話呼出地域中左ノ通追加ス

明治四十一年五月十五日　關東都督　子爵大島義昌

一瓦房店（支那町ヲ含ム）

正誤

本月六日農商務省告示第八十一號中一三一頁下段十四行町村ノ部ニ同ノ字ヲ脱ス一三二頁上段六行二六五ハ二六五ノ一同十七行栢ヶ枝ハ松ヶ枝同下段二十七行町村ノ部同ハ河曲一三三頁上段二十四行北ノ裏ハ北裏一三四頁上段十三行七、六〇八ノ甲ハ七、六〇七ノ甲同四十一行皆岐ハ比自岐同下段二十三行二、七〇五ハ二、〇七〇五同九日同第九十二號中二一三頁二十行一、三五一ハ一、三一五二一五頁下段末行八三三ハ八八三ノ孰モ誤

農商務書記官

同六日同第八十一號中一三三頁上段三十一行二〇四甲ハ二〇四乙同九日同第九十二號中二一五頁下段四十六行六四六ハ八四六昨二十七日官報統監府告示第七十七號中初行明治四十一年ハ明治四十年ノ孰モ誤植

○敍任及辭令

○明治四十一年五月二十七日

兼任大藏書記官
敍高等官六等
衆議院書記官從七位勳六等　工藤重義

任統監府通信管理局事務官兼統監府通信事務官
敍高等官六等
統監府通信事務官正七位勳六等　佐々木三郎

帝國鐵道廳技師　久野知義
帝國鐵道廳參事　矢野亮一
（各通）

御用有之歐米各國ヘ被差遣　帝國鐵道廳參事　大園榮三郎

御用有之英領印度緬甸英領海峽殖民地佛領東京及暹羅國ヘ被差遣（以上（五月二十七日）内閣）　農事試驗場技師　安藤廣太郎

主計局勤務ヲ命ス（（五月二十七日）大藏省）　大藏書記官　工藤重義

免本職臺灣總督府陸軍部附被仰付（（五月二十六日）陸軍省）　東京灣要塞司令部部員陸軍砲兵大尉　山本新太郎

御用有之滿洲ヘ被差遣
軍事參議官陸軍大將伯爵　乃木希典
參謀本部部員陸軍工兵少佐　靜間知次
（各通）

參謀本部部員兼軍事參議官副官陸軍步兵大尉　松木直亮

軍事參議官陸軍大將伯爵乃木希典滿洲ヘ差遣ニ付隨行被仰付

獨逸國駐在被免軍事研究トシテ墺國駐在被仰付　陸軍騎兵大尉　鈴木文次郎

陸軍省御用掛兼勤ヲ免ス　陸軍士官學校教官陸軍工兵大尉　本多照曦

免本職臨時測圖部分班長被仰付　陸軍士官學校教官陸軍工兵大尉　本多照曦

免本職補步兵第四十九聯隊附　步兵第四十九聯隊大隊副官陸軍步兵中尉　小野寺彥次郎

免本職補步兵第四十九聯隊大隊副官　步兵第四十九聯隊附陸軍步兵中尉　渡邊三郎

免本職東京砲兵工廠附被仰付　長崎重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　宮杜次郎

停職被仰付　參謀本部部員陸軍步兵少佐　高塚疆

退役被仰付（以上（五月二十七日）同）　陸軍步兵中尉　桑原貞介

補大審院判事　判事　平野猷太郎

補名古屋控訴院檢事　檢事　吉益俊次

二級俸下賜　大審院判事判事　平野猷太郎

六級俸下賜　名古屋控訴院檢事檢事　吉益俊次

裁判所書記登用試驗委員ヲ命ス（以上（五月二十六日）司法省）　鹿兒島地方裁判所判事判事　內田正二

補大阪地方裁判所部長　大阪控訴院判事判事　荒木精一郎

兼補神戸地方裁判所判事　神戸區裁判所判事判事　岩本麻次郎

補東京地方裁判所判事　前橋地方裁判所判事判事　北島旦吉

豫審掛ヲ命ス　東京地方裁判所判事判事　北島旦吉
神戸地方裁判所判事兼神戸區裁判所判事判事　野田文一郎
（各通）
大阪區裁判所判事兼大阪地方裁判所判事判事　井上鐵太郎

補大阪控訴院判事

補東京區裁判所判事　橫濱區裁判所判事判事　前田久次郎

兼補神戸區裁判所判事　神戸地方裁判所判事判事　千秋旦平

補前橋地方裁判所判事　前橋區裁判所判事判事　高久耕

豫審掛ヲ命ス　前橋地方裁判所判事判事　高久耕

補大阪區裁判所判事　大阪地方裁判所判事判事　山口重作

兼補熊本區裁判所判事　熊本地方裁判所判事判事　堤政一

第7474号　本文

（各通）

大阪地方裁判所部長判事　荒木精一郎
大阪控訴院判事判事　野田文一郎
大阪控訴院判事判事　井上鐵太郎

七級俸下賜

（各通）

神戶地方裁判所判事判事　千秋良平
大阪區裁判所判事判事　山口重作

八級俸下賜

前橋地方裁判所判事判事　高久耕

九級俸下賜

司法官試補　禪野佐助

金澤區裁判所檢事代理ヲ命ス

司法官試補　宮里源之丞

浦和區裁判所檢事代理ヲ解ク

司法官試補　佐藤耕策

浦和區裁判所檢事代理ヲ命ス（以上五月二十七日同）

東京高等師範學校敎授　岡倉由三郎

師範學校中學校高等女學校ニ於ケル英語敎授法視察ノ爲宮城巖手青森秋田ノ四縣ヘ出張ヲ命ス（五月二十六日文部省）

福岡縣事務官　折原巳一郎

地方森林會規則第三條第二項第一號ニ依リ福岡地方森林會議員ヲ命ス（五月十五日農商務省）

遞信技師　浦田周次郎

門司ヘ出張ヲ命ス（五月十六日遞信省）

檢查官補　今泉國太郎

長野新潟兩縣廳外二十二箇所會計實地檢查トシテ出張ヲ命ス（五月十七日會計檢查院）

神奈川縣女子師範學校敎諭兼神奈川縣立高等女學校敎諭　津村善之丞

十一級俸下賜（五月十八日神奈川縣）

福島縣立蠶業學校敎諭　池義信

十二級俸下賜（五月十八日福島縣）

山形縣立置賜農學校敎諭　渡部太郎

九級俸下賜（五月十三日山形縣）

○宮廷錄事

○行幸　天皇陛下ハ御豫定ノ如ク昨二十七日午前十時御出門陸軍士官學校ヘ行幸午後一時五分還幸アラセラレタリ

○行幸仰出　天皇陛下ハ明後三十日午前十時御出門陸軍中央幼年學校ヘ行幸アラセラルヘキ旨仰出サレタリ御道筋左ノ如シ

吹上門ヨリ右ヘ代官町左ヘ新道ヲ出テ右ヘ堀端ニ沿ヒ富士見町一丁目五番地角左ヘ富士見町通市ケ谷門跡ヲ出テ左ヘ陸軍士官學校前通陸軍中央幼年學校

○謁見　英國支那艦隊司令長官海軍中將サー、ヘッドウォース、ランブトン今般橫濱ヘ來航ニ付キ敬意ヲ表スルタメ部下「ベッドフォード」艦長海軍大佐セイムーア、イー、アースキン、「クライヲ」艦長海軍大佐セシルド、エス、ライクス、參謀海軍中佐デェヴィッド、テー、ノーリス、祕書海軍主計少監フレデック、ジー、モットン、「ヴィレゴ」驅逐艦長海軍大尉アーネスト、ステヴンソン、參謀海軍大尉フユー、ビー、ムレニークス、「ジャナス」驅逐艦長海軍大尉チャーレス、エー、フレマントル、「フェーム」驅逐艦長海軍大尉アーサー、エルグレッソンノ八名ヲ隨ヘ同國特命全權大使サー、クロード、マックスウエル、マクドナルド同伴昨二十七日午前十一時參內　皇后陛下ニ謁見仰付ケラレ又同時御序ヲ以テ同國大使館附武官海軍大佐チャース、ダンダス、オブ、ダンダスモ謁見仰付ケラレタリ

○皇族發著　載仁親王殿下ハ御職務ヲ以テ一昨二十六日御出發千葉縣下ヘ御出張アラセラレタリ

○彙報

○官廳事項

○官吏發著　曩ニ馬公ヘ差遣ノ東宮武官秋澤芳馬ハ本月二十五日歸京セリ

曩ニ上京ノ宇都宮稅務監督局長河田賢三、廣島稅務監督局長蓮見義隆ハ一昨二十六日、札幌稅務監督局長吉田平吾、神戶稅務監督局長今村次吉ハ昨二十七日孰モ出發歸任セリ

曩ニ泉州尾崎及京都府下深草地方ヘ出張ノ仁田原步兵第七旅團長ハ本月二十一日、曩ニ上京ノ山口重砲兵第一旅團長ハ同二十二日、步兵第六十八聯隊第二期末檢閱竝ニ徵兵檢查視察ノタメ岐阜縣稻葉、可兒郡地方ヘ出張ノ黑澤步兵第五旅團長、參謀長會議列席ノタメ上京ノ第四師團參謀長志波今朝一及第九師團參謀長有田恕ハ同二十三日、青森地方ヘ出張ノ渡邊第八師團長、島村步兵第四旅團長及賀茂郡原村地方ヘ出張ノ佐治步兵第九旅團長ハ同二十四日、津田沼千葉地方ヘ出張ノ落合交通兵旅團長ハ一昨二十六日孰モ歸著●塚本第九師團長ハ步兵第六十九聯隊竝ニ工兵第九大隊第二期末檢閱實視ノタメ富山及越中立野原ニ向ヒ本月二十三日、鮫島第十四師團長ハ步兵第五十六聯隊第二期檢閱實視ノタメ兵庫縣加東郡青野ケ原ニ向ヒ同二十四日孰モ出發セリ

學術實地指導ノタメ千葉、福島、巖手、青森ノ四縣下ヘ出張ノ東京帝國大學農科大學助教授小倉鉀太郎ハ本月二十二日歸京セリ

檢查官田中涙江ハ會計實地檢查ノタメ昨二十七日出發セリ

○官吏死去　休職典獄從六位勳五等中座速衞ハ本月二十日死去セリ

○司法及警察

○死刑執行　秋田縣山本郡塙川村字畑谷平民藤田久藏ハ强盜殺人ノ罪ニ因リ明治三十九年十月二十九日札幌地方裁判所ニ於テ死刑ノ宣告ヲ受ケ昨四十年二月二十一日確定シタル處本月二十日執行セラレタリ

○出火　一昨二十六日午前零時十分東京府北多摩郡三鷹村大字牟禮ヨリ出火全燒一棟、燒死者一負傷者三同一時鎭火原因過失ナリ

○陸海軍

○豫備役編入　停職陸軍砲兵中尉平田景範ハ停職滿期ニ付キ本月二十三日豫備役ト爲レリ（陸軍省）

○後備役編入　豫備陸軍一等獸醫伊澤喜兵衞ハ豫備役滿期ニ付キ去月一日後備役ト爲レリ（陸軍省）

○不要徵兵終決處分者　所在不明ノ徵兵終決處分未濟者中所在發見ノタメ爾後調查ヲ要セサル者左ノ如シ（宮崎縣）

本籍	氏名	生年月日
南那珂郡吾田村大字平野二二〇	二宮與平治	明治六、五、三
東臼杵郡延岡町大字中町九三	三浦小濱	一三、六、四
同郡南浦村大字須怒江二七其一	牧野貞一	一〇、一一、一〇

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
常磐	五、二六	吳		
追風 朝露 夕風 疾風	同	別府		
宗谷	五、二六	馬公		
和泉	同	澎湖		
隅田	同	九江		
新高	同	西鄕		

○日本赤十字社錄事

支部社員總會　日本赤十字社福島支部ハ本月十八日福島市公會堂敷地內ニ於テ第三回社員總會ヲ擧行セリ當日總裁載仁親王殿下ハ妃殿下御同列ニテ副社長男爵小澤武雄、理事佐和正、內局主事岩崎駒太郎等ヲ從ヘ台臨アラセラレ午前十時式ヲ擧クルヤ支部長平岡定太郎ハ明治三十七八年ノ戰役ニ關シ本社ニ賜リタル勅語及令旨ヲ捧讀シ次テ社員表ヲ總裁殿下ニ奉呈ス次ニ總裁殿下ヨリ左ノ御諭旨ヲ賜リタリ

本日福島支部第三回總會ニ臨ミ諸氏ト親ク相見ルハ余ノ欣喜スル所ナリ

福島縣士民ノ忠愛心ニ富メルヤ當支部赤十字事業逐年發達シテ現今ノ盛況ヲ呈シ明治三十七八年戰役ノ際ニハ二個救護班ヲ派遣シ又患者休養所ヲ設置シテ傷病軍人ノ慰藉ニ勗メ共ニ成績ノ觀ルヘキモノアリシハ滿足ノ至ナリ

今ヤ本社ハ國運ノ發展ニ伴ヒ海外ノ趨勢ニ鑑ヘ益〻事業ノ盛大ナラン コトヲ期ス諸氏一層勵精努力セン コトヲ望ム

次テ支部長答辭ヲ上リ平田副長前年中ノ事務及會計ヲ報告シ次ニ小澤副社長及社員總代ノ祝詞アリ其ヨリ社業ヲ幫助セル功勞者及篤志者ニ對シ總裁殿下ヨリ有功章又ハ特別社員章ヲ御親授アラセラレ午前十一時無事散會セリ當日來會者無慮五千餘人頗ル盛況ヲ呈セリ（宮內省）

○學事

○學位授與　文部大臣ハ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ一昨二十六日左記ノ者ニ學位ヲ授與セリ其學位記及論文審查ノ要旨左ノ如シ（文部省）

學位記

東京府士族
從五位　舟岡英之助

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學醫科大學敎授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ醫學博士ノ學位ヲ授ク

論文審查ノ要旨

「ゼールムアルブミーン」及「ゼールムグロブリーン」ノ酸結合力ニ就テ（獨文）

著者ハ先ツ諸蛋白體ノ鹽酸結合力ニ關スル在來諸報告ノ要點ヲ列敍シタル後馬血淸ヨリ親シク製造セル「ゼールムアルブミーン」及「ゼールムグロブリーン」ニ就テ施シタル鹽酸結合力檢定試驗ノ成績ヲ報告セリ

兩種ノ試驗材料ハ法ノ如ク馬血淸ニ硫酸安母紐謨飽和溶液ヲ加ヘテ沈降セシメ數回精製シタル後數日間濾膜分析ニ附シテ全ク鹽類ヲ除去シタルモノナリ

試驗方法トシテハ中性試驗材料ノ一定容量ヲ取リ之ニ十分一定規鹽酸液ヲ加ヘテギュンツブルグ氏反應ヲ呈スルニ至ラシメ同容量ノ試驗材料中ニ含マル、窒素量ヲキエールダール氏法ニ依リテ檢定シ窒素一瓦ト結合スル鹽酸量ヲ算出セリ而シテ上法ニヨリテ窒素一瓦ハ「ゼールムアルブミーン」ニ於テハ鹽酸〇•〇三七三瓦、「ゼールムグロブリーン」ニ於テハ鹽酸〇•〇二六三瓦ト結合スルコトヲ發見シ終リニ左ノ如ク結論セリ

一　三•六四%ノ溶液ニ於ケル「ゼールムアルブミーン」一瓦ハ鹽酸五九、七瓱ト結合ス乃チ窒素七原子ハ鹽酸一分子ニ配ス

二　三•四四%ノ溶液ニ於ケル「ゼールムグロブリーン」一瓦ハ鹽酸四二、一瓱ト結合ス乃チ窒素十原子ハ鹽酸一分子ニ當ル

三　故ニ「ゼールムアルブミーン」ノ鹽酸結合力ハ「ゼールムグロブリーン」ノヨリモ大ナリ

鹽酸ノ影響ニ對スル「ゼールムアルブミーン」及「ゼールムグロブリーン」ノ態度相異ナルコトニ就テ（獨文）

著者ハ前揭セル「ゼールムアルブミーン」及「ゼールムグロブリーン」ノ酸結合力ニ關スル研究中「ゼールムグロブリーン」溶液ノ一定容量ニ結合相當量ノ鹽酸ヲ加ヘ室溫ニ於テ放置シ翌日偶〻該溶液ヲ中和セシニ著シク白色起リ之ニ鹽酸ヲ加フレハ澄明トナリ更ニ之ヲ中和スレハ復タ溷濁スルヲ見テ「ゼールムグロブリーン」ノ「アチドアルブミーン」ニ轉化セルモノト推決シ尚「ゼールムアルブミーン」ヲ同樣ニ處置シタルニ上述ノ現象起ラサルコトヲ見タリ而シテ「ゼールムアルブミーン」ノ「アチドアルブミーン」ニ轉スルコト「ゼールムグロブリーン」ヨリモ容易ナサナルコトハ既ニホッペザイレル氏ノ言ヘル所ナレトモ斯ノ如キ著大ナル差別ノ兩者間ニ之アルコトハ未タ曾テ耳ニセサル所ナリト說キ更ニ進ンテ鹽酸量ノ多少、溫度ノ高低カ「ゼールムグロブリーン」ノ「アチドアルブミーン」ニ轉化スル機轉ニ及ホス所ノ影響ヲ詳細ニ觀察スルカ爲メニ次ノ試驗ヲ擧行セリ

試驗方法トシテハ每回窒素含量既ニ判明セル中性「ゼールムグロブリーン」溶液五立方糎ヲ取リ種々ノ鹽酸量ヲ加ヘ種々ノ溫度ニ於テ二十四時間放置シ次テ其間ニ生シタル「アチドアルブミーン」ヲ那篤倫滷汁ヲ以テ沈降セシメ濾過シテ濾液ノ窒素含量ヲキュールダール氏法ニヨリテ檢出シ元ノ「ゼールムグロブリーン」溶液ノ總窒素含量ヨリ之ヲ減シテ「アチドアルブミーン」ニ屬スヘキ窒素量ヲ算出セリ尚「ゼールムアルブミーン」ニ就テ對照試驗ヲ施シタリ

斯ノ如クシテ收メ得タル試驗成蹟ヲ一表ニ揭ケテ明示シタル後「ゼールムグロブリーン」ノ「アチドアルブミーン」ニ轉化スル機轉ハ概シテ鹽酸量ノ多少ト溫度ノ高低ニ一定ノ關係ヲ有スルコト明カニシテ一定ノ限界以內ニ於テハ附加セラル、鹽酸量愈〻多キニ從ヒ溫度愈〻高キニ從ヒ「アチドアルブミーン」ニ轉スルコト益〻多シト結論セリ

「ペプシーン」消化ニ於ケル酸結合ニ就テ（獨文）

著者ハ冒頭ニ於テ蛋白體ノ消化產物ハ元ノ蛋白體ニ比シテ一層大ナル酸結合力ヲ有シ箇々ノ消化產物ノ結合價モ其間亦大ニ相異ナルモノニシテ一般ニ蛋白體消化產物ハ消化機轉愈〻多ク進行スルニ從ヒ卽チ其分子ノ愈〻多ク分解スルニ從ヒ益〻大量ノ酸ト結合スルモノナラント說キ之ヲ實際ニ證明セント欲シテ詳細ニ研究シタルモノニシテ本論文ハ

一　十分長ク持續スル「ペプシーン」消化ニ於ケル試驗列

二　最大限「ペプシーン」消化ニ於ケル試驗列

ノ二章ヨリ成ル第一章ノ試驗列ニ於テハ「ペプシーン」消化力數日ノ後ニ完結スルモノナルヤノ問題ヲ解決セント試ミタルモノニシテ試驗材料ニハ鹽類ヲ含マサル中性「ゼールムアルブミーン」溶液ヲ用ヒ試驗方法トシテハ每回鹽酸結合力既ニ判明セル「ゼールムアルブミーン」溶液一定量ヲ取リ之ヲ二部又ハ三部ニ分チ第一部ニハ結合價ニ相當スル鹽酸量ヲ加ヘ第二部ニハ結合價ノ二分ノ一ニ當ル鹽酸量ヲ加ヘ第三部ニハ結合價一倍半ノ鹽酸量ヲ加ヘ且ツ每部尙「ペプシーングリチェリーン」一滴ヲ附加シ良ク振盪シタル後四十度ノ溫箱內ニ入レ一定時間消化セシメ其間每日ギュンツブルグ氏反應ノ有無ヲ檢シ若シ陰性ナルトキハ反應起來スルマテ鹽酸ヲ追加シ期待セル時日ヲ經テ十分一定規那篤倫滷汁ヲ以テ精密ニ中和セリ之ニ要スル那篤倫量ハ固ヨリ當該消化產物ト結合スヘキ鹽酸量ヲ指示スルコト言ヲ俟タス斯クシテ檢出シタル鹽酸量ヲ當該消化產物中ノ窒素量ニ配當シテ窒素一瓦ニ對スル鹽酸結合力ヲ算出セルナリ此試驗列ハ三試驗ヲ包含シ其第一試驗ハ更ニ二部ヨリ成リ俱ニ二十一日間持續シ第二試驗ハ更ニ二部ヨリ成リテ俱ニ四十日間持續シ第三試驗ハ更ニ三部ヨリ成リ

第7474号本文

テ第一部ハ十五日間第二部及第三部ハ俱ニ二十七日間持續セリ此試驗列ノ成績ハ皆一齊ニ「ペプシーン」消化機轉ノ數日ニシテ完結スルモノニアラス時日ト共ニ益〻進行シ鹽酸結合力ノ益〻增加スルコトヲ示セリ

第二等ノ試驗列ハ最大限「ペプシーン」消化ニ於テ鹽酸結合力ノ如何ナル程度ニ至ルマテ增大スルヤヲ研究セント期シタルモノニシテ試驗材料ニハ鹽類ヲ含マサル中性「ゼールムグロブリーン」溶液ヲ用ヒ試驗方法ハ概シテ前試驗列ニ於ケルカ如ク唯其相異ナル所ハ本試驗列ニ於テハ鹽酸結合力ノ最早增加セサルニ至ルマテ卽チ極メテ長ク消化ヲ持續セルト其間時々「ペプシーン」ヲ追加セルトニアリ本試驗列モ亦三試驗ヲ包括シ其第一試驗ハ三部ヨリ成リ皆二百十四日間持續シ第二試驗モ亦三部ヨリ成リ共ニ二百九日間持續シ第三試驗ハ中性「ゼールムアルブミーン」ヲ試驗材料ニ供シタルモノニシテ亦三部ヨリ成リ共ニ二百二十七日間持續セルモノニシテ終リニ全成績ヲ概括シテ大要左ノ如キ結論ヲ下セリ

一　消化機轉ハ數日ノ後ニ終結スルモノニアラスシテ鹽酸及「ペプシーン」ノ必要量ヲ缺カサル限リハ數箇月間進行スルモノナリ

二　之ニ準シテ消化材料ノ鹽酸結合力ハ消化機轉ノ遂ニ停止スルニ至ルマテハ漸次益〻增加スルモノナリ

三　消化機轉ノ進行速力ハ全經過中同一ナラス概シテ初期ニハ最モ大ニシテ爾後漸次益〻小トナルモノナリ

四　當初ニ附加セラレシ鹽酸量ノ不同カ消化機轉ニ及ホス影響ハ消化開始後第四十日乃至第七十日ニ至レハ相平均スルモノナリ

五　「ゼールムアルブミーン」ノ最大限「ペプシーン」消化ニ於テハ消化材料中ノ窒素三原子ハ鹽酸約一分子ト結合スルモノナリ

六　「ゼールムグロブリーン」ノ最大限「ペプシーン」消化ニ於テハ消化材料中ノ窒素四原子ハ鹽酸約一分子ト結合スルモノナリ

尿中ノ硫黃ト窒素ノ分量上關係ニ就テ

著者ハ先ツ動物體內ニ於テ蛋白分解スルトキニ當リ其分子中ニ含マルヽ硫黃カ種々ノ形ニ於テ排泄セラルヽモ其大部分ハ硫酸ト窒素トナリテ體外ニ出テ去ルカ故ニ尿中ノ硫酸硫黃ト窒素トノ分量ヲ測定シ兩者ノ比數$\frac{SS}{N}$ヲ檢究スルトキハ蛋白新陳代謝狀況ノ一端ヲ窺フニ足レリトシテ百餘日間本試驗ニ從事シ其間試驗動物（ファルク氏手術ヲ施シタル生後二年ノ牝犬）ヲ種々ノ營養狀態ニ在ラシメ尿中ノ硫酸硫黃（ザルコウスキー氏法ニ依リ）ト窒素（キエールダール氏法ニ依リ）ヲ定量シ旁ラ窒素出納ノ狀況等ヲ觀察セリ

本試驗ハ五試驗列ヨリ成リ其第一試驗列ハ二十日間ノ混食期ニ屬シ此期間ノ比數卽チ$\frac{SS}{N}$ノ平均價ハ〇・〇四四、第二試驗列ハ一週間ノ第一飢餓期（卽チ混食期後飢餓期）ニ屬シ$\frac{SS}{N}$ノ平均價ハ〇・〇五〇、第三試驗列ハ五十三日間ノ第一肉食期ニ屬シ$\frac{SS}{N}$ノ平均價ハ〇・〇五五、第四試驗列ハ一週間ノ第二飢餓期（卽チ肉食期後飢餓期）ニ屬シ$\frac{SS}{N}$ノ平均價ハ〇・〇五七ニシテ第五試驗列ハ十五日間ノ第二肉食期ニ屬シ$\frac{SS}{N}$ノ平均價ハ〇・〇五七ナルヲ見ル乃チ混食期ニ於テ小ニ肉食期ニ於テ大ナリ凡テ飢餓動物ハ體ヲ自家體質ニ資リテ其生命ヲ保持スルモノナルカ故ニ其蛋白分解ノ狀況ハ恰モ肉食期ニ於ケルカ如クナラサルヘカラスト雖モ飢餓前ノ飼料相異ナルニ準シテ常ニ必スシモ然ルモノニアラス之レ肉食期後飢餓期ニ於ケル價ノ第二肉食期ニ於ケルモノニ全然符合スルニ拘ラス混食期後飢餓期ニ於ケル價ノ之ニ及ハサル所以ナリ又第一肉食期ノ第二肉食期ニ比シテ其價少シク劣レルハ一見異樣ノ感アレトモ試驗動物ハ生後常ニ混食ヲ以テ飼養セラレタルモノナレハ縱令一週間飢餓セシメタルニモセヨ之カ爲メニ混食ノ餘響其間ニ全ク消盡シ去レルモノト思惟スルコト能ハサルノ事情ヲ顧慮スレハ此結果ハ寧ロ當然ナラント推斷シ這般ノ消息ヲ明カニスルカ爲メ五十三日間ノ第一肉食期ヲ二分シテ二十六日ノ前期ト二十七日ノ後期ニ別チ此各期ノ平均價ヲ算出シテ調査セシニ其肉食後期ノ平均價ノ全ク第二肉食期ノモノニ一致スルヲ發見セリ

尙著者ハ肉中ノ蛋白體ニ含マルヽ窒硫二素ノ重量比數ヲ一ト〇・〇七八七五ノ如シト斷定シ$\frac{SS}{N}$ノ價ハ硫酸トナリテ尿中ニ排泄セラルヽ硫黃ノ窒素ニ對スル比數ヲ示スモノナルヲ以テ此$\frac{SS}{N}$ノ價ト〇・〇七八七五ナル數ノ幫助ニヨリテ分解蛋白中ニ含マレタル硫黃總量ノ幾何%カ硫酸トナリテ尿中ニ存スルヤ又幾何%カ硫酸以外ノ形態ヲナシテ尿中ニ存スルヤヲ推算シ得ヘシト論シ實際著者カ肉食期ノ大尿ニ就キ此算法ヲ用ヒテ間接ニ算出シタル成績ノクンケル、ゴルドマン、レピーン、ヘッフテル等カ直接ニ分析定量シタル成績ニ粗〻一致スルコトヲ示シ終リニ研究成績ノ要點ヲ概括シテ左ノ如ク結論セリ

一　$\frac{SS}{N}$ノ價及總硫黃量ニ對スル硫酸硫黃量ノ割合ハ食物ノ種類如何ニ從テ變動スレトモ同種食物ノ分量如何ニ從テ變動スルモノニアラス（固ヨリ生理上範圍內ニ限ル）

二　$\frac{SS}{N}$ノ價及總硫黃量ニ對スル硫酸硫黃量ノ割合ハ食物ノ變換シタル後尙一定時日間變換前食物ノ影響ヲ受クルモノトス

三　前項ハ飢餓狀態ニモ亦適切スルモノトス

四　$\frac{SS}{N}$ノ價及總硫黃量ニ對スル硫酸硫黃量ノ割合ハ概シテ混食時ニハ小ニシテ肉食時ニハ大ナリトス

五　肉食時ニ總硫酸トシテ尿中ニ排泄セラルヽ硫黃量及窒素量ヲ測定スルトキハ之ヨリシテ總硫黃量ニ對スル硫酸硫黃量ノ割合ヲ算出スルモ大過ナシ

「ゼールムグロブリーン」ノ酸結合力ニ關スル追加

著者ハ第一論文中ニ於テ馬血淸「ゼールムグロブリーン」ノ硫酸安母紐謨稀薄溶液ニ溶ケタルモノヲ濾膜分析ニ附シテ鹽類ヲ除去シタルモノヲ「ゼールムグロブリーン」溶液ト記載セルカ元來「ゼールムグロブリーン」ハ中性鹽類ノ稀薄溶液ニハ溶クレトモ純水ニハ溶ケサルモノト看做ス學者少ナカラス從テ著者ノ所謂「ゼールムグロブリーン」溶液ハ或ハ尙多少ノ硫酸安母紐謨ヲ含ムニアラサルヤ若シ果シテ之ヲ含ム場合ニ於テハ著者ノ檢出シタル「ゼールムグロブリーン」ノ鹽酸結合價ハ正當ノモノニアラサルヤノ疑惑ヲ招クヘキヲ以テ更ニ親シク牛血淸ヨリ「ゼールムグロブリーン」ヲ精製シ同一試驗ヲ鄭重ニ反覆シテ此疑惑ヲ根本的ニ解決セリ

本論文ニ於テハ先ツ「ゼールムグロブリーン」ニ關スル諸先進報告ノ要點ヲ網羅シ之ヲ根據トシテ水ニ溶クル「ゼールムグロブリーン」アルコトヲ詳述シ次ニ硫酸安母紐謨ヲ用ヒテ製シタル三種ノ「ゼールムグロブリーン」稀薄鹽類溶液及硫酸麻倔涅叟謨ヲ用ヒテ製シタル「ゼールムグロブリーン」稀薄鹽類溶液ヲ六日乃至七日間濾膜分析ニ附シタル後之ニヨリテ果シテ鹽類ヲ完全ニ除去シ得タルヤ否ヤヲ確定セント欲シ直接ニ試驗材料ニ就キ定性分析法ヲ應用シテ其痕跡タモ存セサルコトヲ明ニセリ就中安母尼亞ノ有無ハ本問題ニ絕大ノ關係アルヲ以テ尙試驗材料ノ一定容量ヨリ檢出シタル窒素含量ヲ「ゼールムグロブリーン」ニ換算シ次ニ同一容量ヲ蒸發乾涸シテ其乾量ヲ檢定シタルニ兩者ノ重量全ク符合スルヲ見タリ而カモ試驗材料眞正ノ溶液ニアラサルカ故ニ其一定量ヲ分チ取ルニ際シ常ニ必ス十分ニ振盪シタリト雖モ尙且ツ或ハ不溶部分ノ平等ニ配布セサルヤノ嫌アルヲ慮リ之ヲ同容ノ五%食鹽溶液ト合シテ眞正ノ溶液トナシ之ヲ蒸發シテ乾量ヲ定メ之ヨリ所含食鹽量ヲ減シテ「ゼールムグロブリーン」量ヲ算出シ之ヲ直接ニ定メタル窒素量ヨリ算出セル「ゼールムグロブリーン」量ト對照シタルニ之レ亦全然相一致セリト說ケリ尙著者ハ硫酸安母紐謨ヲ用ヒテ牛血淸ヨリ製シタル「ゼールムグロブリーン」ハ同法ヲ用ヒテ馬血淸ヨリ製シタル「ゼールムグロブリーン」ト同一ノ鹽酸結合力ヲ有スルコトヲ發見セリ終リニ研究成績ヲ總括シテ左ノ結論ヲ下セリ

一　硫酸安母紐謨ヲ用ヒテ牛血淸ヨリ製シタル「ゼールムグロブリーン」一瓦ハ約〇・五乃至〇・六%ノ濃度ニ於テ鹽酸四十瓱ト結合スルモノニシテ其窒素十原子ハ鹽酸一分子ニ當ル

二　硫酸麻倔涅叟謨ヲ用ヒテ牛血淸ヨリ製シタル「ゼールムグロブリーン」一瓦ハ約〇・七%ノ濃度ニ於テ鹽酸三十七・八瓱ト結合スルモノニシテ其窒素十一原子ハ鹽酸約一分子ニ當ル

諸種蛙筋攣縮ノ形狀ニ就テ（獨文）

筋攣縮一般ノ經過ニ就テハ精細ナル研究ヲ施シタルモノ頗ル多シト雖モ諸種ノ筋ノ狀況ニ關スル報告ニ至リテハ實ニ寥々タリ偶〻此種ノ觀察ヲ記述セルモノナキニアラサルモ特ニ此問題ノ研究ニ從事シタルハ獨リCashアルノミ諸種ノ筋ノ力學上性質ハ之ヲ規定スル多數ノ部分ニヨリテ徵表シ得ヘキモノタルヤ固ヨリ疑ヲ容レサル所ニシテ著者ハ蛙筋ニ就キ之ニ關スル二三ノ試驗ヲナセリ

攣縮曲線ヲ精密ニ研究スルニハ筋ヨリ時々刻々發生スル加速力ヲ定ムルコト重要ナルカ描記系統ノ一定ノ不變數ヲ知悉シ曲線ノ十分數多キ點ヲ測定スルトキハ運動方程式ノ幫助ニヨリテ能ク此目的ヲ達スルヲ得ヘシ而カモA. Fick & J. Von Kriesノ研究ノ示スカ如ク筋力其者ノ發生ハ嘗ニ筋ノ原長又ハ緊張ニ關スルノミナラス復タ尙描記系統ノ器械上性質ニモ關スルモノナルカ故ニ諸種ノ筋攣縮ヲ比較セント欲セハ第一諸種ノ異緊張卽チ橫斷面單位ニ作用スル緊張ヲ相等シカラシムルコト第二可及的同一ナル力學上約制ノ下ニ於テ諸種ノ筋肉ヲ作業セシムルコト必要ナリトス第一ノ約制ニ適從スルカ爲メニ試驗用蛙筋ノ重量、容量、長徑ヨリシテ各自平均橫斷面ヲ算出シ之ニ準シテ該筋ニ負荷セシメタリ就中筋ノ緊張ヲシテ橫斷面一平方粍ニ付キ必ス一瓦ニ相當セシムヘク重錘ヲ撰ヒテ槓杆ノ回轉軸ニ近ク懸垂セリ第二ノ約制ニ應スル爲メニ著者ハ攣縮ヲ可及的同緊張性ニ經過セシメント努メタリ之ニハ運動方程式ノ諸項ノ中ニ就テ時々刻々ノ角度加速力ト描記系統ノ惰性能率トノ積ヨリ成レル項ヲ他ノ諸項ニ對シテ無視スルヲ得ル程小ナラシメ又運動ニ反抗スル摩擦力ヲ常ニ極メテ小ナラシムルヲ要スルナリ此等ノ要求ハ如何ナル程度ニ至ルマテ能ク工學上ニ充タシ得ルモノナルヤ未タ曾テ之ヲ研究シタルモノアラス摩擦力ハ切線的描記法ヲ以テスレハ能ク小ナラシムヲ得ヘシト雖モ加速力ヲ全ク阻止セントスルカ如キハ究竟筋攣縮ヲ斷念セントスルニ異ナラサルヘシ筋一タヒ收縮スルヤ緊張ノ變化モ亦從テ起ラスンハアラス界標トシテノ同緊張ナル槪念ヲ固守セント欲セハ如何ナル程度ニ至ルマテノ緊張變化ヲ當初緊張ノ分數トシテ尙認容シ得ルヤニ就テ兌協ヲ遂ケサルヘカラサルヘシ而カモ斯クノ如キ確定ノ缺如スルヲ以テ著者ハ描記セル曲線カ其頂點ノ前後ニ唯二箇ノ轉向點ヲ呈スルトキハ則チ其緊張變化ヲ十分小ナルモノト思惟シ從テ攣縮ヲ同緊張攣縮ニ十分近キモノト看做シタリ此目的ヲ遂スルニハ描記槓杆頗ル短クシテ輕ク且其惰性能率微小ナラサルヘカラス又大ナル角度加速力ヲ避クルカ爲メ筋ヲシテ回轉軸ニ餘リ近ク作用セシメサルヲ要スルナリ最後ニ選定シタル裝置ハ次ノ如シ

著者ハ薄ク削リタル竹板ヨリ描記槓杆ヲ造リテ之ヲフォン、フライ氏筋槓杆ノ軸ニ固定シ描記槓杆ノ終端ニ紙片ヲ糊著シテ描記槓杆ノ用ニ供セリ軸ヨリ筆尖ニ至ル長徑ハ七・八糎ニシテ筋ノ力點ヨリ軸ニ至ル距離ハ六糎ナルカ故ニ攣縮ハ僅ニ一・三倍ノ增大ヲ以テ描記セラレシノミ槓杆ノ地平位ニ於テ描記系統ノ爲メニ致サレタル筋ノ緊張ハ〇・一三瓦ナルカ故ニ該系統ノ地平位ニ對スル重ノ回轉能率ハ〇・七八糎ナリ著者ハ實驗的ニ惰性能率ヲ檢定シテ一〇・二八瓦平方糎ヲ得タリ尙半徑〇・四糎ノ滑車ニ懸ケタル附加重錘ノ惰性能率之ニ加ハルモノトス例之縫匠筋ニ六瓦ノ緊張ヲ賦與スルニハ滑車ニ九十瓦ヲ懸クルヲ要シ從テ回轉系統ノ惰性能率ハ二四・七瓦平方糎ニ上レリ斯クノ如ク小ナル惰性能率ト角度加速力ヲ以テシタルニ拘ラス常ニ必スシモ前述ノ要求ニ應スル曲線ヲ得ルコト能ハス頗ル強力新鮮ニシテ長キ筋殊ニ縫匠筋ニ在リテハ曲線ノ下行枝ニ彈力性振動ノ多少明瞭ニ現ハルヽコト罕ナラス且ツ各塗煤描記法ノ不完全ナルニ準シテ曲線ハ既ニ甚タ小ニシテ隨時ノ速力ハ尙能ク測定シ得ルモ加速力ノ測定ニ至リテハ最早之ヲ斷行スルコト能ハサリシカ故ニ著者ハ姑ラク次ニ揭クル數價ヲ測定シテ滿足セリ第一潛伏時第二轉向點ノ橫線距離第三頂點ノ橫線距離及縱線距離第四第二轉向點ノ橫線距離及縱線距離第五第一轉向點ニ於ケル速力第六第二轉向點ニ於ケル速力則チ是レナリ

曲線ノ測定ハ優良ナルブリッキス氏曲線測定器ニ依リテ施サレ筋ハ總ヘテ「クラーレン」ヲ用ヒラレタルモノニシテ濕箱內ニ於テ最大開時電擊ニヨリテ刺戟セラレタリ塗煤圓筒ノ周邊速力ハ一秒十五糎ナルカ故ニ橫線一粍ハ〇・〇〇六七秒ニ相當ス

著者ハ一樣ニ施行シタル六回試驗ノ測定成績ヲ表ニ揭ケ尙明瞭ニ比較シ得ルノ便ヲ計リ第一ニ原曲線ヲ射影器ニテ約三倍增大シテ相重ネテ謄寫セル五圖ヲ擧ケ第二ニ曲線骸ヲ揭ケタリ

次テ腓腸筋ト縫匠筋、腓腸筋ト薄股筋、腓腸筋ト半膜樣筋、半腱樣筋ト二頭股筋及腓骨筋トニ就テ各筋曲線ノ特性ヲ比較詳論セリ

以上論文ハ學術上有益ニシテ舟岡英之助ハ醫學博士ノ學位ヲ授與セラルヘキ資格ヲ有スルモノト認定ス

學位記

愛知縣平民
正七位　稻垣長次郎

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學醫科大學敎授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ醫學博士ノ學位ヲ授ク

論文審査ノ要旨

熱病患者ニ於ケル水ノ新陳代謝ニ就テ（獨文）

二人ノ健康者九人ノ腸窒扶斯患者ニツキ一定ノ室內溫度ニ於テ同シ條件ノ下ニ靜臥セシメ流動食ヲ與ヘ六日－七日間每日其體重ヲ量リ水ノ全攝取量及ヒ全排出量其他ニ不明蒸發量卽チ呼吸器及ヒ皮膚ヨリ排出スル不明ナル體量減量ヲ量リタリ而シテ此一日內ノ不明蒸發量ハ一日內ノ全排出量及ヒ全攝取量ノ差ト二十四時間ノ前後ニ於ケル體量ノ差ニヨリ計算シタルモノニシテ健康體ニ於テハ體量一「キログラム」ニ對シ十六－二十一「グラム」卽チ平均十八「グラム」ニシテ腸窒扶斯患者ニ於テハ多クハ其量增加ス卽チ十一回ノ實驗ニ於テ九回ハ二十三－三十五「グラム」卽チ平均二十六「グラム」ナリ而シテ今不明蒸發量ノ五分ノ四ヲ水トシテ排出セラルヘキ量トナシ其水量ヲ計算シタルニ健康體ニ於テハ水ノ全排出量ト全攝取量ト殆ント同一ナルモ腸窒扶斯患者ニ於テハ一般ニ水ノ排出量ハ攝取量ヨリ多ク其發熱期ニ於テ體內ニ水分畜積スルコトナク却テ減スルコトヲ證セリ

傳染病ニ於ケル組織內ノ水量ニ就テ（獨文）

三人ノ健康體二十三人ノ熱病患者及ヒ三四ノ健康ナル兎、豚疫細菌「プリオン」ヲ注射シ熱發セシメタル二四ノ兎ニ就テ其屍體ヨリ腰筋及ヒ肝臟ノ一片ヲ取リ吸墨紙ヲ以テ其表面ニアル水分ヲ除去シ其重量ヲ量リ此ヲ小片トナシ秤皿ニ載セ「アルコール」ヲ加ヘ煎器ノ上ニテ水分ヲ除去シ後乾燥器ニ入レ不變重量マテ乾燥シ後ニ其脂肪量灰量及ヒ窒素量ヲ量リ脂肪量ヲ除キタル乾燥實質ニ對スル水分ノ量ヲ定メ次ノ如ク論結セリ

一　多クノ熱病經過ノ內ニ體內ニ於ケル水分量ハ其實質ニ對シテ比較的ニ增加ス此レ重ニ其患者カ「カヘキシー」ニ落チ入リシ爲メナリ而シテ此ノ「カヘキシー」ハ種々ノ傳染源カ組織ニ働キシ爲メ及ヒ營養不良ノ爲メニ起リタルモノナリ

二　種々ノ傳染源ハ組織ニ對シ一樣ニ働クヘキモノニアラス卽チ肺炎ニ於テハ乾燥實質ニ對スル比較的水量ハ增加スルコトナキモ腸窒扶斯敗血症及ヒ急性結核ニ於テハ其量增加ス

三　急性傳染病ノ組織ニ於テ其比較的水量ノ增加スル所以ハ多クノ場合ニ於テ細胞ノ溷濁腫脹ト同一ナルモノナルヘシ

四　腸窒扶斯及ヒ結核ノ如キ永續スヘキ熱病ニ於テハ此細胞ノ溷濁腫脹ノ外ニ又間質浮腫ヲ起ス此レ局所ノ循環及ヒ營養障害ニヨリテ起リタルモノナルヘシ

蛋白結晶ニ就キテノ知見（獨文）

凡テノ馬ノ血漿ニ「アルブミン」ヲ含有スルヤ否ヤハ未タ不定ノ問題ナルヲ以テ著者ハ四十種ノ馬ノ血漿ニ就テギュルベル、クリーゲル及ヒホプキン及ヒピンクス氏ノ三法ニ依リ驗シタルニ凡テノ馬血漿內ニハ結晶スヘキ「アルプミン」ヲ缺クコトナキモ其量及ヒ結晶ノ難易ニ種々アルコトヲ知リタリ此ノ如ク結晶ノ難易及ヒ其量ノ多少ハ血漿內ニ結晶ヲ妨クル條件アルナラントシ其條件ハ他ノ酸類ニ依リ又ハ數度同方法ヲ反覆スルコトニヨリ除ク能ハサルモ「ヂアリザチオン」ニヨリ又ハ三十六－四十度ノ溫度內ニテ幾分カハ其障害條件ヲ除クヘキコトヲ示セリ

反之「アルカリー」液ヲ加フルトキハ其結晶性ヲ妨ク元來中性ナル液中ニテ結晶ヲ起シタル時ニ其上部ニアル液ハ「アルカリー」性トナリ下部ニ沈澱シタル結晶體ハ酸性トナル此レ結晶スルニ際シ「アルプミン」カ硫酸ト結合シ「アンモニアーク」カ水ニ溶解シ居ル爲ナルヘシ此ヲ證スル爲メニ「アルブミン」結晶ヲ反覆結晶セシメ混合物ナキモノヲ二－三週間蒸餾水ニテ「ヂアリジーレン」シ凡テノ硫酸及ヒ硫酸鹽類ヲ除去シ其溶液內ニアル窒素ノ量ヲ量リ其ノ一定量ノ溶液ヲ取リ其內ニ一定ノ溷濁ヲ生スルマテ硫酸「アンモニアーク」ヲ加ヘ此ヲエルレンマイエル氏ノ「コルベン」ニ入レ其栓ニ二本ノ玻璃管ヲツケ其一ツヲ混合液內ニ浸シ他ハ栓ニ接シテ開口ス而シテ前者ハ強硫酸ノ入リタル「ルコベ」ニ連リ發生シタル「アンモニアーク」ヲ吸收セシム此等ノ諸器ヲ通シテ八－十四日間空氣ヲ流通ス後「コルベン」內ニアル定規硫酸ノ酸量ヲ知リ幾何ノ「アンモニヤーク」發生セシカヲ驗セリ其結果ニヨレハ結晶スル場合ニハ一「グラム」ノ蛋白質ニ對シテ二－七「ミリグラム」ノ「アンモニアーク」ノ發生ヲ見ルモ牛豚又ハ羊ノ血漿ニ於テ結晶ヲ起サヽル場合ニ於テハ殆ント「アンモニアーク」ノ發生ヲ見ルコトナシ又結晶體ヲ頭器內ニテ凝固セシメ後ニ三尺水ニテ洗ヒ其反應ヲ驗スルニ強酸性ニシテ此レニ「ペプシン」ヲ加フル時ニ孵卵器內ニテ容易ニ消化ス

以上ノ事實ニヨリテ「アルブミン」ハ硫酸ト結合シテ結晶スヘキモノナル事ヲ知ルヘシ而シテ此結

第7474号　本文

晶ヲ反覆スル時ハ順次ニ其結晶カ硫酸「アンモニアーク」溶液ニ對シ溶解スル度減少ス此レ硫酸ノ「アルブミン」ニ結合スル量增加スル爲メナラン

最後ニ著者ハ硫酸「アンモニアーク」ニ類シタル鹽類卽チ「アンモニウムセレナート」ヲ以テ同樣ナル結晶ヲ得ルコトヲ示セリ

蛋白質同化ノ化學的作用ニ就テ（獨文）

動物體內ニ於ケル組織ノ化學的作用及ヒ其營養ニ就テハ吾人ハ細胞カ蛋白質及ヒ其分解物ヲ取リ此ヲ保持スルモノナルコトヲ假定セサルヘカラス

此假定ニ就キ著者ハ細胞物質及ヒ其核質ト蛋白質トノ結合作用ヲ化學的ニ研究シタルモノナリ其ノ研究ノ方法トシテハ細胞及ヒ胞核質ト「アルブモーゼン」トヲ混合シ一定時間振盪器ニテ振盪シ後水ヲ以テ其濾過液中ニ「ビウレット」反應ヲ失フニ至ルマテ洗ヒ後弱鹽酸ヲ以テ再ヒ其結合シタル「アルブモーゼン」ヲ分離シ得タルナリ

元來細胞核質內ニハ「ヌクレオヒストン」アリテ弱酸ヲ以テ容易ニ「ヌクレイン」酸及ヒ「ヒストン」トニ分解スルヲ以テ此ノ「ヒストン」及ヒ「アルブモーゼン」兩者ノ混合液ヨリ「ヒストン」ヲ除去シ「アルブモーゼン」ヲ精製セサルヘカラス卽チ著者ハ此混合液ヲ中性トナシ此レニ「ピクリン」酸曹達液ヲ混シ「ヒストン」ヲ沈澱セシメ此ヲ濾過シ後其濾液ヲ硫酸ヲ以テ少シク酸性トナシ「エーテル」ヲ以テ「ピクリン」酸ヲ除去シ「アルブモーゼン」ノ反應及ヒ其窒素ノ量ヲ定メタリ

第一ノ實驗トシテ犬ノ血液ヨリ白血球ヲ及ヒ小牛ノ骨髓中ニアル有核細胞物質ヲ集メ此ヲ攝氏四十度ノ水中ニ入レ其不溶解物質ヲ「ビウレット」反應ヲ呈セサルマテ水ヲ以テ洗ヒ後水ニ混シ此ヲ略〻三等分シ第一ニハ他ノ物質ヲ混スルコトナク第二ニハ「プロタルモーゼ」ヲ混シ第三ニハ「ドイテロアルブモーゼ」ヲ混シ二時間振盪器ヲ以テ振盪シ後「ビウレット」反應ヲ消失スルマテ水ヲ以テ洗ヒ〇。三六％ノ鹽酸ニテ再ヒ分離セシメタルニ其濾過液中ニハ「ヒストン」樣ノ物質ナク唯「アルブモーゼン」樣物質ノミニシテ其第二第三濾過液中ニアル窒素量ハ第一濾過液ノ窒素ノ量ヨリ多キヲ以テ其一部ハ細胞物質ト結合シタル「アルブモーゼン」ナラサルヘカラス

第二ニ鷄ノ血球中ヨリ「ヌクレオヒストン」ヲ精製シ此ノ物質ト「アルブモーゼン」トヲ混シ同一方法ニテ處理シ其濾過液ヨリ「ヒストン」ヲ除去シ「ヌクレオヒストン」ノ窒素ノ量ニ對シテ「アルブモーゼン」ノ三十乃至四十％ノ窒素量結合スルコトヲ證明セリ

第三ニ「ヌクレオヒストン」鹽類ヲバング氏ホイスカンプ氏及ヒ著者ノ三法ニテ「チームス」及ヒ淋巴腺ヨリ精製シタリ然ルニ此物質ハ水ニ溶解シ易キヲ以テ〇・九％食鹽水或ハ〇・一％格魯兒加爾叟謨ノ液中ニテ前同法ニテ「アルブモーゼン」ト共ニ處理シタルモ「アルブモーゼン」ト結合スルコトナシ然レトモ其物質ヲ「オキサール」酸ニテ弱酸性トナス時ハ「ヌクレオヒストン」ト加爾叟謨ト分離シ始メテ水ニ不溶解性ノ「ヌクレオヒストン」ヲ得此ノ「ヌクレオヒストン」ハ又「アルブモーゼン」ト結合ス

第四ニ血漿中ニアル「グロブリン」及ヒ「アルブミン」ト「アルブモーゼ」ト此ノ如キ結合作用又ハ血漿夫レ自身ニ「アルブモーゼン」ヲ凝固性蛋白質ニ變化セシムル作用アルカヲ驗シタルモ共ニ陰性ノ結果ヲ得タリ

此ヲ要スルニ白血球及骨髓內ニアル有核細胞ノ細胞物質及ヒ鷄ノ血球內ニアル「ヌクレオヒストン」ハ水ニ不溶解性ニシテ「プロタルモーゼ」及ヒ「ドイテロアルブモーゼ」ト共ニ緩〻結合スル性アリ此レニ反シテ「チームス」及ヒ淋巴腺ヨリ得タル「ヌクレオヒストン」ハ容易ニ那篤倔謨及加爾叟謨ト結合シテ水ニ溶解スヘキ鹽類トナル此ノ鹽類ハ「アルブモーゼン」ト結合スル力ナキモ若シ始メニ此鹽類ヨリ那篤倔謨及加爾叟謨ヲ除去シ純粹ノ「ヌクレオヒストン」トナス時ニ始メテ「プロタルモーゼ」又ハ「ドロテロアルブモーゼ」ト結合ス卽チ「ヌクレオヒストン」カ「デッソチアチオン」(Dissociation)ノ狀態ニアル時ニ始メテ「アルブモーゼン」ヲ取ル而シテ血漿內ニ於ケル蛋白質ハ「アルブモーゼン」ト結合スルコトナク又「アルブモーゼン」ヲ凝固性蛋白質ニ變化セシムル力ナキヲ證明シタリ

熱時ノ汗分泌（獨文）

著者ハシュウエンケンベッヘル氏ノ汗測量器ヲ用ヒ其內ニ種々ノ時期ニ於ケル腸窒扶斯患者ヲ入レ第一ニ出入時ノ空氣ノ濕度及ヒ一定時間ニ通過セシ空氣ノ量ニヨリテ患者ノ皮膚ヨリ空氣中ニ發セシ水分ノ量ヲ知リ第二ニ釣床及ヒ患者ノ著用シタル衣服ノ實驗前後ノ目方ニヨリ幾何ノ水分吸收セラレタルカヲ知リ此兩者ニヨリテ一定時間內ニ皮膚ヨリ發生セシ水量ヲ定メ下ノ如ク論結セリ

（一）體溫昇ル時ニハ皮膚ヨリ分泌スル汗ノ分量ハ健康體ニ於ケル平均量ノ最小量ト同シク稽留熱ニ於テハ其量少シク增加ス而シテ熱ノ下降スル時ニハ其量著シク增加シ熱ノ下降スル度ノ遲速ト正比例ヲナス

（二）腸窒扶斯患者ニツキテ熱ノ全經過ト汗ノ分泌量トノ關係ヲ見ルニ第一第二週ニ於テハ强壯體ニシテ重症窒扶斯ニ罹ル時ニハ汗量少シク增加スルヲ見ルモ輕症窒扶斯又ハ再發ノ場合ニ於テハ汗ノ分泌量增加スルコト少シ而シテ第三週ノ始メヨリ其量減シ最小量トナリ快復期ニ於テ又增加シテ健康體ニ於ケル量ニ復ス之ヲ要スルニ腸窒扶斯ノ全經過ニ於テ汗分泌量ハ常ニ同一ナルモノニアラス

筋ノ温熱性强直ニ關スル知見追加（獨文）

著者ハ蛙ノ縫匠筋及ヒ腓腸筋ヲ攝氏九十度マテ除々ニ温メタル時得タル收縮曲線ニ五箇ノ階段アル事ヲ定メ又其筋肉ヨリ得タル壓迫汁ヨリ凝固スヘキ五種ノ蛋白質ヲ區別シタリ

筋肉ノ收縮階段		筋肉液汁內ニアル蛋白質ノ「フラクチオン」	
I	37°—44°.	I	37°—46°
II	44°—46°.5	II	47°—55°
III	56°—65°	III	57°—67°
IV	70°—77°	IV	66°—75°
V	80°—	V	76°—85°

此兩者ヲ比較スルニ筋肉ノ收縮階段ハ筋肉液汁內蛋白質ノ凝固ニヨリテ區別シタルモノト悉クハ一致セス卽チ第一收縮階段ハ蛋白質ノ第一「フラクチオン」卽チ溶解性「ミオゲンフィブリン」ノ凝固點ト殆ント一致スト雖モ第二ノ「フラクチオン」ハ筋肉液汁內ニテ四十七度―五十五度ニ於テ全量ノ三分一ノ蛋白質ノ凝固ヲ見ルモ收縮曲線ニ於テハ筋肉收縮ヲ示ス事ナク却テ幾分カ延長スル事ヲ見ルヘシ此ノ第二ノ「フラクチオン」ニ屬スル蛋白質ハ筋肉內ニ於テハ四十四度―四十七度ニ於テ既ニ凝固スルモノニシテ「ミオジン」ニ相當スルモノナリ

第三ノ屈曲ハ第三ノ「フラクチオン」ニ屬スル蛋白質卽チ「ミオゲン」及ヒ基質蛋白質或ハ結締組織ノ凝固ニ歸因ス第四ノ筋肉收縮ハ血液及ヒ淋巴液ノ內ニアル蛋白質ノ凝固ノ爲メニ起ルモノニアラスシテ此ノ凝固點ヲ有スル筋肉蛋白質ノ凝固ニ歸因ス第五ノ筋肉收縮ト第五ノ「フラクチオン」ノ凝固點トハ殆ント一致スル事ヲ見ルヘシ

其外著者ハ尙ホ筋肉ノ死後强直ノ種々ノ强度ニ於テ其筋肉ノ溫度ニ對スル收縮曲線ト其筋肉液汁內ニアル蛋白質ノ種々ノ「フラクチオン」ノ凝固點ト其量トヲ測リ死後强直ハ筋肉內ニアル溶解性「ミオゲンフィブリン」及ヒ「ミオゲン」ノ凝固ノ爲メニ起ルヘキモノナル事ヲ確定セリ

出血後血液ノ變化及ヒ血液ノ新生セラルヽ有樣（獨文）

著者ハ家兎ニツキテ其頸動脈ヨリ全血液量ノ十八乃至三十六％ヲ取リ直ニ同量ノ弱「アルカリー」性「イソトニー」食鹽水ヲ頸靜脈ヨリ注入シ血液ニ於ケル變化及ヒ血液ノ新生セラルヽ有樣ヲ知ラン爲ニ赤白血球ノ數「ヘモグロビン」ノ量、血球容積、血漿ノ比重、血漿蛋白質及ヒ「アルブミン」ト「グロブリン」分量ノ比卽チ蛋白質得數ニ就キテ實驗セリ

赤血球ノ補充ニ就キテハ刺絡後第二日目ニ於テ既ニ新生セラレ增殖シツヽアルコトヲ知ルヘシ而シテ其新生セラルヽ有樣ハ初期ニ於テハ規則正シク增加スヘキモ補充時期ノ終リニ於テハ常ニ多少ノ增減アルコトヲ見ルヘシ此ノ如キ增減アリテ後多クハ刺絡後十六乃至二十日ニ於テ刺絡前ノ數ニ達ス時トシテ動物カ健康體ニ復スルニ關セス或ル場合ニ於テ其刺絡前ノ數ニ達スルコトナク又他ノ場合ニ於テハ著シク其數增加スルコトアリ

「ヘモグロビン」ノ量ハ多ク血球數ノ增加ト併行スルモノニシテ一般ニ刺絡後十八乃至二十二日ニ於テ全ク補充セラル然レトモ刺絡後其殘留シタル「ヘモグロビン」ノ量ハ血球數ノ割合ニ比シ多ク減ス是レ多量ノ出血ノ爲メニ殘留シタル血液カ種々ノ變化ヲ受ケタル爲メニシテ血球ノ灰量殊ニ鐵量增加ス此レ鐵カ血球內ニ悉ク「ヘモグロビン」ノ一成分トシテ存スルニアラス一部ハ他ノ化合物トナリテ居ルモノナルコトヲ論結シボール氏ノ說ヲ根據トシテ出血後血球ノ數「ヘモグロビン」及ヒ「ヘマチン」ノ量ヲ測定シ「ヘモグロビン」ノ量ハ血球數ニ比シ甚シク減少スルニ關セス「ヘマチン」ノ減量ハ殆ント血球ノ減數ト同一ナルコトヲ證セリ而シテ此「ヘマチン」ハ補充期ノ間ニ於テ「ヘモグロビン」ニ構成セラル

血球ノ比較的容積ハ各家兎ニヨリテ著シキ差アリト雖モ同一家兎ニ於テハ健康時ニ於テ常ニ同一容積ヲ有シ其ノ容積ノ大小ハ「ヘモグロビン」ノ量ニ比例スヘキモノナリ出血後ニ於テハ血球ノ容積ハ血球數ニ比シ多ク減ス而シテ動脈血ト靜脈血トノ血球容積ハ後者ニ於テ比較的多ク減少スルコトヲ見ル此ノ如ク血球容積ノ減少スルハ實際血球ノ縮小スルモノニシテ血球ノ縮小ハ血球ヨリシテ水分及ヒ固形物ヲ出ス爲メナリ其固形物ノ重ナルモノハ鐵ヲ含有セサル「ヘモグロビン」ノ一成分卽チ「グロビン」ト同樣ナルモノナルヘシ此血球容積ハ血液全ク補充セラレタル場合ニ於テハ又舊ニ復ス

白血球ハ赤血球ニ比シテ其數甚シク減スルモ翌日ニ於テ著シク增加シ出血前ニ於ケル數ニ倍スルコトアリ

血漿內ノ比較的蛋白質ハ出血後ニ於テ多ク減スヘシ此レ血壓及ヒ組織壓ノ關係ヨリシテ組織液カ血液內ニ流內シタル爲メナリ此レニ反シテ全蛋白質量ハ「プラスマ」ノ量增加シタル爲メニ却テ出血前ノ全蛋白質量ヨリモ增加スルコトアルヘシ

蛋白質得數ハ刺絡後數時間ニ於テ增加ス此レ「アルブミン」カ「グロブリン」ヨリ少ク減シタルニ因ス此ノ「アルブミン」ノ量減少スルコト少ナキハ「アルブミン」ノ「フラクチオン」ニ屬スヘキ蛋白質卽チ「グロビン」カ赤血球ヨリ排出セラレタルモノナラン而シテ一乃至二日後ニ於テ此ノ得數小トナル此レ「グロブリン」ノ量增シ「アルブミン」ノ量減スル爲メニシテ此得數ハ赤血球ノ補充セラレタル場合ニ出血前ノ得數ト同樣トナルモノナリ

以上論文ハ學術上有益ニシテ稻垣長次郞ハ醫學博士ノ學位ヲ授與セラルヘキ資格ヲ有スルモノト認定ス

學位記

東京府士族
阿久津三郎

右論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ東京帝國大學醫科大學敎授會ニ於テ其大學院ニ入リ定規ノ試驗ヲ經タル者ト同等以上ノ學力アリト認メタリ仍テ明治三十一年勅令第三百四十四號學位令第二條ニ依リ茲ニ醫學博士ノ學位ヲ授ク

論文審查ノ要旨

天竺鼠ニ於ケル精囊ノ神經分佈ノ知見補遺（獨文）

著者ハ先ツ精囊ノ神經分佈ヲ講究センニハ試驗動物トシテ天竺鼠ノ最モ適切ナル所以ヲ說キ次テ從來ノ文獻ヲ敍シ天竺鼠ニ於ケル下腹神經ノ走行徑路及諸他ノ神經節トノ解剖上所見ヲ述ヘ之ヲ電氣的及器械的ニ刺戟シテ精囊ノ運動ヲ檢查セリ其結果ハ下腸間膜神經節ヲ刺戟スレハ兩側精囊ニ於テ一種固有ノ逆行蠕動樣運動ヲ起シ其以下ニ於テハ常ニ當該側ノミ運動ス此神經節ト第二乃至第五腰椎ノ高サニ在ル交感神經節トノ交通枝腎神經叢ト連ル大動脈枝ヲ刺戟スレハ當該側ノ偏側性運動ヲ起シ第二乃至第五腰椎ノ高ニ在ル交感神經節ヲ刺戟スレハ主トシテ當該側ニ起リ反對側ニモ亦輕微ノ運動ヲ來スモ其上下ニ在ル交感神經索及勃起神經幷他神經ノ直接刺戟ハ毫モ精囊ノ運動ヲ起サヽリキ是ニ於テ興奮作用ノ通路ハ脊髓ヨリ第二乃至第四腰髓根及吻合枝ヲ介シテ交感神經索ニ至リ之ヨリ交通枝及大動脈枝ヲ經テ下腹間膜神經節ニ達シ次ニ下腹神經ヲ通シテ精囊底ノ下腹神經叢ニ到リコヽヨリ精囊及他ノ臟器ニ分佈スル者ナリト結論セリ

次ニ著者ハラングレー氏ノ試驗法ヲ行ヒ神經纖維ノ多數ハ交感神經索ヨリ精囊ニ到ル途中ニ於テ下腸間膜神經節又ハ下腹神經叢中ノ神經節ニ於テ轉換セラルヽコトヲ證明シ又下腹神經ヲ切斷シタル後スヒナー氏試驗ヲ施セシニ射精ノ絕止陰莖勃起ノ不完全ナルヲ見テ勃起作用ニ多少ノ關係ヲ有スルモノナラント說ケリ

精囊ニ於ケル分泌機轉ノ顯微鏡檢查（獨文）

精囊ハ生理的機能トシテ一定ノ液ヲ分泌スルモノトセハ必スヤ其內壁ニ在ル上皮細胞ニ於テ分泌機ニ一致セル變化ノ起ルヘキコトヲ想像シテ之カ檢索ニ從事セリ著者ハ各動物ニ從テ精囊ノ發育及構造ノ上ニ差異アルコトヲ述ヘ鼠ニ於ケル鏡檢上所見ヲ記載シタリ

著者ハ先ツ檢查方法ニ關シテ諸種ノ固定法及染色法ヲ試ミ其得失ヲ論シ次ニ精囊上皮ノ原形質ハ網狀ヲナシ分泌液ハ其網狀眼內ニ包容セラルヽモ細胞內ニ於テ合流スルコトナク小ナル顆粒狀トナリテ分泌セラルヽモノタルコトヲ證セリ

又精囊ニハ粘液腺ヲ具ヘサルコト及分泌機ハ絕ヘス行ハルヽモノタルコトヲ說キ最後ニ下腹神經ヲ刺戟シテ精囊上皮ニ起リタル變化ヲ記シ以テ下腹神經ハ精囊ノ分泌機ヲ主宰スルモノタルコトヲ證明セリ

精囊ノ組織ニ關スル補遺附りぽくろーむノ注意（獨文）

著者ハ各種年齡ノ屍體ヨリ得タル精囊ニ就キ系統的ニ組織的檢查ヲ施シ次ノ如キ結論ヲ下セリ

一　筋層ハ縱行纖維外層ト環狀纖維內層トノ他ニ例外トシテ縱行最內層ヲ成スコトアリ

二　上皮細胞ハ精囊ノ狀態ニ從テ圓柱形又ハ骰子形ヲナス大人ニ於テハ陷凹部ノ底面ニ在ル上皮ハ其腔內ニ突出セル部ノ先端及側面ニ在ル上皮ヨリモ更ニ大ナル高サヲ有ス、上皮細胞ノ大部分ハ單層ニ駢列セラル

三　精囊ニ於テハ他ニ粘液腺等特別ノ腺ヲ有セスシテ上皮自個到ル處ニ於テ分泌機能ヲ營ムモノナリ

四　彈力纖維ハ主トシテ結組織層及上皮下層ニ存在ス上皮下ニ在ル彈力纖維ハ既ニ春氣發動期ニ於テ非薄ナル層ヲ成シ約三十歲ニ至ルマテ徐々ニ發育ス

五　精囊中ノ色素顆粒ハ春氣發動期以後ニ於ケル規則的現象ナリ此色素顆粒ハ筋及上皮細胞ノ外結組織細胞ニモ存スルコトアリ

色素顆粒ヲ有スル筋細胞ハ主トシテ粘膜下組織ノ附近ニ在リ又色素顆粒ノ發生ハ一定ノ規則ナク種々ナル要約ニ關スルモノヽ如シ是等色素顆粒ハ何レモ鐵反應ヲ呈セサレトモ上皮ノ色素顆粒ノミハ脂肪樣反應ヲ呈シ卽チりぽくろーむニ屬スルモノニシテ恐クハ上皮細胞ノ生活機轉ニ因スル生產物ト見做スヘシ

所謂特發性腎臟出血ニ就テ

著者ハ外觀上著明ノ變化ナキ腎臟ヨリ出血セル一例ニ於テ腎臟摘出術ヲ行ヒ之カ顯微鏡的檢查ヲ施シテ腎臟間質結締織ノ增殖絲毬體ノ變性細尿管上皮ノ退行血管內膜增殖等ノ變化アルコトヲ示シ次テ從來報告セラレタル諸例ヲ評論シ剖檢又ハ手術ヲ施サヽリシモノハ之ヲ器質的變化ナシト斷定スルコト能ハスト云ヒ腎臟ノ一片ヲ切除シテ顯微鏡檢查ヲ行フモ尙必シモ腎臟全般ヲ推知スルコト能ハスト說キ所謂特發性腎臟出血ノ存在ヲ疑ヒ必ス何等カノ變化アルヘシト論セリ

腎盂及輸尿管ノ多發性乳嘴腫ニ就テ

本篇ハ腎盂及輸尿管ニ多發セシ乳嘴腫ノ一例ヲ舉ケ臨床上注意スヘキ事項ニ關シAlbarran, Israelノ所論ヲ證明セシモノナリ卽チ（一）間歇性腎臟血尿及尿中多數ノ非定型的上皮細胞ノ存在（二）膀胱鏡ニ依リ輸尿管口ヨリ突出セル乳嘴腫塊ノ證明（三）輸尿管消息法等ヲ診斷上ノ要點ナリト云フニ在リ著者ハ尙本腫瘍ハ後年概ネ癌腫ニ變化スルモノナランノ推想ヲ下セリ

外傷性腎臟水腫ニ就テ

本篇ハ外傷性腎臟水腫ニ眞正及假性ノ別アルコトヲ述ヘ次ニ眞正腎臟水腫ノ發生原因ニ關シテ從來報告ニ係ル諸例ヲ精查シ大多數ハ輸尿管ノ損傷若クハ其周圍組織ノ變化ヲ主因トスルコト及健全ナル輸尿管ハ凝血塊ノ箝頓ニ因リ腎臟水腫ヲ起スコトナシトノ結論ヲ下シ輸尿管ノ瓣狀創ニ因スル腎臟水腫ノ一例ヲ附加セリ

腎臟結核症ニ就テ

本篇ハ七十五例ノ腎臟結核症ニ就キ主トシテ其治療法ノ點ニ關シ述ヘタルモノナリ

著者ハ先ツ自然的治癒ヲ期待スヘキヤ否ヤノ問題ヲ前提シ手術ヲ施サヽリシ二十六例ノ經過ヲ觀察シテ五例ノ死亡者ト他ハ概ネ病勢進行ノ徵ヲ認メタルニ因リ自然治癒ノ望少キコトヲ論シ次ニ二說例ニ基キ輸尿管腔閉塞ニ因リテ結核竈ノ封鎖セラルヽコトアルモ其結果ハ腎臟膿腫ニ終ルヘキヲ示シ早期ニ確診ヲ下シテ一定要約ノ下ニ之ヲ摘出センコトヲ勸告セリ

次ニ腎臟纖維膜切除術ヲ施シタル二例ニ在リテハ何等良好ノ效果ナカリシト云ヘリ

腎臟切開術ハ之ヲ十四例ニ行ヒ種々ノ經過ノ下ニ其十例ヲ失ヘリ是ニ於テ著者ハ腎臟切開術ノ適應症ハ高熱出血劇痛又ハ尿毒症等體力營養ヲ迫害スル場合ニ限リ救急處置又ハ摘出準備トシテ之ヲ行フノ他無效ナルコトヲ論定シ診斷上ノ目的ニハ寧ロPinner氏手術ヲ行フノ得策ナルヲ說ケリ

第7474号 本文

腎臟摘出術ヲ施セシ三十四例中術後二例ノ死亡者ヲ出シ一年內外ノ經過ニ於テ三例ヲ失ヒ他ハ多數ニ於テ營養回復膀胱症狀ノ輕快セルヲ見タリトテ次ノ結論ヲ下セリ

（一）病竈偏側ニ占居シ他側腎臟全ク健全ナルトキハ絕對的ニ摘出術ヲ行フヘク而モ可成的早期ナルヲ良トス

（二）兩側腎臟共ニ侵サレタルトキハ摘出術ヲ禁忌スヘシ

（三）他部ノ疾患體力心力等ヲ參照シテ一次若クハ二次的ニ行フヘシト雖モ可成的一次的ナルヲ可トス

（四）膀胱變化ノ如何ハ摘出術ヲ禁忌セス

次ニ著者ハ腎臟結核ニ施シタル諸種ノ腎臟檢査法ニ關シ其意見ヲ述ヘタリ

（一）輸尿管消息法ニ依リ各側尿ヲ分テ精査スルハ最モ正確ニシテ信賴スヘク殊ニ健側ノ尿ヲ採取スルヲ必要トス

（二）分尿器 Harn separator ハ成績不正確ナリ唯膀胱健全ナル場合ニハ之ヲ試ムルモ可ナレトモ輸尿管消息法ノ如ク確實ナル能ハス

（三）「インヂゴカルミン」注射後膀胱照檢法ヲ行フハ多數ニ於テ陽性ナリシモ陰性ノモノ二例アリタリ著者ハ吸收作用ノ如何モ亦關與スヘシト推想シ絕對的數量的確實ナル方法ニアラスシテ陽性成績ノ場合ニノミ用立ツヘキモノナリト見倣セリ

（四）凍結點測定法ハ著者ノ摘出例ニ於テハ〇・五〇乃至〇・六〇ニシテ必シモ確實ナラサルヘキモ參考ニ値スヘキコトヲ述ヘ尙此方法ニ據リ一側ナリヤ兩側共ニ疾病ニ罹レルヤヲ判斷スルコト能ハストトセリ

著者ハ此他尙ホ術上二三ノ注意スヘキ點ヲ附加セリ

膀胱腫瘍手術的療法ノ實驗

膀胱腫瘍ノ手術的成績ニ關シ種々ノ統計及著者自驗ノ十例ヲ擧ケ他部ノ腫瘍ニ比シテ預後不良タルコトヲ說キ尙適應症トシテ次ノ如ク述ヘタリ

（一）良性腫瘍ニシテ出血排尿障礙（增大及其部位ニ從テ）等ヲ與フルコトナキモノハ之ヲ放置スルモ可ナリ唯時々檢索シテ惡性變化ヲ來サヽルヤ監視スルヲ要ス

（二）惡性腫瘍ニシテ手術ニ困難ナル部位ニ發生セシトキ（底部ニ生セシモノ又ハ浸潤セルモノ等）危險ノ症狀（例ヘハ出血排尿困難等ヲ主トス）ナキモノハ之ヲ放置シ症候的處置ヲ行フ

（三）膀胱鏡手術ハ底部及後壁側壁等手術シ易キ部位ニ發生セシ良性有莖腫瘍ニ適應ス

（四）項部前壁等手術容易ナル部位ニ發生シ甚シク瀰蔓セサル腫瘍ハ可成的（體力ノ許ス限リ）膀胱壁ノ一部ト共ニ切除術ヲ行フ

（五）一部切除術ノ困難ナル部位ニ發セシ惡性腫瘍ニシテ危險症ヲ釀シ而モ限局性ノモノナルトキハ腫瘍ノミヲ切除ス但シ婦人ニシテ膀胱頸部ニ發生セシ良性腫瘍ハ時トシテ尿道ヨリ手術スルコトヲ得

（六）膀胱全摘出術ハ望少シ

（七）腫瘍既ニ蔓延シテ出血疼痛尿意促迫等膀胱症狀高度ナルトキハ瘻孔造設術ヲ施スヲ可トス

（八）以上ノ適應症ハ患者ノ年齡體力合併症ノ有無等ニ從テ多少變更サルヘシ即チ各人其狀況ニ從テ左右セラルヘキモノナリトス

著者ハ尙腫瘍摘出時ニ根蔕部ヲ絞緊シ以テ出血ヲ避クヘキ注意ヲ與ヘタリ

以上論文ハ學術上有益ニシテ阿久津三郎ハ醫學博士ノ學位ヲ授與セラルヘキ資格ヲ有スルモノト認定ス

○卒業證書授與　神戶高等商業學校ニ於テ本月二十三日佐賀縣士族大島恒一郎ニ卒業證書ヲ授與セリ（文部省）

○產業

○農事試驗場業務功程　愛知縣農事試驗場明治三十九年度業務功程左ノ如ク報告アリ（農商務省）

種藝

普通作物

水稻

種類試驗　數十品種ノ稻ニ就キ其生育收量等ヲ檢シ縣下ニ適スル良種ヲ得ントスルノ目的ヲ以テ行ヒタル本試驗ノ成績中安城ニ於テハ粳種ニ神力今撰若姬薪關取等糯種ニハ白天竺優良ニシテ清洲ニ於テハ粳種ニ神力改良千本小錦器量好等良好ノ結果ヲ示セリ

分蘗苗ノ試驗　極端ナル薄播ヲ爲シ苗代中ニ分蘗セシメタル苗ハ收量多シト唱ヘ之ヲ行フモノアルヲ以テ其事實ヲ確メンカタメニ此試驗ヲ行ヘリ不幸ニシテ本年苗代期ノ氣候ハ苗ノ分蘗ヲ促スニ足ラスシテ試驗ノ目的ヲ達スル能ハサリシ

水害ニ對スル苗ノ處理法試驗　是ニ就キテハ已ニ試驗ヲ重ネ豫備苗ヲ假植シ置キテ用ニ充ツルト無害田ノ稻株ヲ分チテ被害田ニ再植スルノ利アルヲ認ムルモ尙ホ挿秧當時餘剩ノ苗ヲ貯ヘ置キ此變ニ應シ得ヘキヤ否ヤヲ知ランタメ試驗シタルカ其成績ニ依レハ苗ハ之ヲ小束ニ把ネ浸水シ置クモ亦之ヲ畑地ノ一部ニ假植シ置クモ充分ノ結果ナク孰モ前二法ニ比シ劣ルノ事實ヲ確メタリ

豐凶考照試驗　同一ノ地ニ年々同品種ノ稻ヲ同樣ニ栽培シ其生育ノ狀況ニ依リ其年ニ於ケル一般ノ作況ヲ豫知センカタメニ行フ所ニシテ生育期中數回行フ調査ニ基キ時々作況豫想ヲ發表セリ

熟期促進試驗　此ハ良品種ノ稻ニシテ其熟期ノ遲キカタメ又年々結霜ノタメ登實完カラサル憂アルモノニ付キ耕作ノ方法ヲ加減シ其熟期ヲ促進セシメ得ヘキヤヲ試ンカタメ行ヘリ其成績ニ依レハ施肥量ヲ節スルト播種ノ期節ヲ早ムルト及採種法ニ注意スルトキハ年ヲ重ヌルニ從ヒ成熟日數ヲ短縮スルノ事實ヲ認メタリ

灌漑水深淺試驗　灌漑水ノ深淺ニ依リ收量上ニ及ス關係如何ヲ知ランカタメニ行ヒタルカ是ニ依レハ水ノ深サヲ加フルニ從ヒ收量ノ遞減スルノ成績ヲ得タリ

人造肥料效驗試驗　各種ノ窒素質人造肥料ノ效驗比較試驗ナルカ其成績上收量ニ於テハ孰モ著シキ差異ヲ認メサルモ大阪硫曹第五號東京普通完全肥料多木窒素燐酸肥料及硫酸「アムモニア」等稍々優レリ

石灰加用試驗　綠肥施用ノ場合ニ於テ其分解ヲ促進スルノ目的ヲ以テ本試驗ヲ行ヘリ其成績ハ之ヲ加用スルノ利ナルヲ示シ其用量ハ綠肥ノ施用量ニ依リ一定セサルモ普通二十貫內外ヲ以テ足レリトスルカ如シ

壚土改良法試驗　縣下各郡壚土質ノ土壤ニハ稻ノ生育度ニ過キ結實不良ナルノ傾アリ之カ改良法ニ關シ行ヒタル本試驗ハ客土法ニ依ルノ最モ安全ニシテ且ツ有利ナル成績ヲ得タリ

肥料ノ土壤ニ及ス關係試驗　縣下未耕地ノ大部ヲ占ムル第四紀古層ノ埴土ニ施スヘキ肥料ヲ試驗セリ前年來ノ成績ニ依ルニ有機物ニ富メル粗大肥料ノ施用ハ最モ肝要ニシテ藁灰ノ多量ヲ施用スルモ亦有益ナリ

石灰窒素效驗試驗　新肥料タル石灰窒素ハ他ノ無機性窒素肥料ニ比シ效驗劣レリ又之ヲ移植後ニ用フルトキハ其含有スル有害物ノタメニ一時甚シク生育ヲ阻害シ是カ恢復ニ多數ノ日子ヲ費スカ如キ或ハ價格ノ不廉ナル嫌アル等ヲ認メタリ

石灰窒素施用期試驗　石灰窒素ヲ稻作ニ施用スルニ當リテハ挿秧二三週間前其全量ヲ施シ置クノ必要ヲ認メタリ

萎縮病ト苗トノ關係試驗　尾張地方ニハ稻ノ萎縮病ニ罹ルモノ頗ル多シ本試驗ノ成績ニ依ルニ綠苗及極端ナル薄播苗ハ被害多ク又苗代跡ニ移植セルモノハ他ニ比シ特ニ被害多キ事實ヲ認メタリ

水害ニ耐フル稻種類試驗　沿海又ハ河岸地ニシテ浸水ノ害ヲ被ル地方多シ斯ル地方ニ栽培スヘキモノハ本年及連年ノ成績ヲ總合シテ浪「クゾリ」八重穗鬼熊白借金等宜シキヲ認メタリ

種子交換試驗　同一品種ニシテ其採種地ヲ異ニスルトキハ生育收量ニ及ス關係異ナルヘキヤヲ試驗シタルニ本年及前年ノ成績共ニ種子ヲ交換シタルモノハ否ラサルモノヨリ優レルコトヲ知レリ

種類對株數苗數試驗　早、中、晩種ニ依リ移植株及適當ナル苗數ヲ知リ極端ナル粗植密植ノ弊ヲ改メシメンカタメニ行ヘリ其成績ニ依レハ早稻ハ苗數六本中稻五本晩稻四五本株數ハ共ニ四十乃至五十株ヲ適當トスルヲ認メタリ

石灰ノ地力ニ及ス關係試驗　石灰連用ノ害ヲ示サンカタメニ行フ所ニシテ年ヲ累ヌルニ從ヒ明ニ地力消耗ノ事實ヲ現セリ

綠肥作物跡作試驗　綠肥作物ノ種類（紫雲英及苜蓿）ニ依リ其跡作タル稻ノ生育ニ及ス關係ヲ知ランカタメニ行ヘリ其成績ニ依レハ種類ノ關係ヨリモ其繁茂ノ狀況ニ依リ後作ノ收量ニ影響スルコト大ナリトス

耕鋤深淺試驗　表土ノ深淺ニ依リ稻ノ生育收量ニ及ス關係ヲ知ラントスルニ在リテ其成績ニ依レハ表土ノ深キヲ利トシ一定ノ範圍ニ於テハ其深サヲ增スニ從ヒテ施肥ヲ要スルコト多キモ收量亦遞加スルノ事實ヲ認ム

除草法試驗　縣下西部地方ニ於テ稻ノ除草ニ備中鍬ヲ用ヒ二回或ハ三回深ク株間ヲ耕起スルノ慣行アリ其得失如何ヲ試ンカタメ本試驗ヲ行ヘリ其成績ハ之ヲ一番除草ニ止メ第二回ヨリ手取ト爲スヲ利益ナリトセリ

鯉兒放養試驗　稻田ノ副產トシテ鯉兒ヲ放養スルニ當リ其頭數ニ依リ鯉兒ノ生育上ニ及ス關係ヲ知リ其適當ナル數ヲ定メントス之ニ依レハ一步ニ付キ二三尾ノ少數ニ止ムルヲ宜シトスルナリ

陸稻

種類試驗　縣下ニ適スル陸稻ノ良品種ヲ得ントスルニ在リテ本年度ハ大畑早生亞剌比亞糯等優良ノ結果ヲ示セリ

無機肥料ノ土壤ニ及ス關係試驗　無機肥料ヲ連用スルニ依リ土壤ニ及ス影響ヲ知ラントスルニ在リテ其成績ハ年ヲ累ヌルニ從ヒ著シキ惡影響ヲ來シ作物ノ生育不良ト爲ルヲ確メタリ

堆肥效驗試驗　當地畑地ノ如キ有機物ニ乏シキ土壤ニ於テ堆肥ノ如キ粗大肥料ノ效驗及其土性ニ及ス關係ヲ知ランカタメニ行ヘリ繼續數年其成績ノ認ムヘキモノナキニアラサルモ未タ著カラス

石灰窒素效驗試驗　本試驗ノ成績ハ水稻同試驗ト趣ヲ一ニセリ

石灰窒素施用期試驗　本試驗ノ成績ハ水稻ノ場合ト同シク播種前二三週間ニ施用スルノ宜シキヲ認メタリ

堆肥施用法試驗　本試驗ノ成績ハ著シキ差異ヲ認メサルモ元肥トシテ播種當時土中ニ埋施スルヲ利ナリトスルカ如シ

蓼藍

種類試驗　蓼藍ノ良種ヲ見出サントスルニ在リテ本年ノ成績モ亦前年ニ同シク大葉越後最モ優レリ

混作試驗　蓼藍ノ株間ニ陸稻ヲ下種シ混作ト爲スト蓼藍陸稻ノ各單作ト其得失ヲ比較センカタメニ行ヘリ連年ノ成績共ニ混作ニ利アリ

甘藷

栽培法試驗　地方在來ノ方法トシテ二三節ヲ附シテ切採リタル苗ヲ挿植シ或ハ薯塊ノ儘之ヲ畑地ニ埋伏スルト缺キ取リタル苗ヲ用フルトニ由リ收量ニ及ス關係ヲ試ルニ在リテ其成績ハ缺キ苗ヲ用フルニ利アルヲ示セリ

苗ノ節數試驗　苗ノ節數ニ依リ收量ニ如何ナル關係アルヤヲ試ミタルカ其成績ハ節數ノ多キヲ利トスルニ在リ

落花生

肥料試驗　落花生ノ肥料トシテ燐酸ノ效驗ヲ試ミ併テ其施用量ヲ知ラントセリ其成績ニ依レハ燐酸ヲ施シタルモノハ施用セサルモノニ比シ收量品質共ニ優レリ用量ハ八貫內外ヲ適度トス

麥

種類試驗　大小粿麥ニ付キ數十品種中此風土ニ適スル良種ヲ見出サンカタメニ行ヘリ本年度ノ成績ニ依レハ安城ニ在リテハ大麥ハ三德清洲穗揃麥酒麥、小麥ハ西國、穗揃「チク」中村、粿麥ハ九州鬼粿香川等好成績ヲ得清洲ニ於テハ大麥ハ清洲白瀧池林、小麥ハ「チク」中村西國穗揃、粿麥ハ九州香川「コビンカタギ」等優良ナリシ

作條廣狹試驗　地方一般麥類ノ作條狹キニ失シ爲ニ分蘗ヲ妨ケ收量ヲ減損スルノ傾アルヲ以テ此弊ヲ改メシムルノ目的ヲ以テ本試驗ヲ施行セリ其成績ハ廣ク播種スルニ從ヒテ收量ヲ增加セリ

覆土試驗　覆土ト稱シ冬季中畦間ノ細土ヲ麥ニ篩ヒ掛クルモノアリ其得失ヲ試ンカタメ本試驗ヲ行ヘリ其成績ハ覆土ノ有利ナルヲ示セリ

割土試驗　割土（麥條ヲ左右ニ押分ケ其間ニ細土ヲ挾ム）ノ得失ヲ試ンカタメ本試驗ヲ行ヘリ其成績ニ依ルニ此措置ヲ爲シタルモノハ然ラサルモノニ比シ收量著シク優レリ是ヲ覆土ト併セ行ヒタルモノハ更ニ良好ナリシ

堆肥施用法試驗　其目的陸稻同試驗ニ同シ而シテ播種ノ際條底ニ埋メタルモノ最モ可ナリ

人造肥料效驗試驗　各種人造肥料ノ效驗ヲ比較シタルニ硫酸「アムモニア」智利硝石最モ優リ硫曹肥料五號多木窒素燐酸肥料等之ニ次ケリ

加里肥料試驗　數種ノ加里肥料ニ就キ麥作ニ對スル效驗ヲ比較セリ而シテ連年ノ成績藁灰常ニ優レリ

收穫期試驗　收穫期ノ早晚ニ依リ麥ノ品質收量ニ及ス關係ヲ試ミ晚刈ノ慣行ヲ改メシメンカタメニ行ヘリ其成績ニ依レハ黃熟期ニ刈取リタルモノ收量品質共ニ優リ又晚刈ノ最モ不利益ナル事實ヲ示セリ

無機肥料ノ土壤ニ及ス關係試驗　陸稻同試驗ノ後ヲ受ケ麥ニ就キテモ同樣ニ行ヘリ其成績前者ニ同シ

石灰窒素效驗試驗　其目的水稻陸稻ノ同試驗ニ同シ而シテ得タル成績亦之ニ一致セリ

石灰窒素施用期試驗　本試驗モ亦其目的陸稻同試驗ニ同シクシテ播種十數日前ニ施用スルヲ利トスル成績ヲ得タリ

堆肥ノ土壤ニ及ス效驗試驗　陸稻堆肥效驗試驗ノ後ヲ受ク其成績未タ著カラス

發芽播試驗　播種期ヲ失シタル場合ニ於テ豫メ人工ニテ發芽セシメ是ヲ播種スルノ得失如何ヲ知ラントセリ其成績ハ發芽播ヲ利トスルモ播種後ノ天候如何ニ依リ常ニ然ラサルモノアルカ如シ

麥稈用麥種類試驗　麥稈眞田用ニ適スル品種ヲ得ントスルニ在リ未タ其成績ヲ發表スルニ至ラス

熟期促進試驗　晚熟良種ノ大麥ニ付キ栽培法ノ如何ニ依リ熟期ヲ促進セシメ得ヘキヤヲ試驗セリ是ニ依レハ播種期ヲ早メ播種量及施肥量ニ注意シ又採種撰擇ニ力ムレハ此目的ヲ達シ得ヘキ成績ヲ得ルナリ

藺

肥料試驗　各種ノ肥料ニ付キ藺作ニ及ス效驗如何ヲ試ミタルカ成績ハ販賣肥料ニ在リテハ多木窒素燐酸乙號他ニ在リテハ人糞尿最モ優良ナリシ

仕立ヲ異ニスル苗ノ試驗　畑苗田苗ニ付キ比較試驗ヲ行ヒ畑苗ノ優ル成績ヲ得タリ

粗植密植試驗　本試驗ノ成績ニ依レハ粗密孰ニ失スルモ收量少ク品質亦不良ニシテ約五寸ノ距離ニ植エタルモノ最モ優レリ

綠肥作物

種類試驗　本試驗ニ於テハ紫雲英ノ品種中岐阜產晚生種最モ利アリ苜蓿ハ多クノ場合ニ於テ其收量紫雲英ニ及ハサルモ窒素ノ含有量稍々多ク比較的濕地ニ耐フルノ性アルヲ以テ紫雲英ノ繁茂セサル地方ニ之ヲ栽培スル可ナリ

苜蓿栽培法試驗　三河地方粘土質ノ早田ニハ苜蓿ノ生育良好ナラス故ニ其栽培法ヲ試驗シタルニ移植法ニ依ルヲ可トシ而シテ稻刈取後移植スヘキ苜蓿ノ局部ヲ少シク打起シ土塊ヲ碎キテ植エ付クルトキハ相當ノ收量アルナリ

燐酸加里效驗試驗　紫雲英苜蓿等ニ就キテハ燐酸加里ノ效驗著シク是等作物ノ栽培ニハ必ス之ヲ施用スヘキモノナルヲ認メタリ

施肥期試驗　紫雲英ニ就キ施肥期早晩ノ收量ニ及ス關係ヲ試ミタリ其成績ハ早キヲ利トシ前作稻刈取後直ニ施用シタルモノ最モ優レリ

牧草

種類試驗　十數種ノ牧草ニ就キ試驗シタルニ其成績ニ依レハ荳科ニ在リテハ「ルーサン」、「レッドクロバー」禾本科ニ在リテハ「オーチャードグラス」、「チモシー」、「レッドトップ」等收量ニ於テ優ルナリ

應用耕作

從來得タル試驗成績中縣下農界ノ現狀ニ照シ其普及ヲ必要ト認ムル事項ニ付キ比較的廣大ノ地積ニ模範的應用耕作ヲ爲シ之ヲ當事者ニ示セリ其主ナルモノ左ノ如シ

肥料ヲ用フルヲ以テ之ニ代フルニ人糞尿ノ如キモノヲ以テスルモ其用法ニ注意スレハ前者ニ劣ラサルノ事實ヲ示スカタメ行ヒタリ

播種量ニ關スル模範作　稻作ニ於テハ各種ノ窒素肥料ヲ單用スルモノ往々之アルヲ以テ其不利益ナル事實ト燐酸肥料配合ノ必要トヲ示サンカタメニ行ヒタリ

第7474号　本文

各種窒素肥料施用法ニ關スル模範作　稻作ニ關スル販賣肥料ノ主ナルモノニ付キ其性質及含有成分ニ應シ配合ノ割合施用量施用ノ方法及時期等ヲ知ラシメタリ

綠肥施用ノ模範作　紫雲英苜蓿等ヲ稻作肥料トシテ施用セル方法及販賣肥料ニ比シ極テ經濟的肥料ニシテ而モ施用ノ方法ニ依リ敢テ前者ニ讓ラサルノ效驗アル事實ヲ示セリ

青刈大豆施用ノ模範作　麥ノ間作トシテ大豆ヲ栽培シ其莖葉ヲ綠肥トシテ稻田ニ施用スルノ利益ヲ示セリ

浸水地ニ於ケル苗仕立法模範作　水害地ニハ特ニ長大ナル苗ヲ仕立ツルノ必要ナルヲ知ラシメンタメ行ヒタリ

採種ニ關スル模範作　種々撰擇ノ單ニ撰粒法ノミニ據ルヘカラサル事實ヲ示サンタメ行ヒタリ

各種販賣肥料施用法模範作　水稻ト同シク陸稻及麥ニ於テハ各種ノ肥料ニ就キ其配合法用量及施用法ヲ示セリ

見本作物

善良ナル品種ノ實物標本ヲ示シ品種改良ノ資ニ供センカタメ前年ニ繼續シ試驗作物以外左記數類ノ試作ヲ行ヘリ

桑樹	數種	兼テ仕立法ノ模範ヲ示セリ	葉菜類	數種
果樹	數種	兼テ剪定法其他ノ模範ヲ示セリ	蓏果類	數種
根菜類	數種		穀類	數種

委託試驗

氣候土地ノ關係ニ依リ場內ニ於テ行フ能ハサル特殊ノ試驗又ハ試驗成績普及ノ方法トシテ委託試驗ヲ行ヒ以テ當業者ノ注意ヲ惹起サシメタリ

水害對稻種類試驗	海西郡市腋村	同	渥美郡高根村
水稻肥料試驗	同郡大藤村	同	丹羽郡樂田村
大豆栽培法試驗	知多郡武豐町	大麥覆土及割土試驗	西加茂郡擧母村
綠肥作物比較試驗	北設樂郡上津具村		

右ノ內水害對稻種類試驗ハ當場ノモノト略〻同一ノ成績ヲ得又水稻肥料ハ數種ノ販賣肥料ノ效驗ヲ試ミ堆肥綠肥ニ比シタルニ其成績ハ販賣肥料ヲ主肥トスルノ不利ナルヲ認メタリ其他ノ試驗ハ未タ其成績ヲ擧クルニ至ラサリシ

經濟農場

從來ノ試驗成績ヲ應用シ縣下重要作物ノ耕種栽培ニ關スル技術ノ模範土地利用ノ方法輪栽ノ順序勞力ノ分配調和等ヨリ各作物ニ對スル收支ノ關係ヲ明ニシ少費多穫ノ實ヲ擧ケ農業經濟上當業者ノ參考ニ資センタメ模範農場ヲ設ケタリ其面積田七段八畝歩畑四段歩ヲ用ヒ其段別ニ相當スル作物ノ種類ハ左ノ如クセリ

夏作ニ在リテハ

水稻	七段八畝歩	甘藷	九畝八歩	蓏果種	八畝四歩
陸稻	一段五畝二十六歩	落花生	一段三畝十歩		

冬作ニ在リテハ

稞麥	四段歩	田裏作稞麥	五段八畝歩	同大麥	二段歩

ニシテ孰モ順當ノ經過ヲ爲シ豫期ノ成績ヲ收メ來觀者ヲシテ深ク試驗成績應用ノ必要ナルヲ感セシメタリ只設置ノ初年ニシテ設備未タ全カラス僅ニ目的ノ一部ヲ達シ得タルニ過キサルヲ憾トス

種苗配付

種類試驗ノ成績ニ依リ優良ナル品種ノ普及ヲ圖ランカタメ希望ニ應シ特ニ撰擇シタル種子ヲ當業者又ハ學校農會等ニ配付シタル其數量左ノ如シ

水稻	十二石四斗三升五合	稞麥	三斗六升四合
陸稻	一斗五升五合	苜蓿	二十七石三斗六升
大麥	六斗三升五合	其他雜作物種子及苗類	
小麥	三斗六升九合	合計	四十一石三斗一升八合

此人員百八十四人、農會其他公私團體三十九、學校其他二十ナリトス

（未完）

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
試掘許可						
新潟試登錄第八百三十四號	中頸城郡板倉村、菅原村地內	石油	一八六、七〇一坪	新潟縣中頸城郡三郷村 宮澤俊治	五、一五	試掘願許可
茨城試登錄第六十九號	那珂郡野口村、小瀨村地內	石炭	五五九、三二五	茨城縣那珂郡大宮町 飯田卯之助 外一人	五、一六	同
長野試登錄第百二十七號	下伊那郡八重河內村、和田村地內	銀、鉛	二七七、〇七五	長野縣下伊那郡和田村 松下愛二郎 外一人	五、一八	同
石狩試登錄第三百七十三號	空知郡芦別村地內	石炭	八三九、四八三	北海道膽振國室蘭郡室蘭町大字札幌通 北海道炭礦汽船株式會社	五、二〇	同
採掘許可						
巖手採登錄第五十六號	和賀郡湯田村地內	金、銅	二一四、四〇〇	巖手縣和賀郡澤內村字新町 爲田文太郎	五、四	採掘鑛區增區願許可
巖手採登錄第百四十六號	同	同	七五九、〇二九	同　上	五、四	巖手採登錄第五四號、同第五五號、同第五六號金銅鑛採掘鑛區合併願許可
愛媛採登錄第八十八號	西宇和郡日土村地內	銅	一一、六九八	愛媛縣西宇和郡川之石村 白石和太郎 外一人	五、四	採掘鑛區增減願許可
山口採登錄第百六十四號	厚狹郡高千帆村地內	石炭	三〇四、八六七	福岡縣嘉穗郡庄內村大字綱分 有松アキ	五、五	採掘願許可
山口採登錄第百三十號	阿武郡小川村地內	銅	二二四、〇五〇	山口縣阿武郡福川村 井上岩藏	五、六	採掘鑛區增區願許可
長崎採登錄第八十八號	北松浦郡志佐村地內	石炭	一四〇、二九〇	長崎縣北松浦郡調川村白井免 眞木龜四郎	五、七	同
福岡採登錄第五百三十五號	福岡縣八女郡矢部村及大分縣日田郡中津江村地內	金	三五二、七四七	福岡縣八女郡岡山村大字鵜池 吉村　巖	五、八	採掘願許可
山口採登錄第百六十六號	佐波郡八坂村地內	銅	四一九、二二〇	大阪市北區天滿橋筋二丁目 黑田菊馬	五、九	同
兵庫採登錄第七十一號	朝來郡山口村及養父郡南谷村地內	金、銀、銅、鉛	七四二、九二九	東京市麴町區八重洲町一丁目 三菱合資會社	五、一一	採掘鑛區增減願許可
兵庫採登錄第七十四號	朝來郡山口村及養父郡南谷村竝ニ宍粟郡繁盛村地內	同	五、一八三、五八九	同　上	五、一一	兵庫採登錄第七十一號、特許第四三三一號金銀銅鉛鑛採掘鑛區合併願許可
山口採登錄第百六十七號	玖珂郡北河內村地內	滿俺	一〇、一五〇	廣島縣安佐郡可部町 鈴木璽輔	五、一一	採掘願許可
山口採登錄第百六十八號	美禰郡於福村、大嶺村地內	金、銅	六三、七五三	島根縣鹿足郡木部村大字長福 山本岩吉	五、一三	同
福岡採登錄第五百三十六號	鞍手郡笠松村地內	石炭	九三、六〇〇	福岡縣鞍手郡笠松村大字四郎丸 古野三郎 外一人	五、一三	同
長崎採登錄第百五十九號	西彼杵郡香燒村地內竝ニ海面	同	七四四、七八八	長崎市大浦鄉 澤山精八郎	五、一三	採掘鑛區增減願許可
採掘鑛種名更正許可						
和歌山採登錄第二十四號	那賀郡麻生津村地內	銅、硫化鐵	一八六、四二四	岡山市大字西田町 杉山岩三郎	五、五	採掘鑛種名更正願許可（硫化鐵鑛追加）
和歌山採登錄第二十五號	同	同	二六、六五七	同　上	五、五	同（同）
愛媛採登錄第七十二號	喜多郡豐茂村、上須戒村及西宇和郡日土村地內	同	七九〇、八七九	大阪市東區久寶寺町四丁目 石原久之助 外三人	五、九	同（同）

採掘不許可

出願地	鑛種	面積	出願人住所氏名	處分ノ月日	事由
福岡縣鞍手郡西川村地內	石炭	二八〇、二四八坪	福岡縣鞍手郡西川村大字八尋 田代仁平 外三人	五、一四	本出願區域ハ鑛業ノ價値ナキモノト認ムルニ付キ採掘願不許可

○特許商標登錄　特許局ニ於テ去月二十一日ヨリ同三十日マテニ特許、商標ヲ登錄セシモノ左ノ如シ（農商務省）

特許

特許番號	發明名稱	特許證主氏名	
一四〇六九	三友式織筵機	福井縣	松村吉多郎 山田貫之助 永田三富
一四〇七〇	陶器磨掃裝置	英國	チャールス、フレデリック、ベーリー リチャード、ハンベリー、ウエンフォード
一四〇七一	鐵甲ヲ貫徹スヘキ發射物用信管	伊國	「ソシエテ、アーニマ、ナポレタナ、ペル、ラ、ファブリカチオネ、ヂ、マテリー、エキス、プロテント」
一四〇七二	墜落標的	獨國	ヨセフ、クリエーフ
一四〇七三	砲車等ノ車輪ニ對スル無端轍路	同	株式會社「フリードリッヒクルップ」
一四〇七四	德用風呂釜	兵庫縣	田中五郎吉
一四〇七五	著發信管	獨國	株式會社「フリードリッヒクルップ」
一四〇七六	安樂味噌擂器	東京府	龜井長兵衛
一四〇七七	長彈ヲ塡充セル榴霰彈	獨國	リヒハルド、ウヰルレ
一四〇七八	自働銃用彈倉	同	パウル、マウゼル
一四〇七九 一四〇八〇	信管測合機 砲ノ照準機ノ裝置	同	株式會社「フリードリッヒクルップ」
一四〇八一	直列水雷發射管	米國	「エレクトリック、ボート、カムパニー」
一四〇八二	坩堝	東京府	鈴木安五郎
一四〇八三	紙袋製造機械	同	矢口粂次郎
一四〇八四	岡本式醱丸盤器	愛知縣	岡本八郎右衛門
一四〇八五	平行器	東京府	田中長悟
一四〇八六	白拔絞製出法	愛知縣	澤田龍太郎
一四〇八七	廻轉發動機	米國	ジェームス、フランク、マッセー
一四〇八八	原動機	同	「シーオーツーデウエロプメントコムパニー」
一四〇八九	改良常藏蠶坐	島根縣	武田常藏
一四〇九〇	內部燃燒機關	英國	「ウイリアンス、エンド、ロビンソン、リミテッド」
一四〇九一	懷中時計硝子版歪製方法	東京府	小西孝治
一四〇九二	自働複軸旋盤	米國	「ゼ、グラント、オートマチック、マシーン、カムパニー」
一四〇九三	金屬鑛分析改良裝置	同	ジェームス、ヘンリー、レイド
一四〇九四	宮浦式精米機	大阪府	宮浦菊太郎
一四〇九五	志水式煙管	同	志水米太郎
一四〇九六	無聲放電裝置	米國	「ゼラード、オゾーン、プロッセス、コムパニー」
一四〇九七	便利鍋敷	東京府	秋山台彌
一四〇九八	板谷式無砂精穀機	兵庫縣	杉谷萬三郎
一四一〇〇	日誌時計	北海道	松田小彌太 陰山倉三 吉川藤左衛門
一四一〇一	飛白模樣染色法	京都府	多久貞造
一四一〇二	動力聯動裝置	獨國	「エローセル、クラフトバンド、カンパニー」
一四一〇三	新式測斜照準儀	東京府	豐田四郎
一四一〇四	安藤式硫黃製煉器	同	安藤庄太郎
一四一〇五	改良照準儀	同	豐田四郎
一四一〇六	蒸汽機械排氣殘熱回復裝置	長崎縣	和田垣保造
一四一〇七	岩田式蠶集折器	長野縣	岩田定三郎
一四一〇八	輕便水注器	山形縣	莊司喜平
一四一〇九	「バンザイ」精米機	東京府	關口八重吉 河合匡
一四一一〇	遊動鍔付「ペン」軸	大分縣	大河原德藏
一四一一一	稻株切斷兼用田畑耕耘器	同	大家善藏
一四一一二	上蔟用撚藁機	和歌山縣	泉治平 吉田淺吉
一四一一三	彈性尖釘ヲ有スル踏鐵	露國	ウラジミル、バスジャーフ
一四一一四	乳房防菌袋	京都府	中島鐵三郎
一四一一五	竹木ノ管	新潟縣	小松德太郎
一四一一六	吉野絲ノ製造法	京都府	竹村忠次郎 高島堅之助
一四一一七	木庄式電流制限器	東京府	本庄高
一四一一八	月村式自由髮	同	月村吉次郎
一四一一九	緋絲括り器械	岡山縣	岡田憲喜治
一四一二〇	摧碎機	米國	ジョージ、ホルト、フレーザー
一四一二一	大和袋	京都府	菅善三郎
一四一二二	大村式方形平底袋織方	山口縣	大村萬一郎
一四一二三	金屬片固著方法	英國	チャーレス、アルガーノン、パーソンス
一四一二四	飴製造裝置	愛知縣	鈴木菊次郎
一四一二五	容器密閉具	米國	「チェリス、ヒルコン」會社
一四一二六	織物	京都府	中村嘉吉郎
一四一二七	實用笠承	東京府	金坂天麟
一四一二八	白光「バーナ」（白光口金）	同	福地辰之助
一四一二九	精穀機	同	寺本善三郎 增尾吉五郎 木戶稻海
一四一三〇	幡多式精米改良籠	香川縣	幡多モム
一四一三一	金屬ヲ變化スル裝置	智利國	リチャード、ルイス、ロイド
一四一三二	車輛軸匣	英國	アーネスト、ジョン、ウード
一四一三三	自働開閉傘	米國	エルネスト、ドーン、バーレット
一四一三四	金屬若クハ他ノ表面ヨリ之ニ附著セル金屬銹若クハ金屬不潔物ヲ除去スル方法	英國	「キングス、ノルトン、メタル、コムパニー、リミテッド」
一四一三五	堰ヲ密閉スル方法	米國	チャーレス、アール、シエミッド
一四一三六	自働「タイア」纏絡機	米國	ユーゼン、ダンカン、クラーク、ベーレ ローレンス、アロンゾ、スーバース
一四一三七	寶石細工機械	東京府	東京寶石株式會社
一四一三八	鐵道作業ニ對スル自働的警戒及停車信號裝置	伊國	ルイヂ、マグリエッタ
一四一三九	「アルミニウム」製造方法	東京府	竹島安太郎
一四一四〇	柄付起重器械	廣島縣	鈴木濱藏
一四一四一（追加）	中原式焚繭機	東京府	中原作太郎
一四一四二（追加）	麥煎機	秋田縣	山崎熊太郎
一四一四三	電氣機起電力調整裝置	英國	マッシュー、ウイリアム、ウォールバンク、マッキイー
一四一四四（追加）	縮織物製造法	京都府	坂根清一

第7474号本文

一四一四五	敷島布管	東京府	阿部 小五郎
一四一四六	改良人造石	米國	フランク、ケレン
一四一四七	製粉機	大阪府	森田 總七郎
一四一四八	鐵滓破却裝置	米國	カール、グスターウ、リンドストランド ヘンリー、マシツ
一四一四九	剃刀磨研具	米國	「オート、ストロップ、コムパニー」
一四一五〇	安全鋲	新潟縣	室橋 四郎七
一四一五一	大家式助勢輪	大分縣	大家 善藏
一四一五二	安全「ズボン」釣	鹿兒島縣	藤島 良德
一四一五三	義歯ニ金屬ヲ密着セシムル器具	東京府	原 玄了
一四一五四	遮斷器	米國	ハリー、レ井ス、マッコーイ
一四一五五	噴霧器	長野縣	小松 万吉 小松 帶刀
一四一五六	車輛推進裝置	米國	ロバート、グラハム、コイナー
一四一五七	繩綯器械	大阪府	尼崎 友藏
一四一五八	折り床架	英國	フレデック、ウット
一四一五九	製網機	岡山縣	藤原 菊三郎 佐藤 猪三治
一四一六〇	車輪	英國	エスサー、マーレー
一四一六一	便器	米國	レ井ス、オリヷー、フィリップ
一四一六二（追加）	櫻井式安全開閉器	東京府	櫻井 山治郎
一四一六三	加藤式豆粕削器	千葉縣	加藤 忠恕
一四一六四	封緘裝置器	島根縣	松浦 虎太郎
一四一六五	絹著セ機械	京都府 大阪府	石田 宇之助 大島 伊八
一四一六六	中川式錘輪裝置	京都府	中川 成義
一四一六七	船底掃除裝置	英國	ウ井リアム、リチャード、マグドルト
一四一六八	甲馳製造機械	東京府	大島 三九郎
一四一六九	木板應用輕便運搬器	福島縣	杉山 止
一四一七〇（追加）	擔架	愛知縣	太田孫左衛門

商標

登錄番號	商品名	登錄證主氏名
三二四九四 三二四九五	石鹼水、固形石鹼、煉石鹼、紙石鹼	和歌山縣 桃谷 政次郎
三二四九六	鰮	新潟縣 田卷 弁吉
三二四九七	味淋	三重縣 服部 榮藏
三二四九八	香料、燻料及他類ニ屬セサル化粧品（香油、髮香、香袋、香水、炷香、線香、煉香、香粉ヲ除ク）	東京府 桑原 喜藤治
三二四九九	香料、燻料、白粉及他類ニ屬セサル化粧品一切（化粧水ヲ除ク）	同 平尾 銑也
三二五〇〇	燒酎、泡盛、味淋、白酒	同 近藤 利兵衛
三二五〇一 三二五〇二	石鹼	佛國 「コスミドール」石鹼製造會社
三二五〇三	洋傘骨一切	東京府 高能 辰五郎
三二五〇四	淸酒	同 伊坂市右衛門
三二五〇五	香水、香油、口中香錠（丸錠、煉香）白粉及他類ニ屬セサル化粧品、白粉一切	同 平尾 銑也
三二五〇六	石鹼	佛國 「コスミドール」石鹼製造會社
三二五〇七	靴墨	神奈川縣 合名會社「ウインクレル」商會
三二五〇八	摺附木	大阪府 焦 鼎臣
三二五〇九	足袋、日利安、靴下、「シャツ」、手袋、「ヅボン」下	同 永尾 角太郎
三二五一〇	魚骨粉、鰮榨粕、油粕、骨粉、過燐酸	栃木縣 若林 五郎平
三二五一一	醬油	大阪府 谷 好三郎
三二五一二	家蓄用糖蜜製食料品	英國 「ゼ、モラシン、コムパニー（千九百七年）リミテット」
三二五一三	「メリヤス」及其製品	大阪府 久貴 嘉平
三二五一四	餅狀、管入り、箱入り、各種繪具	獨國 フリッツ、バインドルフ
三二五一五	膠	東京府 茂原 高谿
三二五一六	「ポートランドセメント」一切	英國 「ゼ、ウェストケント、ポートランド、セメント、カムパニー、リミテット」
三二五一七	金屬指輪其他貴金屬其模造物及其製品並ニ彫鏤品一切	大阪府 笠置 爲之助
三二五一八	生絲、絹絲、天蠶絲、金絲、銀絲、絹綿絲	獨國 株式會社「ドルフースミーグ」
三二五一九	化學品、藥劑及醫療補助品一切	大阪府 安東 忠次郎
三二五二〇	角砂糖	東京府 大日本製糖株式會社
三二五二一	衣服、冠、帽子、「カラ」、「カフス」、襟飾、襯衣、「ヅボン」下、手袋、足袋、手拭、手巾、腕掛、前垂、西洋手拭、股引、腹卷、肩掛、靴下、脚胖、襷、日利安	奈良縣 伊東 嘉七
三二五二二	絲類ノ編物組物及各種ノ組類一切	京都府 高橋 伍兵衛
三二五二三	護謨製ノ「タイヤ」一切	獨國 「コンチネンタル、コーチヨック、ウント、ガタペルシヤ」會社
三二五二四	淸酒	兵庫縣 澤田 春代
三二五二五	足袋	廣島縣 高田 大助
三二五二六 三二五二七	石鹼	大阪府 野村 外吉
三二五二八	鑢紙及鑢布	同 中島 長兵衛
三二五二九	魚介ノ乾製食品、味附乾製魚介、佃煮、飴煮	福岡縣 今橋 久平
三二五三〇	罐詰	三重縣 東洋水產株式會社
三二五三一	淸酒	熊本縣 原田 省二
三二五三二	利器及尖刃器一切	兵庫縣 二波合資會社
三二五三三	染料、顏料及媒染料一切	獨國 神奈川縣 合名會社「ツェー、イリース、ウント、コンパニー」
三二五三四	石油、種油、魚油、蠟、蠟燭、脂肪及其他油蠟類一切	東京府 鴨田 甚助
三二五三五	香水、髮香、香油、香袋、線香、炷香、化粧下其他他類ニ屬セサル香料、燻料及化粧品	米國 「ポンペイアン、マニユファクチュアリングコンパニー」
三二五三六	彈水布爪掛、彈水布鼻緒	岡山縣 山陽彈水布合資會社
三二五三七	燐其他一切ノ肥料（人造肥料ヲ除ク）	兵庫縣 根津 直次郎
三二五三八	綠礬及辨柄	岡山縣 中國辨柄合資會社
三二五三九	醬油、酢	福岡縣 今村 八十吉
三二五四〇	金剛石、珊瑚珠、瑪瑙、水晶、黃玉、碧玉其他一切ノ寶石並ニ其等ノ模造物及其等ノ製品、彫鏤品一切	獨國 兵庫縣 「カルロウイッツ、ウントコンパニー」
三二五四一	陶磁器、土器、瓦、煉瓦及他類ニ屬セサル一切ノ窯成器	
三二五四二	木綿織物	大阪府 合名會社服部商店
三二五四三	鋸、鑿、鉋、鋏、小刀、剃刀、「ナイフ」、鑢	兵庫縣 小山 清次郎
三二五四四	石鹼	大阪府 小川 竹治郎
三二五四五	同	同 北川 彌太郎
三二五四六	化學品及藥劑一切	東京府 山崎 榮三郎
三二五四七	味淋、白酒、直シ、鶴ノ齒、濁酒、燒酎及此外他類ニ屬セサル各種ノ酒類	愛知縣 山田平左衛門
三二五四八	葛粉、蕨粉、澱粉	大阪府 合名會社淸水葛店
三二五四九	葛粉、浮粉、蕨粉、澱粉	同 淸水 菊枝
三二五五〇	石鹼	同 櫻井 末次郎
三二五五一	麻織物	同 柴林 宗太郎
三二五五二	化學品、藥劑及醫療補助品一切	英國 「ヘンリー、ソロモン、ウェルカム」
三二五五三	石鹼	佛國 ウィクトル、クロート
三二五五四	玻璃及其製品（琺瑯質品モ之ニ屬ス）	澳國 リチヤード、クリンゲル
三二五五五	淸酒	大阪府 芳村 豐吉
三二五五六	洗粉一切	東京府 滿田 要吉
三二五五七	機械及其構成各部一切	米國 「オーチス、エレヴェーター、カムパニー」
三二五五八	木綿「ヅック」一切	同 「ジェー、スペンサー、ターナー、カムパニー」
三二五五九	包種茶	臺灣 黃 淸標
三二五六〇	葡萄酒、麥酒、「ブランデー」、「ベルモット」其他洋酒一切	香川縣 安藤 保太郎
三二五六一	淸酒	岡山縣 加藤 逸平次
三二五六二	石鹼	大阪府 米川 與治郎
三二五六三	黴病特效藥（細菌脂肪體ナル一種ノ結晶中性脂肪「グリセリンエステル」）	神奈川縣 合名會社「ルンゲ、ウンド、トーマス」
三二五六四	「スプラレニナム、ロドロクロリカム」	獨國 「ファルブウェルケ、ソフォルム、マイスター、ルシアス、ウンド、ブルーユング」製色會社
三二五六五	「ヲルトーフォルム」	

○雜事

○外國旅券紛失及返納者

去月中外國旅券紛失ノ旨屆出テタル者左ノ如シ

旅券番號	氏名	渡航先	下付官廳	下付年月日	屆出接到年月日
一〇一六五	松田 定吉	露領西伯利	北海道廳	四〇、七、一八	四一、四、二〇
商 一九六五	竹內 密應	米國	東京府廳	三一、四、二六	四一、四、二一
學 一〇〇六	留守 駿三	同	同	三一、八、二七	四一、四、八
八七八一	好見 弘	同	同	三三、一〇、三	四一、四、八
一五八一六	上領 理	同	同	三四、四、二三	四一、四、八
四四五二九	一柳 讓二	同	同	三六、二、五	四一、四、二
九〇三七五	大木 淸造	同	同	三七、三、二九	四一、四、八
九七一九八	原 熊太郎	英國	同	三七、五、一四	四一、四、九
一八二五〇	井上 市太郎	米領布哇	神奈川縣廳	三三、一一、七	四一、四、二九
三三二六八	前田 熊藏	同	同	二四、二、二七	四一、四、六
八九〇六一	服部 久太郎	英領加拿陀	同	三〇、四、一	四一、四、二九
一六六二九	矢部 久次郎	米國	同	三四、二、一六	四一、四、一〇
三八六九	加藤 寛	米領布哇	同	三四、二、六	四一、四、七
五四一〇二	川窪 周二	同	同	三六、四、二五	四一、四、七
九九三八四	米山 仁三郎	同	同	三七、六、二七	四一、四、六
八〇七二四	黑柳 增次郎	同	同	四〇、三、一四	四一、四、二九
八〇九七五	城田 ハツ	清國	同	四〇、五、三〇	四一、四、七
三三三一一	吉村 末廣	米領布哇	兵庫縣廳	二八、二、二二	四一、四、四
三三八一九	山本 億三郎	英領加拿陀	同	二八、三、二五	四一、四、九
六八八四九	坂本 重太郎	米領布哇	同	二九、六、二三	四一、四、二三
商 一三五八〇	上村 横吉	米國	同	三二、五、四	四一、四、二三
一一三七五	中田 仙三郎	同	同	三二、二、一九	四一、四、四
一七〇九〇	的場 岑吉	同	同	三五、五、二一	四一、四、二三
不詳	齋藤 トモ	英領香港	長崎縣廳	一八、六、一	四一、四、三〇
四二一七二	出口 スエ	露領浦潮斯德	同	三三、九、二八	四一、四、一四
四二一七三	出口 ツヤ	同	同	三三、九、二八	四一、四、一四
七〇四六九	峯 イネ	同	同	三六、九、一	四一、四、一七
三一九〇九	松尾 萬治	米國	同	三九、九、一〇	四一、四、一七
四一七四三	坂詰 龜太郎	英領香港	新潟縣廳	三〇、一二、一八	四一、四、一七
一九七〇六	丹與 啓吉	米領布哇	同	三一、一二、九	四一、四、一八
出 四四〇五九	小林 關藏	同	同	三三、九、一六	四一、四、二三
六八五〇〇	平野 林藏	同	同	三三、一二、三	四一、四、一八
出 八三三二三	淸田 平三	米國	同	三三、四、二〇	四一、四、二三
一六三三六	平野 五太郎	米領布哇	同	三九、一、一七	四一、四、一八
八二一九七	山本 銀藏	同	千葉縣廳	三七、二、二九	四一、四、二
一九〇五	三橋 龍藏	米國	奈良縣廳	三九、二、一三	四一、四、一六
工 二六六八	山中 萬太郎	同國シアトル	靜岡縣廳	三三、三、九	四一、四、六
一五四七六	青木 文五郎	米國	岐阜縣廳	三四、五、二〇	四一、四、四
二五七三六	米谷 幸三郎	米領布哇	宮城縣廳	三一、一一、一六	四一、四、一一
三二九三七	山崎 傳太郎	同	鳥取縣廳	三九、三、八	四一、四、一六
六三八二四	阪本 順	米國桑港	島根縣廳	三六、七、一七	四一、四、二七
五四四二三	津島 金五郎	墨西哥	岡山縣廳	三九、一二、二八	四一、四、九
六九四九五	菱川 惣吉	米領布哇	同	四〇、一、一二	四一、四、三〇
九三三九三	高橋 直吉	米國	同	四〇、八、一七	四一、四、六
九六二五	新重 政市	米領布哇	廣島縣廳	三一、二、二一	四一、四、三
三一八七四	平田 仲藏	同	同	三一、一二、一三	四一、四、三
六六六一八	門田 助市	同	同	三二、一二、九	四一、四、四
四〇一一二	井本 雄平	同	同	三五、二、二三	四一、四、四
五五一四九	土肥 喜太郎	秘露	同	三六、五、二八	四一、四、二四
九九〇四五	三浦 幸太郎	墨西哥	同	三七、九、二八	四一、四、四
四三四六〇	門田 久七	同	同	三九、八、二五	四一、四、四
一八六四六	青木 元吉	米領布哇	山口縣廳	三一、九、一九	四一、四、六
一八六四七	青木 キツ	同	同	三一、九、一九	四一、四、六
二九二六〇	岩本 已之介	同	同	三二、四、二	四一、四、二五
二四五〇九	山本 敏亮	米國	同	三四、八、二三	四一、四、二五
二三六四五	玉井 爲左衛門	同	同	三五、六、一八	四一、四、二五
三七六三二	吉田 利兵衛	米領布哇	同	三六、一、二	四一、四、六
出 四四九九四	谷本 寅吉	米國	和歌山縣廳	三三、九、一	四一、四、二三
一三三一九	伊東 榮太郎	同	同	三四、九、六	四一、四、六
一二七六六	中村 定楠	同	同	三五、四、三	四一、四、六
八四五〇三	東山 辰之助	濠洲ポートダーヰン	同	三七、二、一九	四一、四、二三
五〇〇一四	山本 龜楠	米領布哇	同	三九、一一、一四	四一、四、二三
不詳	古田 淺太郎	同	愛媛縣廳	二九、一二、一	四一、四、二四
二〇四八〇	松延 榮太郎	同	福岡縣廳	三四、二、九	四一、四、三〇
四九四八六	木水 熊太郎	米國	同	三六、三、四	四一、四、一
一五九三九	中原 フミ	露領浦潮斯德	佐賀縣廳	三四、四、五	四一、四、一六
四三三二四	清原 喜代吉	米領布哇	熊本縣廳	三六、一、一	四一、四、四
三六七二	橋口 信助	米國	宮崎縣廳	三五、一〇、二一	四一、四、二七
三六九七	中尾 義豐	同國桑港	同	三六、三、二〇	四一、四、二
五四八四	松尾 龜一	露領浦潮斯德	在韓國元山帝國領事館	三九、一二、二六	四一、四、一〇
五四九六	土井 友治	同	元山理事廳	四〇、二、一八	四一、四、一〇
五五〇六	田上 辨一	同	同	四〇、三、二八	四一、四、一〇
不詳	長岡 ミツノ	同	在清國上海帝國總領事館	三八、二、一	四一、四、二八
同	中村 ヤス	不詳	在同國芝罘帝國領事館	三九、四、一	四一、四、一四
同	後藤 トク	同	同	四〇、一、一	四一、四、一四
五二七	溝脇 スイ	露領浦潮斯德	在同國牛莊帝國領事館	三九、二、五	四一、四、二八
三一八八	重松 タミ	露國	同	三九、五、一	四一、四、二八
五九九	池田 五郎八	露領浦潮斯德	同	三九、五、三	四一、四、二八
六三七	畦木 ハツノ	同	同	三九、七、一六	四一、四、二八
七六五	柴田 ヤト	同	同	三九、九、三	四一、四、二八
不詳	河野 美德	不詳	在英領香港帝國領事館	三三、八、一	四一、四、一五

又同月中在外公館下付外國旅券ヲ返納シタル者左ノ如シ（以上外務省）

旅券番號	氏名	渡航先	下付官廳	返納官廳	下付年月日	返納年月日
四九八	酒井 ミツ	露領浦潮斯德	在清國天津帝國總領事館	外務省	三九、四、一七	四一、四、一四
三一〇四	平嶋 マサノ	同	在同國上海帝國總領事館	熊本縣廳	四〇、一〇、二六	四一、四、二七

第 7474 号 本文

一三四〇	外務書記生 中村 修	露領西伯利經由日本へ	在佛國帝國大使館	外務省	四一、二、六	四一、四、一八
三〇二五	松島 スヤ	露國	在露領浦潮斯德帝國貿易事務館	長崎縣廳	三六、一、一九	四一、四、一四
四一八一	村上 圓次郎	同	同	秋田縣廳	三九、一〇、二	四一、四、二〇
七五一七	松本 源十	同	在同地帝國領事館	熊本縣廳	四〇、九、一三	四一、四、二七
九九九〇	鶴原 ツルヱ	同	同	外務省	四〇、一〇、二九	四一、四、一四

○在外公館報告

○廣東養蠶狀況　廣東ニ於ケル養蠶狀況ニ付キ同地駐在領事上野專一ヨリ一昨二十六日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（去月二十九日本欄內參看）（外務省）

當地養蠶第二回作ハ氣候乾燥ニ過キ收穫高ハ約五千擔ナリト云フ

○香港本邦海產物其他市況　香港ニ於ケル去月中ノ本邦海產物其他市況ニ付キ在同地領事館事務代理外務書記生益子齋造ヨリ去月三十日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（本月二十三日本欄內參看）（外務省）

四月中當地海產物其他ノ市況ハ辰丸事件起リシ以來廣東地方ヘノ輸出杜絕ノタメ捗々シキ取引ナク汕頭、廈門、福州ヨリノ小口取引アリシニ過キスシテ市況沈靜ナリキ輸入ハ「ボイコット」ノタメ本邦ヨリノ積出ヲ差止メタルヲ以テ殆ト皆無ノ姿ニシテ目下殘品僅少ナリ然ルニ市價却テ幾分下落セルハ當地問屋市場タル南北行ニ於テ舊四月一日ヨリ本邦品排斥實行ノ決議ヲ爲シタルニ依リ各取引者殘品ヲ賣急キタルニ基因ス去リナカラ其後該決議ニ反對スル者アリ假令否ラストスルモ當地輸入海產物ノ過半ハ本邦品ニシテ他ニ代用品ナキヲ以テ其實行到底長キニ耐ヘサルヘシ殊ニ問屋營業者ノ如キ最モ大打擊ヲ受クルヤ必セリ

今各種海產物市價及殘高ヲ示セハ左ノ如シ

品目	上旬（弗）	中旬（弗）	下旬
長崎鮮中片鯣（每擔）〃	自四四・〇〇 至四〇・〇〇	自四二・〇〇 至三九・〇〇	―
干中片鯣〃	自四〇・〇〇 至三八・〇〇	自三六・五〇 至三六・〇〇	―
神戸中片鯣〃	自三六・六〇 至三五・〇〇	―	―
拖沙鯣〃	自二七・〇〇 至二六・五〇	自二六・五〇 至二六・〇〇	―
尾吼鯣〃	自二六・〇〇 至二五・〇〇	自二六・五〇 至二五・〇〇	―
排鯣〃	自二六・〇〇 至二五・二〇	自二五・二〇 至二五・〇〇	―
吊片鯣〃	自三六・〇〇 至三五・〇〇	―	―
擯皮大面鯣〃	自五六・〇〇 至五四・〇〇	自五三・〇〇 至五二・〇〇	―
同中面鯣〃	自四二・五〇 至四〇・〇〇	自四一・〇〇 至三九・〇〇	―
神戸中黑魚〃	自二八・五〇 至二七・〇〇	―	―
同小〃	自二六・〇〇 至二五・〇〇	二五・五〇	―
長崎中黑魚〃	自二七・五〇 至二六・五〇	自二五・〇〇 至二五・五〇	―
同小〃	自二五・〇〇 至二四・〇〇	二四・五〇	―
禾麻大鮑〃	自一四〇・〇〇 至一三二・〇〇	自一三五・〇〇 至一三〇・〇〇	―
同中〃	自一二五・〇〇 至一二〇・〇〇	自一二五・〇〇 至一二〇・〇〇	―
同小〃	自九〇・〇〇 至八五・〇〇	自八五・〇〇 至八二・〇〇	―
大灰鮑〃	自一三二・〇〇 至一二五・〇〇	自一二八・〇〇 至一二五・〇〇	―
同中〃	自一一二・〇〇 至一〇九・〇〇	九六・〇〇	―
同小〃	自八五・〇〇 至八〇・〇〇	自七八・〇〇 至七六・〇〇	自七〇・〇〇 至六五・〇〇
五島大明鮑〃	自一七〇・〇〇 至一六〇・〇〇	自一六五・〇〇 至一六〇・〇〇	―
房州同〃	自二七〇・〇〇 至二六〇・〇〇	自二六五・〇〇 至二六〇・〇〇	―
長崎同〃	自一三〇・〇〇 至一二二・〇〇	自一二五・〇〇 至一二〇・〇〇	―
長崎中明鮑〃	自一一五・〇〇 至一〇八・〇〇	自一一〇・〇〇 至一〇〇・〇〇	―
大焙鮑〃	自一二〇・〇〇 至一一五・〇〇	―	―
中焙鮑〃	自一〇四・〇〇 至一〇〇・〇〇	自一〇〇・〇〇 至九五・〇〇	―
小焙鮑〃	自八〇・〇〇 至七〇・〇〇	自六九・〇〇 至六六・〇〇	―
栄魚(棒鱈)〃	自一一・五〇 至一一・〇〇	自一一・二〇 至一一・〇〇	―
桂魚(干鱈)〃	自八・八〇 至八・〇〇	自八・〇〇 至七・〇〇	―
銀杏(有殼)〃	自七・〇〇 至六・五〇	自六・八〇 至六・五〇	―
神戸干蝦大〃	―	―	―
同中粒〃	―	―	―
大遼參〃	自六六・〇〇 至六四・〇〇	自六二・〇〇 至六〇・〇〇	―
同中粒〃	自五二・〇〇 至五〇・〇〇	自四九・〇〇 至四六・〇〇	―
細粒干貝〃	自九二・〇〇 至八五・〇〇	自八九・〇〇 至八五・〇〇	―
次〃	自八二・〇〇 至八〇・〇〇	―	―
大粒干貝〃	自八〇・〇〇 至七六・〇〇	自七八・〇〇 至七二・〇〇	―
次〃	自六四・〇〇 至六〇・〇〇	自五九・〇〇 至五五・〇〇	自六〇・〇〇 至五六・〇〇
角干貝〃	自七二・〇〇 至六九・〇〇	自七〇・〇〇 至六七・〇〇	―
新横濱冬茹〃	自一二八・〇〇 至一二〇・〇〇	一二二・〇〇	―
同次〃	自一二五・〇〇 至一〇〇・〇〇	一一五・〇〇	―
同碎茹〃	自九六・〇〇 至九〇・〇〇	九四・〇〇	―
長崎冬茹〃	自一一七・〇〇 至一一〇・〇〇	一一五・〇〇	―
長崎香信〃	自九〇・〇〇 至八〇・〇〇	八八・〇〇	―
同次〃	自八二・〇〇 至七二・〇〇	八〇・〇〇	―
碎黑色〃	自七二・〇〇 至六〇・〇〇	六八・〇〇	―
新横濱花茹〃	自一三六・〇〇 至一三〇・〇〇	一三〇・〇〇	―
同碎茹〃	自一一二・〇〇 至一〇五・〇〇	―	―
鱶鰭(有皮)〃	自五六・〇〇 至五四・〇〇	四七・〇〇	―
洗淨魚翅〃	自九二・〇〇 至九〇・〇〇	―	―
長崎大淡菜〃	自二六・〇〇 至二五・五〇	二二・〇〇	―
同小〃	自一二・〇〇 至一〇・八〇	―	―
寒天上〃	自九四・〇〇 至九〇・〇〇	自九二・〇〇 至九〇・〇〇	自八八・〇〇 至八六・〇〇
同中〃	自八六・〇〇 至八四・〇〇	自八五・〇〇 至八三・〇〇	自八二・〇〇 至八〇・〇〇
同下〃	自七〇・〇〇 至六八・〇〇	自六九・〇〇 至六七・〇〇	自五六・〇〇 至五〇・〇〇
鰍魚筋上〃	自五六・〇〇 至五五・〇〇	―	―
同下〃	自四八・〇〇 至四四・〇〇	―	―
落花生(有殼)〃	自五・六〇 至五・五〇	自五・四〇 至五・三〇	―
同(無殼)〃	自六・八〇 至六・七〇	自六・七〇 至六・五〇	―
㊂印鮑鑵詰（每箱四打入）	自一五・〇〇 至一四・八〇	自一四・八〇 至一四・七〇	自一四・〇〇 至一三・八〇
㊄印鮑鑵詰〃	自一三・七〇 至一三・〇〇	自一三・七〇 至一三・五〇	自一二・八〇 至一二・六〇
刻昆布（每斤）	自二・七〇 至二・六〇	二・七〇	―
昆布〃	自二・二〇 至二・一〇	二・一〇	―
神戸上等蝦〃	自二七・九〇 至二六・五〇	自二七・五〇 至二七・〇〇	―
同中〃	自二六・八〇 至二六・〇〇	―	―
同碎白〃	自二二・〇〇 至一八・〇〇	―	―
長崎蝦〃	自二八・五〇 至二七・五〇	自二七・三〇 至二六・八〇	―

目下在荷高左ノ如シ

上等寒天	二九俵	下等同	三箱	㊄印鑵詰(鮑)	二九	刺參	七〇
中等同	二七	㊂印鑵詰(鮑)	二七	小灰鮑	一四	干貝(取交)	五〇

○紐育生絲及綿花市況　紐育ニ於ケル生絲及綿花市況ニ付キ同地駐在總領事水野幸吉ヨリ一昨二十六日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（本月二十一日本欄內參看）（外務省）

生絲市況先週中頃ヨリ稍々宜シキ方ナルモ猶ホ不況ナルヲ免レス綿花先物市況ハ前週中相應ノ取引アリ短期先物ニ在リテハ又々高値ヲ呈シタリ此ハ主トシテ西部產綿地方ニ暴風雨ノアリタルト現物市況引續キ强氣ナルトニ起因ス本日引値五月一〇・三〇、七月一〇・二六、八月一〇・一七、十月九・三八、十二月九・二一、一月九・一七在荷六十七万二千餘俵

○紐育經濟狀況　紐育ニ於ケル本年二月中ノ經濟狀況ニ付キ同地駐在總領事水野幸吉ヨリ本年三月十四日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（本月十八日本欄內參看）（外務省）

金融市況　當國內各市ニ於ケル資金ノ供給潤澤ナルト外國ノ主ナル金融市場ニ於ケル金利ノ引下トニ因リ當地金融ハ前月月末ニ引續キ緩慢ヲ加ヘ定期貸及「コールローン」共ニ遊金多ク資本家ハ孰モ適當ナル放資口ヲ求メ居タル際トテ既電ノ如ク當紐育市債ノ募集モ極テ容易ニ成效シ應募申込總額ハ募集額ノ五倍餘ニ達シタル程ナルカ斯ル巨額ノ市債ノ發行セラレシニ拘ラス當地金融市況ハ依然緩和ニシテ「コールローン」ハ二分ヨリ一分五厘ノ間ヲ上下シ通月平穩ナリキ尤モ月末ニ至リ大藏省預金總額ノ約二割五分ハ各預金銀行ヨリ引出シ又流通銀行券ノ引上アリテ合計千五百万弗ノ資金ハ當市ヨリ流出シタルカ一方ニ於テ內地各市ヨリ續々同金アリテ之ヲ補充シタルヲ以テ格別ノ影響ヲ生スルニ至ラサリキ

本月中金利ノ高低ヲ示セハ左ノ如シ

各日ニ終ル一週間	「コールマネー」最高	「コールマネー」最低	定期貸 三十日乃至九十日 最高	定期貸 三十日乃至九十日 最低	定期貸 四箇月乃至六箇月 最高	定期貸 四箇月乃至六箇月 最低	商業手形（保證付）最高	商業手形（保證付）最低
一月三十一日	二	二½	五	四½	四½	四½	六	五½
二月七日	二	二½	四	三½	四½	四	六	五½
十四日	二	二½	四½	三¾	四½	四¾	六	五½
二十一日	二½	二½	四½	四¾	四¾	四½	六	五½
二十八日	二	二½	四¾	四	四¾	四½	六	五½

次ニ當市同盟銀行週末營業狀況ヲ摘錄スレハ左ノ如シ

	一日（弗）	八日（弗）	十五日（弗）	二十一日（弗）	二十九日（弗）
貸付及割引	一、一三三、七八六、一〇〇	一、一三九、七五五、七〇〇	一、一三九、七五五、七〇〇	一、一四三、六九六、七〇〇	一、一六一、〇五七、七〇〇
正金	二五八、一三九、六〇〇	二五四、〇八一、三〇〇	二五三、四二四、二〇〇	二五八、三七四、八〇〇	二六一、三一八、三〇〇
法貨	六七、〇一三、五〇〇	六〇、〇九七、〇〇〇	六〇、五〇三、三〇〇	六〇、六六六、六〇〇	五九、八五〇、四〇〇
預金	一、一三八、五〇一、五〇〇	一、一三七、三八四、五〇〇	一、一三二、三〇九、一〇〇	一、一四六、二九一、四〇〇	一、一六七、六二三、七〇〇
紙幣發行高	六九、二六三、七〇〇	六七、三九一、五〇〇	六六、七三三、五〇〇	六六、一八九、七〇〇	六四、一三三、六〇〇
準備金總額	三二五、一五二、一〇〇	三一四、一七八、三〇〇	三一三、九二七、五〇〇	三一九、〇四二、四〇〇	三二一、一六八、六〇〇
法定準備金	二八四、六二五、三七五	二八四、三四六、一二五	二八三、〇七七、二七五	二八六、五七二、八五〇	二九一、九〇五、九二五
剩餘準備金	四〇、五二六、七二五	二九、八三二、一七五	三〇、八五〇、二二五	三二、四六八、五五〇	二九、二六二、六七五
前年同季ノ剩餘準備金	一二、六三四、一〇〇	三四五、八七五	四、三〇九、五七五	四、三〇九、五七五	三、八五八、六五〇

右預金中ニ含マレタル政府預金左ノ如シ

一日	六一、〇二四、〇〇〇弗	十五日	五九、四九五、三〇〇	二十九日	五五、二五〇、一〇〇
八日	四四、七五〇、九五〇	二十一日	五九、三二九、一〇〇		

又本月中當紐育手形交換所ニ於ケル交換高左ノ如シ

		（昨年同季ニ比較減）			
一日	一、三四〇、一三一、三九六弗	三六、六％	二十一日	一、〇二八、一五七、八二九〃	三五、％
八日	一、三〇四、三二〇、八七四〃	三二、八％	二十九日	一、二二五、五一三、九八一〃	三八、三％
十五日	一、〇九二、五七七、八三四〃	三七、六％			

株式市況　本月中ニ於ケル當地株式取引ハ前月月末以來金融ノ緩和セシニモ拘ラス沈靜不振ニシテ且ツ種々ノ原因ヨリ場面ハ度々動搖勝ノ姿ヲ呈シ素人筋以外ノ者ハ勿論專門投機者流ト雖モ進テ賣買ヲ試ル者少カリキ是レ主トシテ當紐育市市債ノ發行ヲ氣構ヘタルニ因ルモノ尠カラスト雖モ亦一ニ當國政府當局者及有力ナル政治家中ニ於テ過般來勞働賃金ニ對スル意見ヲ發表シタルカ其內各種放資者ニ取リ不利ナル事項モアリテ資本家ハ自然手控ノ傾向ヲ生シタルト又諸鐵道會社ノ配當好望ナラサリシ等ヨリ一般人氣ヲ沈マシメタル事實ナキニアラサリシヲ以テ金融上ノ困難ナキニ反シ取引ハ通月鈍且ツ靜ナリキ

本月中當市株式取引所ニ於ケル取引額ハ左ノ如シ

		二月中	前年同季	本年合計
株式	株數	九、八三九、七〇六	一六、四七〇、九七二	二六、四三四、六〇一
	價格	八三三、一九九、九〇〇弗	一、三一八、三九四、八〇〇弗	二、二二九、六〇三、七〇〇弗
債券價格	鐵道其他	四〇、四六七、〇〇〇	二七、八六一、五〇〇	一二六、三一二、九〇〇
	國債	五四、二〇〇	八八、〇〇〇	一三、二〇〇
	外債	一六、〇四六、五〇〇	四、一四四、〇〇〇	二一、四三三、〇〇〇

外國爲替市況　外國送金手形ノ需要減少ハ當月中旬ノ當市債發行ニ因リ外國市場ヨリ資金ノ流入スヘキコトヲ豫期シタル向尠カラサリシトニ因リ月初ノ外國爲替相場ハ弱氣ニシテ加之商業手形ノ供給割合ニ多カリシタメ氣配下向ナリシカ愈々中旬ニ至リ市債發行ノ際短期手形ノ需要增加ニ伴ヒ相場再ヒ上騰其儘月末マテ持續シタリ尤モ英蘭銀行ノ割引步合ハ從前ノ通四分ニシテ其他歐洲金融市場モ資金潤澤ナリシモ當地ヨリノ送金多カラサリシヲ以テ爲替取引ハ寧ロ靜穩ナリキ

本月中各地宛爲替相場ヲ摘錄スレハ左ノ如シ

倫敦宛	銀行手形 六十日拂	銀行手形 參著拂	銀行手形 電信爲替	商業手形 一等手形	商業手形 荷爲替
一日	自四八三七〇 至四八三七五	自四八六八五 至四八六九〇	自四八七三〇 至四八七三五	自四八三¾ 至四八三½	自四八二¾ 至四八三½
八日	自四八三 至四八三一〇	自四八六三五 至四八六四〇	自四八六六五 至四八六七〇	自四八二¾ 至四八二½	自四八二 至四八三
十五日	自四八二三〇 至四八二四〇	自四八五八五 至四八五九五	自四八六一五 至四八六二五	自四八一九〇 至四八二	自四八一½ 至四八二½
二十一日	自四八三四〇 至四八三五〇	自四八六六五 至四八六七五	自四八七〇五 至四八七一五	自四八二九〇 至四八三	自四八二¾ 至四八三⅜
二十九日	自四八三五〇 至四八三六〇	自四八六七〇 至四八六七五	自四八七二〇 至四八七二五	自四八二¾ 至四八三⅛	自四八二½ 至四八三½

巴里伯林及横濱宛	巴里宛（一弗ニ付キ）	伯林宛（四馬ニ付キ）	横濱宛（百圓ニ付キ）
一日	五一六¾(⅛引)五一六¾(⅛引)	九五⅛―九五¼	四九⅞
八日	五一六⅛(⅛引)五一六⅛	九五―九五⅛	四九⅞
十五日	五一八¾(⅛引)五一七½(⅛引)	九四⅝―九四⅞	四九⅞
二十一日	五一七½(⅛引)五一七½	九五―九四¾	四九⅞
二十九日	五一七½(⅛引)五一六¼(⅛引)	九五―九四¾	四九⅞

一般商況　追々春期物取引開始セラレ前月ニ比シ稍々活氣ヲ呈シタルモ未タ手控ノ向尠カラス相場模樣觀察ノ有樣ニテ思ハシキ取引ナシ尤モ鐵類器械製作品ハ本月ニ入リ各種ノ注文輻輳シ其他製織業モ相當ノ取引アリタリキ

（備考）表中二十一日トセルハ二十二日ハ當國祭日ナリシタメ一日繰上ケタルニ因ル

第7474号 本文

○觀象

○全國氣象

五月二十五日

區	測候所	氣壓 午前六時	氣壓 八時間差	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風速	雨量 廿四時間	天氣
一	恆春	七五七・二	二・〇	二四・三	三〇・二	二三・九	北東	七	—	曇
	臺東	七五八・三	一・三	二四・〇	二九・九	二三・三	北西	三	—	曇
	臺南	七五七・三	〇・八	二三・六	三一・〇	二三・五	北	二	—	曇
	澎湖島	七五七・八	〇・六	二三・四	三〇・〇	二二・六	北	九	—	曇
	臺中	七五七・七	〇・〇	二三・二	三一・三	二二・四	—	〇	—	快晴
	臺北	七五七・八	一・二	二三・〇	二七・八	二〇・二	東	二	—	曇
	石垣島	七五九・〇	一・二	二三・〇	二六・七	二〇・〇	東	六	—	曇
	那覇	七六〇・五	〇・六	一九・一	二五・六	一九・二	—	〇	—	晴
	名瀬	七六二・一	十〇・三	一三・九	二四・〇	一五・五	南	二	—	晴
二	佐多岬	七六三・〇	十一・六	一八・四	二三・三	一九・二	—	〇	—	晴
	都井岬	七六二・二	十一・二	一七・四	二三・六	一三・五	西	二	—	晴
	鹿兒島	七六二・八	十〇・〇	一四・八	二五・三	一三・〇	北北東	八	—	晴
	宮崎	七六三・四	十一・〇	一四・二	二三・七	一一・六	—	〇	—	晴
	熊本	七六三・〇	十一・四	一一・九	二四・八	七・七	北西	二	—	晴
	足摺	七六三・三	十一・一	一七・八	二〇・五	一七・五	西南西	一	—	快晴
	高知	七六二・一	十一・二	一三・六	二六・五	一三・八	南西	二	—	快晴
	德島	七六二・〇	十一・七	一三・三	二三・六	一四・〇	北西	四	—	快晴
	和歌山	七六一・八	十一・九	一五・八	二三・二	一四・八	東北東	二	—	快晴
	日御碕	七六一・六	十一・八	一八・六	二二・四	一七・五	—	〇	—	晴
	潮岬	七六一・四	十二・〇	一〇・〇	二一・九	九・一	—	〇	—	快晴
三	大分	七六一・七	十一・二	一一・〇	二二・四	一〇・三	南東	三	—	晴
	松山	七六一・四	十一・五	一三・五	二三・〇	九・六	南南東	二	—	快晴
	多度津	七六一・八	十一・五	一一・六	二三・〇	一〇・三	北北西	一	—	快晴
	廣島	七六二・四	十一・二	一三・六	二二・〇	一〇・〇	西	二	—	快晴
	岡山	七六二・二	十一・二	一三・八	二三・九	一〇・四	—	〇	—	快晴
	呉	七六二・二	十一・八	一三・六	二三・八	一〇・八	—	〇	—	快晴
	神戸	七六二・〇	十一・七	一一・八	二二・七	一一・二	北	一	—	快晴
	大阪	七六二・四	十一・五	九・五	二五・八	一四・七	—	〇	—	曇
	京都	七六二・三	十一・八	一二・二	二三・九	一〇・〇	—	〇	—	快晴
	八木	七六二・七	〇・〇	一六・三	一九・二	一三・五	—	〇	—	晴
四	大瀬崎	七六二・八	十〇・七	一五・二	二五・二	一一・九	東	一	—	晴
	長崎	七六二・六	十〇・六	一二・七	二三・一	一一・四	—	〇	—	曇
	佐世保	七六二・一	十二・〇	一〇・〇	二五・一	一〇・五	北	二	—	快晴
	佐賀	七六二・六	十一・四	一四・二	二三・一	一〇・三	南南東	四	—	快晴
	福岡	七六一・七	十〇・三	一七・九	二四・〇	九・九	北西	六	—	快晴
	嚴原	七六一・八	十〇・八	一五・九	二〇・〇	一三・四	北西	三	—	晴
	下關	七六一・二	十〇・五	一八・〇	二〇・五	八・五	西南西	九	—	快晴
	濱田	七六一・一	十〇・四	一三・四	二一・五	五・五	—	〇	—	快晴
	境	七六〇・四	十一・三	一五・〇	一九・六	一〇・九	西	七	—	曇
	西鄕	七六〇・六	十一・七	一六・〇	一九・〇	一三・九	南西	三	—	晴
	經ヶ岬	七六二・一	十一・九	一〇・二	二三・三	一一・四	—	〇	—	曇
五	波切	七六一・六	十一・七	一六・一	二一・四	一六・二	—	〇	—	快晴
	津	七六一・四	十一・九	一一・六	二四・四	一四・三	西南西	二	—	快晴
	岐阜	七六一・七	十一・一	一四・〇	二三・〇	一二・一	—	一	—	晴
	名古屋	七六一・七	十二・四	一〇・〇	二八・〇	一三・八	—	〇	—	晴
	濱松	七六一・七	十二・四	一五・七	二三・七	一六・一	西	四	—	快晴
	長津呂	七六二・二	十二・〇	一四・〇	二五・〇	一七・三	北東	四	—	快晴
	沼津	七六一・五	十二・八	一三・三	二七・〇	一五・二	東北東	三	—	快晴
	横須賀	七六一・三	十一・七	一五・〇	二五・四	一五・八	北	三	—	晴
	横濱	七六一・〇	十一・七	一四・七	二一・二	一六・一	北西	三	—	晴
	東京	七六一・二	十一・五	一三・八	二四・七	一四・四	北西	二	—	曇
	熊谷	七六一・〇	十三・三	一三・八	二四・二	一四・三	—	一	—	曇
	布良	七六一・三	十三・七	一四・四	二二・二	一七・六	北	三	一九	曇
	銚子	七六〇・四	十一・六	一五・五	二二・三	一五・二	北北東	八	—	曇
	八丈島	七六一・二	十三・四	一九・〇	二三・八	一九・五	北西	一	—	快晴
	父島	七六一・四	〇・三	二四・四	二八・二	二三・九	南	七	—	曇
六	高山	七六四・八	十三・七	一三・六	二一・一	九・一	西南西	二	—	霧
	飯田	七六三・二	十三・二	八・六	二三・八	一〇・八	—	〇	—	快晴
	松本	七六三・一	十二・三	六・三	一八・七	一〇・七	—	〇	—	快晴
	長野	七六一・九	十一・六	一〇・三	一八・八	五・六	—	一	—	快晴
	甲府	七六一・〇	十二・三	一三・六	二七・〇	四・六	—	〇	—	晴
	前橋	七六一・〇	十一・一	一三・九	二四・〇	九・五	北北西	五	—	晴
	足尾	七六一・七	十一・二	九・〇	一八・三	一〇・五	—	〇	—	曇
	宇都宮	七六一・二	十一・三	一二・九	二三・五	一三・二	—	〇	三〇	曇
	福島	七六一・〇	十一・三	一一・二	二三・〇	一三・二	—	〇	六	曇
七	敦賀	七六二・三	十一・六	一〇・六	一九・六	一〇・七	—	〇	—	快晴
	福井	七六一・八	十一・一	一〇・三	一九・三	一〇・〇	南西	二	—	快晴
	金澤	七六一・二	十〇・七	一〇・一	一八・二	一〇・一	—	〇	—	快晴
	皆月	七五九・九	十〇・二	一三・二	一五・二	一〇・三	南	九	—	快晴
	伏木	七五八・八	十〇・七	一三・〇	一八・〇	一一・八	北東	二	—	快晴
	新潟	七六一・〇	十〇・二	一二・二	一七・六	九・八	—	〇	—	曇
	山形	七六一・五	十〇・九	八・九	九・九	九・九	—	一	—	快晴
	酒田	七六〇・九	十〇・一	一一・四	一六・〇	七・〇	南	四	—	曇
	秋田	七六一・五	十〇・四	八・〇	一五・六	八・九	東南東	四	—	曇
八	水戸	七六〇・七	十一・〇	一三・九	二一・九	一三・九	—	一	—	曇
	金山	七六一・五	十一・二	一〇・七	二三・八	一四・二	—	〇	—	雨
	金華山	七六〇・九	十〇・五	一〇・六	二〇・四	一三・三	北	八	—	雨
	石巻	七六一・五	十二・七	一〇・〇	二〇・六	一三・六	—	一	—	雨
	水澤	七六一・九	一・三	六・四	一八・五	九・四	南南東	一	—	曇
	宮古	七六二・〇	十一・一	一〇・〇	二〇・九	一〇・六	東北東	二	—	曇
九	[illegible]	七六〇・九	十〇・六	九・一	一三・八	七・六	北東	二	—	曇
	青森	七六一・〇	〇・〇	一〇・五	一五・二	七・三	—	一	—	曇
	函館	七六一・〇	十〇・二	九・一	一三・七	七・九	西北西	二	一	晴
	壽都	七六〇・六	十〇・七	八・一	一一・七	六・四	南南東	八	—	晴
	札幌	七六〇・三	十〇・五	八・九	一六・三	五・五	南東	三	—	快晴
	上川	七六一・四	十一・五	七・六	一七・〇	五・四	—	一	—	曇
一〇	十勝	七六〇・三	十一・九	八・七	一五・七	三・一	北北東	三	—	快晴
	宗谷	七五九・八	十一・二	五・一	七・三	三・三	南	三	—	曇
	網走	七六〇・三	十一・〇	七・二	一五・〇	四・七	—	一	一	曇
	釧路	七五九・〇	十一・八	三・二	八・七	二・五	北	二	—	曇
	根室	七五九・四	十〇・〇	四・四	七・八	三・七	北北東	六	三	曇
	紗那	七五九・八	十〇・二	五・〇	一・三	〇・二	北	七	五	快晴
	大泊	七五九・三	十〇・八	四・一	四・五	一・二	南東	六	五	雨
	釜山	七六一・〇	十一・三	一六・二	二三・六	一三・五	西	八	—	晴
	木浦	七六〇・三	十〇・七	一三・一	二一・九	一〇・七	南	五	—	曇
	仁川	七六〇・九	十一・五	一二・四	一八・一	一〇・〇	南東	七	一	曇
	平壤	七五九・七	十一・六	一〇・八	二三・六	九・二	—	〇	—	快晴
	元山	七五八・八	十〇・七	一三・〇	二五・二	九・五	—	一	—	快晴
	城津	七五七・四	十〇・七	九・七	二四・一	七・二	—	一	—	快晴
	[illegible]	七五九・五	十一・一	一二・〇	二一・五	一二・三	北東	四	—	快晴
	大連	七五七・九	十〇・三	一一・六	一八・〇	一三・〇	東南東	八	—	曇
	旅順	七五七・三	十〇・三	一三・六	一八・九	一一・八	東	六	—	晴
	營口	七五七・七	十〇・七	一三・九	二八・〇	九・一	—	一	—	快晴
	奉天	七五八・二	十二・二	一一・二	二六・六	七・五	—	〇	—	快晴
前日	天津	七五四・五	—	一七	—	—	西	二※	—	晴
	芝罘	七五五・七	—	二一	—	—	南西	四※	—	快晴
	杭州	七六一・八	—	一四	—	—	—	〇	—	晴
	上海	七六二・〇	—	一六	—	—	南	一※	—	快晴
	南京	七六二・二	—	一三	—	—	—	〇	—	晴
	漢口	七五九・六	—	二二	—	—	南東	一※	—	快晴
	沙市	七五八・一	—	二〇	—	—	—	〇	—	曇
	廈門	七五九・七	—	二三	—	—	—	〇	—	快晴
	[illegible]	六八六・四	十二・〇	九・二	七・四	二・〇	南西	三	三	晴

○天氣概況　昨日北海道西部ノ沖ニ在リタル低氣壓ハ北東ニ向ヒ大平洋中ニ去リ氣壓ハ本邦各地一帶ニ上昇セリ然レトモ淺キ低氣壓ハ遼東半島ニ接近セントシ能登半島ノ沖ニモ亦別箇ノ低氣壓存在セリ

本邦及滿韓地方ヲ通シ天氣槪テ晴朗ニシテ本邦西部ニハ殆ト一點ノ雲ヲ見ス只本邦北部ノミハ曇天ノ處多ク金華山附近ニハ雨降リ高山ニハ濃霧發生セリ北海道西部ハ南又ハ南東ノ風強ク風力強風ニ達シタレトモ其他ハ概シテ軟風若クハ和風吹キ靜穩ノ處亦尠カラス

氣溫ハ昨朝ニ比シ著シク下降シ各地概ネ平年以下ニ在リ今朝標茶ハ三度二ヲ報シ父島ハ二十四度以上ニ在リ

○全國天氣豫報

五月二十八日

第一區　北ノ風、概ネ曇但シ驟雨ノ模樣アリ
第二區　北又ハ東ノ風、概ネ雨後曇
第三區　第二區ニ同シ
第四區　南又ハ東ノ風、概ネ雨後曇
第五區　南又ハ東ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ
第六區　第五區ニ同シ
第七區　南又ハ東ノ風、概ネ曇但シ雨模樣アリ
第八區　第五區ニ同シ
第九區　第七區ニ同シ
第十區　第七區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

五月二十七日　北ノ風、雲多少ノ雨

（以上中央氣象臺）

○廣告

○免許證再下付

本月二十五日醫師法施行規則第四條ニ依リ醫師免許證ノ再下付ヲ爲シタル者左ノ如シ但シ從前ノ免許證ハ無效トス

明治四十一年五月　内務省

事由	登錄番號	族籍	氏名
燒失	一三一八五	千葉縣平民	橋田昌榮

○從軍記章及賜金辭令書拜受者居所不明

左記人名ノ者ハ目下所在不明ニテ明治三十七八年戰役ニ關スル賞賜物件ヲ交付スルヲ得ス當聯隊ニ保管シアリ忠當ノ者ハ本書ニ記載シアル住所ノ屬スル區役所若クハ町村役場ニ申出ツヘシ
但シ區長町村長ノ證明書及印章持參者ニハ當隊ニ於テ直接交付スヘシ

明治四十一年五月

東京市赤阪區檜町　步兵第一聯隊

所屬部隊	賞賜物件	本籍地 居住地	摘要	役種	等級	氏名
步兵第一聯隊	從軍記章	東京市京橋區南小田原町三ノ一 同	本籍地住地ニ現在セス	豫備	步一	加藤房吉
同	同	山梨縣西山梨郡相川村 同	同	補充兵	步一	土屋平八
同	同	東京市芝區三田四國町一ノ二號 同市赤阪區田町五ノ四	同	同	步一	高柳金太郎
同	同	同麻布區仲町二三久保乙吉方	同	豫備	故步一	田中金太郎 姉 田中とめ
後備步兵第一聯隊	同	同市芝區白金志田町六〇 同	同	同	步一	中島作次郎
同	同	神奈川縣橫濱市中村町四三六 同	同	後備	步一	吉原長松
同	賜金、五〇 從軍記章	山梨縣南都留郡谷村町 同	同	同	步二	星野金太郎
同	同	東京市赤阪區一ツ木町一番地 同	同	補充兵	步一	淸水權次郎
步兵第一聯隊補充大隊	從軍記章	同市芝區愛宕町二丁目一五 同	同	豫備	步一	關口三四郎
同	同	同市同區三田豐岡町一 同	同	同	步一	川村喜太郎
同	賜金、三五 從軍記章	同市同區南佐久間町二ノ一四 同	同	後備	元步二	豐田芳太郎
同	從軍記章	同市赤阪區裏町一丁目八 同	同	補充兵	步二	高岡興吉
同	同	同市同區新町三丁目三二 同	同	國民兵	元步伍	渡邊千代三郎
同	同	同市四ッ谷區四ッ谷傳馬町二ノ九 同	同	補充兵	步二	小島吉五郎
同	同	同市芝區愛宕下町一ノ六 同	同	同	步二	山田金藏
同	同	同市神田區錦町一ノ一〇 同	同	同	步二	登倉光太郎
同	同	同市同區同町三ノ一六 同	同	同	步二	栗原秋藏
同	同	和歌山縣伊都郡大谷村一〇八五 同	同	同	步二	西村武三郎
同	同	東京市芝區南佐久間町一ノ三 同	同	同	步二	安彦平太郎
同	同	同市同區三田四國町二ノ二號 同	同	同	步二	大塚茂作
同	同	同市麻布區森元町一ノ二七 同	同	同	步二	鈴木末吉
同	同	同市本所區三笠町六六 東京府南葛飾郡龜戸町字龜戸一八三七	同	同	輜輸	大澤市太郎
後備混成第八旅團衞生隊	同	東京市麻布區飯倉片町三ノ七 同芝區南佐久間町一ノ三	同	後備	步一	木谷兼次郎
後備步兵第四十九聯隊	同	同市芝區白金三光町一〇 同	同	國民兵	元步一	河瀬義光
同	賜金、七〇 從軍記章	東京府南多摩郡府方村字新井四九八 同	同	同	元步上	鍾寺桑次郎
同	從軍記章	東京市麻布區本村町八〇 同	同	後備	步一	生沼文六郎
同	同	同市四ッ谷區四ッ谷南寺町一一 同	同		代用馬卒	小島長十
同	同	同市同區麴町十一丁目七 同	同	同		窪田德次郎
步兵第一聯隊	同	同市日本橋區蠣殼町一丁目四 同麴町區飯田町五丁目三	同	豫備	故步一	甲田爲次郎 姉 甲田てる
第九補助輸卒隊	同	同市深川區蠣岸町四八 同	同	補充兵	輜輸	今村仁三郎
同	同	同市同區黑江町二六 同	同	同	同	長谷川善三郎

○音樂演奏會

來ル六月七日（日曜）午後二時半本校ニ於テ音樂會ヲ開ク其演奏曲目左ノ如シ

明治四十一年五月　東京音樂學校

曲目

一　管絃樂
　序曲　ヘンデル作曲
二　合唱及管絃樂
　海上朝暾　キール作曲　鳥居忱作歌
三　管絃樂伴奏「ピアノ」司伴樂
　「ピアノ」　フュメル作曲　教授幸田延
四　絃樂及「セムバロ」司伴樂「ヴァイオリン」獨奏
　ヘンデル作曲　教授安藤幸
　「セムバロ」　教師ハイドリッヒ
五　管絃樂スイト　マスネ作曲
　「レ、ゼリニイユ」
　(一)「セーン、ルリザユーズ」
　「セロ」獨奏　教師ヴェルクマイステル
　(二)「アントル、アクト」
　(三)「プレリユード」
六　「エリアス」中の合唱、管絃樂及「オルガン」　メンデルソーン作曲
　聯唱及合唱　助教授藤井環
　「ヘル、ヘール、サン　ビルゲベート」
　合唱「天の男月」　教師フレック　乙骨三郎作歌
　指揮者　教師ユンケル

入場券賣捌所

神田區表神保町二	同文館	京橋區竹川町一三	共益商社
本鄕區湯島切通坂町八	南江堂	本鄕區本鄕五丁目一〇	美滿津商店
京橋區銀座四丁目四	松本樂器店	京橋區銀座三丁目二	十字屋
神田區裏神保町七八	三省堂		

○醫術開業試驗日割

東京、京都及長崎ニ於テ施行ノ本年第一回醫術開業後期及齒科實地試驗日割竝ニ試驗場左ノ通定ム（氏名ノ上ニ×印ヲ付シタルモノハ本回學說試驗ニ合格シタルモノナリ）

明治四十一年五月　醫術開業試驗委員長　足立寬

東京市麴町區永樂町一丁目醫術開業試驗場ニ於テ試驗施行ノ分

後期

五月二十八日　二十九日　午後零時三十分ヨリ

靜岡縣平民　笠井與三
山形縣平民　×尾川長之助
大分縣士族　×田中孫七
東京府平民　×織田鍋藏
山形縣平民　×加藤政之助
佐賀縣平民　×今村豐八
埼玉縣平民　×島田淸平
栃木縣士族　×一色仁
岡山縣士族　×服部不二彦
茨城縣平民　×細野文雄
愛知縣平民　×森下貫一
山口縣平民　×高光蔦作

鳥取縣平民　×三島百吉
香川縣平民　×岩崎廣一
愛知縣平民　×齋田甚太郎
千葉縣平民　×小幡房治郎
青森縣平民　×西川文夫
靜岡縣平民　×鈴木達三
埼玉縣平民　×中澤巖
大分縣平民　×緒方均
鹿兒島縣士族　×大山道明
長野縣平民　×椎名眞積
千葉縣平民　×角田郁二
新潟縣平民　×内山蠑

愛媛縣平民　×武智誠藏
茨城縣平民　×舘壽彦
神奈川縣士族　×土方廉治
富山縣平民　×片桐壽榮
宮崎縣平民　×菊池エイ
愛知縣平民　×高須いま
佐賀縣平民　×諸石トキ
岩手縣士族　×土岐ミヤ
兵庫縣平民　×中川だい
秋田縣平民　×高橋五男也
岐阜縣平民　×三好奥三郎
山梨縣平民　×小澤喜雄

齒科

五月二十八日午後零時三十分ヨリ

茨城縣平民　×小倉德造
靜岡縣平民　×大橋大雄
愛知縣平民　×松本彩
長野縣平民　×春日祐四郎
大阪府平民　×柳生藤太郎
山梨縣平民　×保坂直

同二十九日午後零時三十分ヨリ

山梨縣平民　×堀内茂
岡山縣平民　×國米熊太郎
愛知縣平民　×永田隆治
岡山縣平民　×長谷川龍二
千葉縣平民　×前田隆治
長崎縣士族　×秋山榮造
茨城縣平民　×堤眞助

同三十日午後零時三十分ヨリ

東京府平民　×杉浦房吉
滋賀縣平民　×岡田滿
千葉縣平民　×羽生長一郎
愛知縣平民　×龜島純三
埼玉縣平民　×倉林廣三郎
山形縣平民　×長崎喜見造

京都市上京區御車通廣小路上ル府立醫學專門學校附屬療病院ニ於テ試驗施行ノ分

後期

五月二十八日　二十九日　午後零時三十分ヨリ

新潟縣平民　家坂幸三郎
宮城縣平民　宍戸善治
廣島縣平民　光波靜滿
大阪府平民　三浦重幸
岐阜縣平民　河瀬盛之
高知縣平民　中内榮
山口縣平民　河村翊
兵庫縣平民　倉知美津
德島縣平民　天羽潔
岡山縣平民　鳥越定次郎

岡山縣平民　土田役太郎
熊本縣平民　木村勝喜
滋賀縣士族　磯野昇
兵庫縣平民　古賀春藏
香川縣平民　野村榮太郎
三重縣平民　森嘉吉
德島縣平民　松崎芳三郎
香川縣平民　瀧貞吉
兵庫縣平民　長井正平
長崎縣士族　庭木彌七

兵庫縣平民　大橋規太郎
大阪府平民　武田榮一郎
山口縣平民　富永鵜松
長野縣平民　福田顯
大分縣平民　小川寅夫
大分縣平民　藍原三郎
和歌山縣士族　日置湛
滋賀縣平民　森建一
島根縣平民　野澤潤
鹿兒島縣士族　是枝近有

第7474号本文

六月（一日 二日）午後零時三十分ヨリ

岡山縣平民	岡崎　選
廣島縣平民	門橋　鐵之助
佐賀縣平民	田久保　與三郎
高知縣士族	御庄　勝治
岡山縣平民	龜山　熊太郎
京都府平民	藤木　康平
山口縣士族	中村　左一
山口縣平民	山根　貞一
京都府平民	武内　賢治
京都府平民	谷掛　環
京都府平民	大道　哲
徳島縣平民	勝瀬　安利
静岡縣平民	佐藤　治哉
岡山縣平民	藤岡　朴三
山口縣士族	徳田　修一
福岡縣平民	坂井　七郎
大分縣平民	吉田　輝雄
宮城縣士族	大立目　源之進
和歌山縣平民	野村　正雄
兵庫縣平民	壺阪　辰次
高知縣平民	清遠　正孝
高知縣平民	山中　森福
福岡縣平民	南野　照二
大阪府平民	山岸　猛
奈良縣平民	今西　利市郎
奈良縣平民	永井　久五郎
富山縣平民	開　龜治郎
廣島縣平民	熊谷　識部
廣島縣平民	佐々木　雅男
愛知縣士族	津田　信吉

同（三日 四日）午後零時三十分ヨリ

愛媛縣平民	高須賀　孫太郎
山口縣平民	長生　長治
山口縣平民	野村　三千介
栃木縣平民	岡本　丹次
愛媛縣平民	河添　照三郎
香川縣平民	富山　俊三
三重縣平民	根來　歳吉
東京府平民	中條　由太郎
大分縣平民	三浦　玉吉
山口縣平民	時澤　晋一
高知縣平民	高橋　惣吉
愛知縣平民	高木　常吉
京都府士族	×市川　正一
三重縣平民	×廣田　新兵衛
岡山縣平民	×鷹取　日夫
廣島縣平民	×湧谷　邊太郎
徳島縣平民	×景山　與平
高知縣平民	×和田　傳三郎
熊本縣平民	×醉山　藤八

齒科

五月二十九日午後零時三十分ヨリ

兵庫縣平民	八竹　増藏
徳島縣士族	還山　義雪
山口縣士族	桂　將一
徳島縣平民	太田　甃平
三重縣平民	伊島　愛吉

同三十日午後零時三十分ヨリ

和歌山縣平民	川崎　完
大阪府平民	三原　達治
鹿兒島縣平民	林　利衛
廣島縣平民	山本　深太郎
山口縣平民	宮内　經雄

六月一日午後零時三十分ヨリ

三重縣士族	中村　正平
大分縣平民	早川　源吾
愛媛縣士族	村上　信康
富山縣平民	柳澤　耕作
山口縣平民	河濟　九一

同二日午後零時三十分ヨリ

熊本縣平民	大關　又夫
大分縣士族	×玉井　袈裟夫
鳥取縣平民	×井上　敏雄
岡山縣平民	×井上　岩衣門
和歌山縣平民	×磯野　將一

長崎市里郷縣立長崎病院ニ於テ試驗施行ノ分

後期

六月（十日 十一日）午前九時ヨリ

長崎縣平民	力竹　増太郎
宮崎縣平民	杉尾　正次
長崎縣平民	綾部　義敏
鹿兒島縣士族	濱田　理八郎
長崎縣士族	横山　繁治
大分縣士族	深川　喜久雄
福岡縣平民	藤　六合雄
福岡縣士族	占部　一重
佐賀縣士族	勝屋　英夫
長崎縣平民	佐々木　順松
熊本縣平民	今村　繁藏
大分縣士族	村方　兵馬
長崎縣士族	川上　覺
福岡縣士族	小野　榮
福岡縣平民	高原　彌内
福岡縣士族	青木　彌太郎

同（十日 十一日）午後零時三十分ヨリ

福岡縣平民	奥　松五郎
福岡縣平民	高瀬　則敬
福岡縣平民	坂口　親惠
佐賀縣士族	柴田　米三
鹿兒島縣士族	本田　金雄
沖繩縣士族	新里　仁榮
鹿兒島縣士族	長　連城
福岡縣平民	山崎　知二
愛媛縣平民	中島　辰太郎
福岡縣平民	大木　辰之助
福岡縣平民	内田　槌次
長崎縣士族	相川　再次郎
熊本縣平民	高澤　法龍
鹿兒島縣士族	松崎　兼時
熊本縣平民	片山　源五郎
熊本縣士族	松見　信伍
熊本縣平民	橋本　信男
佐賀縣平民	田村　官市
鹿兒島縣士族	宮内　文夫
佐賀縣平民	石井　靖壽

同（十二日 十三日）午前九時ヨリ

佐賀縣平民	古賀　清太郎
佐賀縣士族	倉富　佐平
長崎縣士族	福田　和一郎
佐賀縣士族	原　秀雄
宮崎縣平民	森山　健助
福岡縣平民	豐田　嘉雄
鹿兒島縣平民	紙屋　可禰
佐賀縣平民	山口　長吾
大分縣平民	×篠田　作市
熊本縣平民	×辻　義明
高知縣士族	×濱口　正夫
福岡縣平民	×小林　寛次郎
熊本縣平民	×龍野　清
沖繩縣士族	×比嘉　賀善

○列車運轉時刻改正

來ル六月一日ヨリ九州管理局線八代人吉間運輸營業開始ニ付キ列車運轉時刻ヲ左ノ通定メ尙ホ三角線全部及鳥栖八代間列車時刻ノ一部ヲ變更ス

但シ中間各驛ノ發車時刻ハ各停車場ニ掲示ス

明治四十一年五月

帝國鐵道廳

下り

午前五時四十二分	熊本發人吉行
同五時五十八分	熊本發三角行
同六時十四分	大牟田發人吉行
同六時五十分	鳥栖發熊本行
同七時三十分	門司發人吉行
同七時四十四分	熊本發三角行
同十時	同上
同十一時五分	門司發熊本行
午後十二時十八分	高瀬發同行
同十二時五十五分	鳥栖發人吉行
同一時五分	熊本發三角行
同三時六分	同上
同四時四十三分	鳥栖發人吉行
同六時十三分	熊本發三角行

上り

午前十二時七分	熊本發鳥栖行
同五時四十五分	人吉發熊本行
同六時二十八分	八代發鳥栖行
同七時四十六分	三角發熊本行
同八時五十五分	人吉發鳥栖行
同九時五十一分	熊本發門司行
同十時	三角發熊本行
同十一時五十八分	同上
午後一時	人吉發門司行
同二時四十分	三角發熊本行
同三時三十九分	熊本發高瀬行
同四時四十分	人吉發大牟田行
同五時十分	三角發熊本行
同六時二十二分	熊本發鳥栖行
同八時二十四分	人吉發熊本行
同八時二十五分	三角發熊本行

○貯金通帳亡失及盜難

左記貯金通帳亡失及盜難ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ屆出ツヘシ

明治四十一年五月

郵便爲替貯金管理所

記番號	交付局所名	預ケ人氏名
いろた　二五九四	武藏　神田紺屋町	矢島　宗次
恩い　三六一〇三	郵便爲替貯金管理所	森貞　民夫
いにて　九一四	武藏　麻布飯倉片町	聖敎社
ゆいも　二九三	甲斐　飯富	深澤　をゝの
きさき　一三九六	上野　小暮	田村　ぎん
れはゐ　八二八	常陸　大貫	大芦　三造
らよ　一六一七	渡島　福山	宮島　周藏
けろた　二八二	羽後　十文字	長瀬　金太郎
らいわ　七八二	渡島　乙部	松村　清造
をわ　一六三三	下總　行德	八木　吉五郎
をはの　一四八八	同　萬歳	石毛　ぬく
をはり　四〇八九	安房　那古	川名　菊次
をはは　二四二三	同　保田	川崎　はつ
りは　一六五二五	武藏　横濱長者町	我妻　市郎
ゐにひ　五〇七	越後　西谷	穴澤　卯兵衛
ゐほち　四三四	同　椎谷	武田　又次郎
ゐろむ　一七六三	同　川口	山田　由太郎
むろさ　五三三	信濃　金澤	名取　三津留
同　七八六	同	同　宗平
恩わ　一八九一四	郵便爲替貯金管理所	瀧口　鶴太郎
同　三七六五八	同	三輪　まつ
めろて　一三三六	伊豆　網代	木内　鉄三郎
たにれ　四	磐城　熊野	川村　康
たにや　一四九六	岩代　若松博勞町	田中　義太郎
たぬ　四五八七	同　喜多方	安部　松江
こつ　五一八	陸奥　金木	山形　力三
同　五五三	同	田中　紋太郎
こいま　九二	同　大間越	工藤　チヨ
ゐに　七〇七一	下野　足尾	小松　ふよ
恩ゐ　三八五三	郵便爲替貯金管理所	須藤　豐吉
れむ　四〇三九	美濃　揖斐	坪井　みゑ
ゑた　一三四二	陸中　山田	阿部　龍藏
ほい　四一五六五	攝津　大阪	中村　儀三郎
ゐはき　三九六八	同　大阪千日前	大橋　善吉

（第三回發行）ゐはき　二六六二	大阪郵便爲替貯金管理支所	同　大次郎
ゐら　五三八五	攝津　大阪新町五	瀧岡　リツ
ぬに　六六〇五	同　兵庫柳原	庄司　茂一郎
ぬにや　二一七四	播磨　三日月	松本　福太郎
かはわ　二〇四	加賀　尾小屋	平生　佐助
かはす　一二七八	同　小松本折町	山本　卷せ
よる　五七〇三	近江　八日市	同　重次郎
よや　三七六六	同　信樂	勝見　勘兵衛
うはこ　六五二	美作　二宮	木村　五六
つゐ　一九九二	土佐　木山	川村　廣作
つちす　二六五	同　前濱	山本　楢兵衛
恩す　二〇九一一	郵便爲替貯金管理所	三浦　美起
によ　一五二四	伊豫　川ノ江	合田　喜三郎
にこ　六六	同　松前	寺坂　タキノ
ささ　一七九七	紀伊　安樂川	志磨　かずゑ
つはゑ　二一九九	阿波　市場	大林　順市
かろら　九九九	越中　山田湯	吉田　吉次郎
かにれ　一一九九	同　小久米	入口　吉三郎
かは　一一〇五九	越前　福井	大久保　七三郎
同　二五六四二	同	同　七右衛門
かど　四四二三	同　大野	田中　玉枝
ほいいか　四八九七	大和　下市	竹辻　政次郎
せいれ　二一四	越前　福井佐佳枝町	加藤　靜一
ぬいな　四一六三	播磨　御著	柴田　七藏
ぬにそ　七三六	同　安積	中村　つゆ
うさ　三四八	備前　味野	片山　淺吉
はろぬ　三三一	伊豫　砥部	中村　讃信
にき　四〇一八	武藏　日本橋堀江町	佐野　正芳
いろれ　五三八九	同　本所吉田町	小池　アイ
いほれ　一〇六四	同　本郷眞砂町	古川　靜夫
いほほ　一八七八	同　下谷龍泉寺町	篠原　嶽太郎
きい　一一九三〇	上野　前橋	坂本　馬吉
きう　一五三四	同　松井田	笠原　アイ
れろき　一四二九	常陸　山方	相田　德藏
れう　三九二八	同　潮來	仲　きん
れき　八六九	同　玉造	幡谷　正三
けと　四一三七	羽後　湯澤	齊藤　貫英
らろけ　八六四	後志　鹽谷	中村　德太郎
らにり　一〇三六ノ二	渡島　函館辨天	古山　イシ
らほぬ　一四五八	石狩　奈井江	福田　久衛
らろゐ　一一五九〇	同　旭川	梁田　ナフ
らにれ　五〇	後志　丹羽	佐々木　辰雄
恩ら　二三八三	郵便爲替貯金管理所	高際　秋吉
同　一九四五七	同	伊藤　艮一
らはい　五八八六	釧路　釧路	青山　辰夫
恩し　二〇七五	郵便爲替貯金管理所	松井　賴勝
しい　二六七四七	陸前　仙臺	橋本　エキ
しろは　四五三	同　大原濱	石森　清
しさ　二五三八	同　飯野川	渡邊　於あつ
をつ　六五〇五	上總　茂原	古山　喜代松
をはた　二五〇一	下總　我孫子	鈴木　ヤス
りき　二七七一	相模　松田	安藤　庄作
りいき　三七一	武藏　笹下	石黒　七郎
ゐいと　五三三	越後　保田	長谷川　マチ
むいれ　一六七六	信濃　平禮	黒岩　ちよ
むう　三三一九	同　田中	小山　宅次
むき　五〇五〇	同　下諏訪	山川　ふさ
わにあ　三六七	三河　牛久保	渡邊　重太郎
わめ　四三五五	尾張　祖父江	野田　孝一
わら　五七二五	同　瀬戸	長谷川　健市
めはり　一〇〇八	駿河　入山瀬	望月　安太郎
めいさ　一五四四	遠江　犬居	山下　唯市
あいい　一九〇一	武藏　下細谷	金井　福松
あは　一〇八五	同　熊谷	小林　さだ
こつ　七〇七	陸奥　金木	田中　與之助
あこ　二九八三	武藏　小鹿野	道庭　伊鹿藏
ゐわ　三九四八	下野　日光	高橋　とめ
みいか　二三五一ノ二	羽前　鼠ヶ關	木間　榮吉（共同貯金總代人）
ゐろち　三〇七	下野　合戰場	落合　トヨ
にはし　一〇八	美濃　高野	梅村　二七
ゑはそ　八〇	陸前　大船渡	佐藤　フミ
ゑを　二〇九九	陸中　久慈	加藤　善平
らはら　一一一五	千島　泊村	阿部　幸吉
わろひ　一八七一	尾張　彌富	内藤　重信
しはし　五三	陸前　宮野	氏家　こう
しる　四〇二四	同　築館	同　信一
同　四一五一	同	同　清長
とい　二七八六二	山城　京都	長野　いさ
とと　一三四五八	同　京都堀川下立賣	平居　はつ
とみ　一一四九七	丹波　福知山	永吉　茂治
ちむ　二二二一	同　綾部	大槻　廉三郎
ちふ　六一一九	山城　京都三條寺町	寺尾　千之助
ちはり　二八八	同　同新町頭	山内　久間
ちはか　四一〇八	同　同七條	井家　政次

左記貯金通帳亡失ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ屆出ツヘシ

明治四十一年五月

記番號	交付局所名	預ケ人氏名
恩韓　一〇〇五七	郵便爲替貯金管理所	中島　一二
韓に　七八〇二	京城	藤岡　源三郎
韓や　一六	草梁	福田　幹次郎
韓いら　三四六	瑞興	南　延學
韓ほか　六五	成川	安藤　健
韓ろ　四四三〇	元山	宮原　カヨ子

統監府通信管理局

○證券保管通帳亡失及盜難

左記證券保管通帳亡失及盜難ニ罹リタルニ付キ自今無效トス但シ其所在ヲ發見シタルトキハ速ニ郵便爲替貯金管理所ニ通報スヘシ

明治四十一年五月

記番號	預ケ人氏名
恩く　四六九〇	坂根　宗九郎
恩て　二一六〇四	栗丸　喜太郎
恩す　一四五二四	飛見　ふゆの
恩台　八六	三日月　森次郎

郵便爲替貯金管理所

○村役場位置變更

北河内郡田原村役場位置ヲ本月二十日大字下田原千四百八十三番地及千四百八十四番地ニ變更セリ

明治四十一年五月

大阪府

○購買入札

大藏省臨時建築部横濱支部納

一第一號　砂利　二百坪

一第二號　砂利　二百坪

一砂　二百坪

以上各々入札保證金見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部ニ就キ入札規則、契約書案及注文書等熟覽ノ上來ル六月四日午後二時限各々入札書ヲ當部ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ大藏省臨時建築部長工學博士妻木賴黄擔任ス

明治四十一年五月二十八日

大藏省臨時建築部

第一號　燕麥　七千貫目　來ル六月分所要ノ見込

第二號　同　一万貫目　本年七月分所要ノ見込

弘前騎兵第八聯隊納

第三號　精米　三百八十石　本年六、七兩月分所要ノ見込　秋田屯在部隊納

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以上引續キ此業ニ從事シ居ル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ來ル六月三日マテ（執務時間內）ニ當部ニ出頭入札心得書、契約書案及標本等熟覽ノ上同四日午前十一時マテニ當部ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ第八師團經理部長淺井逢三擔任ス

明治四十一年五月二十八日

第八師團經理部

一給地金　二万瓩

一晒木綿屑　三万瓩

一松丸太　四百七十四本

一金剛砂砥石　八百七十二箇ト二組

以上入札保證金各々見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來繼續シ且ツ現實其營業ニ從事スル證明書ヲ有スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ契約書案及入札人心得書等熟覽ノ上來ル六月十一日マテニ營業證明書ヲ差出シ同十二日午前十一時限入札スヘシ同時當部ニ於テ開札ス

此契約ハ吳海軍工廠會計部長鳥山類三擔任ス

明治四十一年五月二十八日

吳海軍工廠會計部

一「アルコール」外一廉　京都帝國大學用

入札保證金各自見積價格百分ノ五以上（圓未滿切上ク）、入札者ハ滿二年以上其業ニ從事セル旨所轄郡市區町村長又ハ稅務署ノ證明アル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ京都帝國大學ニ就キ見本及契約手續書等熟覽ノ上來ル六月十一日午前十時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ本學ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ京都帝國大學書記官心得石川一擔任ス

明治四十一年五月二十八日

京都帝國大學

一「トランシット」及「ワイレベル」　四組

一刷毛類　十七點

一調合鳶色「ペイント」　六千封

以上新橋納

右來ル六月四日當部ニ於テ入札執行

一客車電燈球　三千箇　新橋納

一舶來「タップ」　十一點　新橋又ハ横濱納

右來ル六月十二日當部ニ於テ入札執行

一白毛布　百五十六枚　神戸又ハ新橋納

第7474号　本文

一地塗紛　三千封
一「コーパルヴァニシュ」外一點
以上神戸納
右來ル六月四日神戸營業事務所ニ於テ入札執行

一引拔銅管　二種
一銅及眞鍮板　二點
一螺旋釘　十二點
以上神戸納
右來ル六月十二日神戸營業事務所ニ於テ入札執行

一革管　六點
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右購買スル入札望ノ者ハ前記各部所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上當日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ帝國鐵道廳計理部長圖師民嘉擔任ス
明治四十一年五月二十八日　帝國鐵道廳計理部

一赤「レッド」　千四百封
若松納
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右購買スル入札望ノ者ハ當局ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覧ノ上來ル六月十二日午前十一時限入札書ヲ當局ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ九州帝國鐵道管理局長心得植村俊平擔任ス
明治四十一年五月二十八日　九州帝國鐵道管理局

第一號　交換手用受話器「コード」外五點　第三號　第一號甲號卓上用「コード」外四點
第二號　第一號交換機用「コード」外二點　第四號　第二號交換機用「コード」外一點
以上入札保證金各自見積額百分ノ五以上（圓未滿切上ク）入札者ハ二年以來其業ニ從事シ且ツ明治三十三年遞信省令第十九號ノ資格ヲ備フルヲ要ス
右購買スル入札望ノ者ハ入札前日マテニ當局會計課ニ就キ入札人心得書、契約書案、仕樣書、圖面及見本品等熟覧ノ上來ル六月十二日午前十時三十分マテニ入札保證金ヲ納入シ同日午前十一時限入札スヘシ即時同課ニ於テ開札ス
此契約ハ東京郵便局長野村徳擔任ス
明治四十一年五月二十八日　東京郵便局

○工事請負入札

一横濱稅關鐵棧橋塗換及防舷械修繕工事　入札保證金各自見積金高百分ノ五以上
右請負望ノ者ハ本關ニ出頭入札規則、契約書案、仕樣書、繪圖面及現場等熟覧ノ上來ル六月十二日午前十一時限本關ニ於テ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ横濱稅關長山崎四男六擔任ス
明治四十一年五月二十八日　横濱稅關

大藏省臨時建築部横濱支部構内
一第五號岸壁上部石積工事
入札保證金見積代價百分ノ五以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル
右請負望ノ者ハ當部ニ就キ入札規則、契約書案、仕樣書、繪圖面及現場等熟覧ノ上來ル六月十二日午後二時限入札書ヲ當部ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ大藏省臨時建築部長工學博士妻木頼黄擔任ス
明治四十一年五月二十八日　大藏省臨時建築部

一造兵廠木材庫外三廠移轉改築工事
入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以來引續キ其業ニ從事スル者ニ限ル此證明書ハ來ル六月十三日マテニ差出スヘシ
右請負望ノ者ハ當局ニ就キ圖面、仕樣書、契約書案、入札心得書及現場（來ル六月十二日午前十時）等熟覧ノ上來ル六月十五日午前十時限當局ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ海軍省經理局長男爵村上敬次郎擔任ス
明治四十一年五月二十八日　海軍省經理局

神戸營業事務所附屬物置及燐取工場内小出庫人夫溜所新設工事
一物置木造平家建一棟　建坪二十四坪　一人夫溜所木造平家建一棟　建坪三坪七合五勺
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右請負望ノ者ハ當廳神戸營業事務所ニ就キ入札人心得書、契約書案、示方書、圖面及現場等熟覧ノ上來ル六月十二日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ神戸營業事務所長春日秀朗擔任ス
明治四十一年五月二十八日　帝國鐵道廳工務部

新宿警察署ヨリ府中、八王子ヲ經テ青梅警察署間
一電信線路修繕工事　入札保證金各自見積價格百分ノ五以上
右請負望ノ者ハ警視總監官房會計課ニ就キ入札人心得書、仕樣書、現場（現場熟覧希望者ハ來ル六月十二日午前八時マテニ出頭ノコト）及契約書案等熟覧ノ上來ル六月十五日午前十一時限同課ニ入札書差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ警視總監官房會計課長警視篠澤誠之助擔任ス
明治四十一年五月二十八日　警視廳

○林野賣拂

左記土地產物共隨意契約ヲ以テ賣拂フ　國有林野法第八條各號ニ該當スル買受望ノ者ハ實地熟覧ノ上明治三十二年八月農商務省令第二十五號國有林野法施行規則及同三十八年十二月同省令第三十三號不要存置國有林野賣拂規則竝ニ左記各項ヲ遵守シ願書ヲ差出スヘシ
明治四十一年五月二十八日　青森大林區署

一　願書差出期間ハ來ル六月二十五日限トス
二　願書ハ一箇所毎ニ一通ニ認メ（賣拂番號ハ必ス其冒頭ニ記載スヘシ）宛名ヲ青森大林區署長山林事務官島眞一ト記載シ當署ニ差出スヘシ
　但シ右願書ノ用紙ハ便宜所轄小林區署及町村役場ニ備置クリ依テ出願人ハ最寄小林區署又ハ町村役場ニ就キ請求セラルヘシ
三　願書差出方法ハ郵便其他何等ノ方法ヲ以テスルモ妨ナシ
四　民有地道路河川等ニ介在スル十町歩ヲ超エサル箇所ヲ其接續地所有者ヨリ賣拂出願セントスルトキハ接續關係ヲ認メ得ヘキ市町村長ノ證明アル圖面ヲ願書ニ添付スヘシ
五　賣拂フヘキ林野ニ義務ノ附帶スルモノハ買受人ニ於テ之ヲ承繼スヘシ
六　出願價格ハ錢位ニ止メ厘位ヲ付スヘカラス
七　買受代金ノ延納ヲ望ム者ハ（買受代金一口金五百圓以上ノモノニ限ル）明治三十七年五月勅令第百四十六號及同年六月農商務省令第十一號國有林野及產物賣拂代金延納規則ニ依リ其願書ヲ共ニ差出スヘシ
八　賣拂フヘキ林野ニ對シ訴訟下戻申請社寺境内編入又ハ讓與出願中ニ係ルモノハ其旨願書差出期間内ニ申告スヘシ
九　代金延納ヲ許可セラレタル者ニシテ契約期限内擔保ヲ提供セサルトキハ國有林野法施行規則第七條ノ八ノ規定ヲ準用ス

中第五一九號
陸奧國中津輕郡岩木村大字百澤字岸田一〇番國有原野
一臺帳面積四畝十五步
一實測面積三畝八步
中第五二二號ノ一
同上八三番國有原野
一臺帳面積二畝十七步ノ内
一實測面積一畝三步
中第五二二號ノ二
同上八三番國有原野
一臺帳面積二畝十七步ノ内
一實測面積三畝六步

中第二六七號
同上相馬村大字相馬字野脇一一六番國有林（見繼山）
一臺帳面積十五町九段步
一實測面積二十二町六段七畝十三步
樹木ノ所有者本村宮川太郎外二人
中第二七七號
同上大字水木在家字櫻井六六番國有林（保安林）
一臺帳面積十町六畝二十一步
一實測面積九町六段九畝二十六步
樹木ノ所有者本村三上澤吉外二人
中第二七八號
同上六七番國有林（保安林）
一臺帳面積二町八段七畝一步
一實測面積六町一段二畝十六步
樹木ノ所有者成田藤吉

中第二七九號
同上一一三番國有林（保安林）
一臺帳面積八町九段三畝二十步
一實測面積七町八段二畝二步
樹木ノ所有者舘山富次郎
中第二八〇號
同上一二一番ノ一國有林（保安林）
一臺帳面積六町四段四畝九步
一實測面積八町三段八畝四步
樹木ノ所有者本村成田末吉
中第二八一號
同上一二一番ノ三國有林（保安林）
一臺帳面積二町六段三畝六步
一實測面積四町六畝二十一步
樹木ノ所有者本村齊藤兼次郎
中第二八二號
同上大字坂市字坂市澤一五五番國有林（保安林）
一臺帳面積三町二段二十二步
一實測面積三町三段四畝十七步
樹木ノ所有者本村三上寅之助
中第三二三號
同上大字相馬字藥師平五〇番國有林（添仕立山）
一臺帳面積五段五畝二十五步
一實測面積八段九畝二十四步
一杉七本　材積三尺〆一四
一松一本　同　〇棚〇四
一小柴三十束
樹木ノ所有者本村三上寅平
中第三三六號
同上大字水木在家字櫻井一一四番國有林（保安林）
一臺帳面積七段步
一實測面積八段六畝二十九步
樹木ノ所有者本村舘山寅吉
中第三七三號
同上一二一番ノ三國有原野
一臺帳面積二町四段六畝二十四步
一實測面積二町七段十步
中第四四九號
同上四二番ノ二國有原野
一臺帳面積一畝步
一實測面積一畝七步
南第七二號
同上南津輕郡石川村大字乳井字澤田七五番國有林
一臺帳面積三十三町七段九畝六步
一實測面積三十町一段四畝二十七步
南第七三號
同上大字藥師堂字留長根六八番國有林
一臺帳面積三十七町六段七畝二十步
一實測面積三十一町五段六畝三步
南第九六號
同上大字大澤字前ヶ澤六〇番國有林（保安林）
一臺帳面積十二町一段三畝十七步
一實測面積九町五段二畝二十六步
樹木ノ所有者本村小田桐万右衛門、桑田作兵衛
南第九九號
同上大字石川字西ノ澤一一番國有林（保安林）
一臺帳面積五十五町二段二畝二十步
一實測面積三十一町一段五畝二十三步

樹木ノ所有者本村工藤貞之助外百七十八
南第一一〇號
同上大字乳井字澤田七四番國有林（保安林）
一臺帳面積二十四町步
一實測面積三十二町五段九畝十三步
樹木ノ所有者本村小笠原作太郎
南第一一一號
同上山形村大字板留字鄉ノ澤五九番國有林
一臺帳面積七十五町六段步
一實測面積三十八町三段六畝二十一步
一杉二十四本　材積八尺〆二七
一杉一万四千四百本
一松千八百五本　材積三〇棚八〇
一松三万二千六百六十六本　材積一〇〇四棚九六
南第一一四號
同上大字袋字瀧ノ澤二番國有林
一臺帳面積六十六町步
一實測面積四十町一段十九步
南第一一七號
同上字小根澤一〇番國有林
一臺帳面積四十三町二段步
一實測面積四十九町一段五畝十九步
南第一一八號
同上字上法立澤一一番國有林
一臺帳面積九十町步
一實測面積十二町五段五畝十一步
南第一五八號
同上浪岡村大字王余魚澤字寺山一番國有林（見繼山）
一臺帳面積九十一町二段四畝二十八步
一實測面積百十八町二畝十六步
樹木ノ所有者本村雪田佐治兵衛
野第一一九八號野第一一九九號ノ内一
同上上北郡野邊地町大字馬門字八ノキ谷地三七番三八番ノ一内一國有原野
一臺帳面積十六町三段三畝十一步
一實測面積八町六段二畝二十三步
野第一二三號
同上大字野邊地字洞内一七番國有原野
一臺帳面積三十五町八段四畝二步
一實測面積十八町五段二畝二十四步
植樹ノタメ明治六十一年二月マテ木町木村吉五郎外一六八人ヘ貸付中
野第一三九號
同上天間林村大字榎林字道合二番ノ二國有原野
一臺帳面積一畝十六步
一實測面積六步
野第一九八號
同上大字天間舘字南舘向六番ノ五國有原野
一臺帳面積三畝十九步
一實測面積二畝十七步
野第二四三號
同上字家ノ前三三番國有原野
一臺帳面積二步
一實測面積二步
野第二八一號
同上字内ノ澤七八番ノ四國有原野
一臺帳面積八段四畝十九步
一實測面積三畝二十步

野第一一九一號
同上字柳平四三番國有原野
一臺帳面積十一町七段步
一實測面積十七町八段一畝二十步
一小柴六百束
野第六〇三號
同上甲地村字寺澤川端二三番ノ内國有林（部分林）
一臺帳面積四町七段一畝九步
一實測面積一町七段六畝十三步
一栗十五本　材積二棚三五
一楢七本　同　〇棚九七
一松八本　同　〇棚六三
本林ハ分收步合二官八民分收權利者本村井上兵太郎外七名
野第六二七號
同上字舘三〇番國有原野
一臺帳面積二町四畝五步
一實測面積九町三段二畝二十一步
一雜木二百二十三本　材積九棚一一
一松十九本　材積〇棚八四
野第六三四號
同上字中津平一番國有林（部分林）
一臺帳面積三十九町三段四畝二十七步
一實測面積三十九町三段二畝十五步
一杉十七本　材積三尺〆三一
一松七千百十四本　材積八五棚八〇
一栗七百十五本　材積二八棚六九
本林ハ分收步合二官八民分收權利者本村沼山菊松外十七人
野第六三六號
同上字大久保四番ノ一國有原野
一臺帳面積八町八段四畝二十三步
一實測面積九町二段六畝十六步
一雜木三百七十五本　材積一八棚七五
野第六七二號野第六八三號
同上字洞内澤三八番三四番ノ一國有原野
一臺帳面積十八町八段四畝一步
一實測面積七十一町五段九畝步
一松八十七本　材積七棚八〇
野第六八一號
同上字中津平二番國有原野
一臺帳面積七町步
一實測面積二町三段六畝二十八步
一雜木千六百十本　材積五二棚二一
野第六八四號ノ内一
同上字洞内澤前二番ノ内國有原野
一臺帳面積四十七町一畝十一步ノ内
一實測面積八十九町三段八畝二十六步
一松七百十二本　材積六三棚三一
野第六八五號
同上字沼山二番國有原野
一臺帳面積六十五町二段二畝二十三步
一實測面積五十二町六畝八段十六步
野第六八七號
同上字鷄ヶ崎四九番國有原野
一臺帳面積二十五町二段六畝十步
一實測面積十八町九畝二十八步

一松七千四百七十六本　材積六四棚二六
一雜木千四百本　材積四五棚四
野第六八九號ノ内
同上字鳥口平一番ノ内國有原野
一臺帳面積五十三町九段八畝二十一步ノ内
一實測面積八十九町三段三畝二十五步
一雜木千二百八十六本　材積五二棚五三
一松百七本　材積四棚八二
野第六八九號ノ内
同上一番ノ内國有林（部分林）
一臺帳面積三十町八段八畝十四步
一實測面積三十二町一段四畝步
一雜木二百五十五本　材積一六棚七五
一松二十三本　材積一棚三一
一杉五十本
分收步合二官八民分收權利者本村吹越鴨助外四十三人
野第一〇一八號
同上字栗志多七番國有原野
一臺帳面積七段步
一實測面積三町二段七畝二十一步
一雜木五十六本　材積五棚五〇
一杉五本　材積八尺〆三一
一サハラ二本　材積三尺〆一四
橫第二〇三號第二〇四號ノ内第二〇六號ノ内第二〇五號第二〇二號
同上六ヶ所村大字出戸字岡畑六番ノ三、三八番ノ七内一、一一六番ノ三ノ内一、八五番七四番國有原野
一臺帳面積三百十四町三段二畝十九步ノ内
一實測面積二百二十九町五段一畝十三步
橫第二一二號ノ三第二一五號ノ三第二一七號ノ三
同上字柳澤六五番ノ二ノ内三、六九番ノ三、七二番ノ四ノ内三國有原野
一臺帳面積二百七十三町二段一畝步ノ内
一實測面積十一町六段步
植樹ノタメ上北郡長ヘ明治百八年マテ貸付中
野第一一六號
同上字鷹架字内子内一八番國有原野
一臺帳面積二段步
一實測面積八畝七步
七第二一號
同上浦野舘村大字上野字上野山字山添三七番四五番國有林
一臺帳面積三十七町九段三畝十四步
一實測面積四十一町一段六畝二步
一松三千七百四十一本　材積三、三六四尺〆四〇
一松二万六千本　材積五五六棚六七
一杉五十本　材積一四尺〆一八
七第一六〇五號
同上三七番ノ内國有林（部分林）
一臺帳面積二段七畝二十一步
一實測面積二十步
一杉　材積六尺〆三九
一松　同　八尺〆〇三
分收步合五官五民分收權利者和田佐助

第7474号　本文

七第一六〇六號
同上三七番ノ內國有林（取分林）
臺帳面積二畝步
一實測面積二段五畝二十五步
一杉　材積五四尺〆二二
一檜　同一〇尺〆九七
一松　同一三尺〆〇七
分收部合五官五民分收權利者本村蛯名喜助
七第一六〇七號
同上三七番ノ內國有林（取分林）
臺帳面積三畝十步
一實測面積二町七段四畝三步
一杉　材積四四尺〆一一
一松　同一尺〆六八
一欅　同〇尺〆三一
一ドロ　同八尺〆八七
分收部合二官八民分收權利者本村蛯名勝三郎
七第一四一號
同上大字相坂字向箕輪川原三六番國有原野
臺帳面積二步
一實測面積一畝五步
奥第一六四七號
同上大字藤島字鷹巣林二五番國有原野
臺帳面積八段五畝十五步
一實測面積二町一段六畝十九步
奥第九八五號ヨリ第九八七號ノ四マテ
同上三本木村大字切田字川原二番ノ內三國有林
臺帳面積十四町四段步ノ內
一實測面積一町七段七畝十五步
一松四十三本　材積三棚一一
田宅地數トシテ本村高屋吉太郎外四人ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九八五號ヨリ第九八七號ノ五マテ
同上三番ノ內一、三、七國有林
臺帳面積十一町四段三畝步內
一實測面積　四段三畝三步
一松二十本　材積一棚二八
一雜木三十三本　同〇棚八〇
田畑宅地數トシテ本村小沼いねヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九八五號ヨリ第九八七號ノ六マテ
同上三番ノ內二、四國有林
臺帳面積十一町四段三畝步ノ內
一實測面積二段三畝六步
一松三本　材積〇棚一九
田數トシテ本村角田吉松ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九八五號ヨリ第九八七號ノ七マテ
同上三番ノ內五、六國有林
臺帳面積十一町四段三畝步ノ內
一實測面積　三段五畝十六步
一松十二本　材積一棚九〇
田宅地數トシテ本村氣田たきヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九八五號ヨリ第九八七號ノ八マテ
同上三番ノ內六國有林
臺帳面積十一町四段三畝步ノ內
一實測面積三町五段六畝二十二步
一松百六本　材積七棚〇一
田宅地數トシテ本村豐川松太郎外五人ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九八九號第九九〇號第九九一號第九九五號第九九六號ノ內
同上字平林一三番國有林
臺帳面積二段三畝步
一實測面積四段八畝二十七步
奥第九八九號ヨリ第九九一號マテ第九九五號第九九六號ノ內
同上八八番國有林
臺帳面積八段步
一實測面積一段五畝十六步
奥第九八九號ヨリ第九九一號マテ第九九五號第九九六號ノ二
同上一八番ノ內二國有林（取分林）
臺帳面積四十五町步ノ內
一實測面積三畝三步
一杉　材積二尺〆二七
分收部合二官八民分收權利者本村畠山吉太郎
奥第九八九號ヨリ第九九一號マテ第九九五號第九九六號ノ四
同上一五七番ノ內二、三、四國有林
臺帳面積二十一町八段四畝步ノ內
一實測面積三町五畝二步
畑數トシテ本村氣田たきヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九九七號ヨリ第一〇〇七號ノ三マテ
同上字夏間木六一番ノ內二國有林（取分林）
臺帳面積三町六段三畝十步ノ內
一實測面積一畝步
一杉　材積一尺〆四五
分收部合二官八民分收權利者本村瀧澤孫太郎
奥第九九七號ヨリ第一〇〇七號ノ四マテ
同上八三番ノ二、六、二番ノ三、一一七番ノ二國有林
臺帳面積五町四段十步ノ內
一實測面積一町六畝十二步
畑數トシテ本村畑山定右衞門ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九九七號ヨリ第一〇〇七號ノ五マテ
同上六一番ノ內四
臺帳面積三町六段三畝十步ノ內
一實測面積二畝十四步
畑數トシテ本村畑山仁八ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九九七號ノ一ヨリ第一〇〇七號ノ六マテ
同上六七番ノ內二國有林（取分林）
臺帳面積一町四段九畝十步ノ內
一實測面積二畝二十步
一杉　材積二尺〆三八
分收部合二官八民分收權利者本村畑山虎之助
奥第九九七號ヨリ第一〇〇七號ノ七マテ
同上七三番ノ內二三國有林
臺帳面積四町三段二畝步ノ內
一實測面積四段二十步
畑數トシテ本村畑山市太郎ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九九七號ヨリ第一〇〇七號ノ八マテ
同上八三番ノ內三國有林
臺帳面積一段七畝步ノ內
一實測面積一段九畝十七步
畑數トシテ本村畑山甯ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九九七號ヨリ第一〇〇七號ノ九マテ
同上八三番ノ內四一一七番ノ內三國有林（取分林）
臺帳面積一町七段七畝步ノ內
一實測面積六畝十步
一杉　材積九尺〆五一
分收部合二官八民分收權利者本村畑山定右衞門
奥第九九七號ヨリ第一〇〇七號ノ一〇マテ
同上一一七番ノ內四
臺帳面積一町六段步ノ內
一實測面積五段七畝四步
畑數トシテ本村畑山三八ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九九七號ヨリ第一〇〇七號ノ一一マテ
同上一一七番ノ內五國有林
臺帳面積一町六段步ノ內
一實測面積五畝二十步
畑數トシテ本村畑山吉助ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第九九七號ヨリ第一〇〇七號ノ一二マテ
同上一一七番ノ內六國有林
臺帳面積一町六段步ノ內
一實測面積二段七畝五步
畑數トシテ本村畑山百松ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇〇九號ヨリ第一〇一五號ノ二マテ
同上字見世二二番ノ內二、四二番ノ內二國有林
臺帳面積四町一段四畝步ノ內
一實測面積三段四畝二十三步
畑數トシテ本村見世永八ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇〇九號ヨリ第一〇一五號ノ三マテ
同上二二番ノ內三國有林
臺帳面積五段步ノ內
一實測面積一段八畝五步
畑數トシテ本村小笠原長治ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇〇九號ヨリ第一〇一五號ノ四マテ
同上一九〇番ノ內二國有林
臺帳面積十二町九段步ノ內
一實測面積四段一畝五步
畑數トシテ本村小笠原子之助ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇〇九號ヨリ第一〇一五號ノ五マテ
同上四二番ノ內三國有林
臺帳面積三町六段四畝步ノ內
一實測面積二段四畝二十四步
畑數トシテ本村小笠原福之助ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇〇九號ヨリ第一〇一五號ノ六マテ
同上一二九番ノ內二國有林
臺帳面積二町步ノ內
一實測面積七畝步
畑數トシテ本村小笠原專松ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇〇九號ヨリ第一〇一五號ノ七マテ
同上九番ノ內一、二國有林
臺帳面積十四町步ノ內
一實測面積二町二段四畝五步
畑數トシテ本村小笠原孫太郎ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇〇九號ヨリ第一〇一五號ノ八マテ
同上九番ノ內三國有林
臺帳面積十四町步ノ內
一實測面積一段八畝二十四步
畑數トシテ法奥澤村新屋敷兼松ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇一六號ヨリ第一〇二二號ノ一マテ
同上字畑熊九番一三番ノ一、一七番ノ一、二〇番、三〇番、三四番ノ一、三五番ノ一國有林
臺帳面積十三町三段三畝十步ノ內
一實測面積五十一町三段三畝十六步
一雜木三百五十二本　材積一〇棚三〇
一松三十一本　材積三八尺〆〇三
一松五百四十五本　同一一棚七三
一栗三十二本　材積三八尺〆五〇
一杉十六本　同五尺〆三六
奥第一〇一六號ヨリ第一〇二二號ノ二マテ
同上一三番ノ內二國有林
臺帳面積三町六段一畝二十步ノ內
一實測面積一町二段六畝二十四步
畑數トシテ本村關口孫七ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇一六號ヨリ第一〇二二號ノ三マテ
同上三四番ノ二、一七番ノ內二國有林
臺帳面積二町一段三畝十步
一實測面積一町八段一畝十九步
畑數トシテ本村高見三太ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇一六號ヨリ第一〇二二號ノ四マテ
同上一七番ノ內三國有林
臺帳面積一町四段九畝十步ノ內
一實測面積一段四畝三步
畑數トシテ本村高見美濃ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇一六號ヨリ第一〇二二號ノ五マテ
同上一七番ノ內四國有林
臺帳面積一町四段九畝十步ノ內
一實測面積二段二畝四步
畑數トシテ本村高見彥太郎ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇一六號ヨリ第一〇二二號ノ六マテ
同上三五番ノ內二國有林
臺帳面積一町二段五畝步ノ內
一實測面積一町一段七畝二十三步
畑數トシテ本村程川巳之助ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇一六號ヨリ第一〇二二號ノ七マテ
同上三五番ノ內三國有林（部分林）
臺帳面積一町二段五畝步ノ內

一實測面積一畝步
一杉　材積〇尺〆九四
分收部合二官八民分收權利者本村大川左團見
奥第一〇二三號ヨリ第一〇二七號ノ二マテ
同上字野月二番ノ內二國有林（取分林）
臺帳面積三町六段三畝十步
一實測面積一畝步
一杉　材積〇尺〆四九
分收部合五官五民分收權利者本村畑山源之助
奥第一〇二三號ヨリ第一〇二七號ノ三マテ
同上二番ノ內三國有林（取分林）
臺帳面積三町六段三畝十步ノ內
一實測面積三畝步
一杉　材積一尺〆二九
分收部合五官五民分收權利者本村笹森宮藏
奥第一〇二三號ヨリ第一〇二七號ノ四マテ
同上二番ノ內四國有林（取分林）
臺帳面積三町六段三畝十步ノ內
一實測面積五畝步
一杉　材積二尺〆六〇
分收部合五官五民分收權利者本村大川左團見
奥第一〇二三號ヨリ第一〇二七號ノ五マテ
同上二番ノ內五國有林（取分林）
臺帳面積三町六段三畝十步ノ內
一實測面積五畝步
一杉六本
分收部合五官五民分收權利者本村高田義藏
奥第一〇二三號ヨリ第一〇二七號ノ六マテ
同上二八番ノ內二國有林（取分林）
臺帳面積三町六段三畝十步ノ內
一實測面積一畝步
一杉　材積〇尺〆五七
一小杉五本
分收部合五官五民分收權利者本村高田馬吉
奥第一〇二三號ヨリ第一〇二七號ノ七マテ
同上二八番ノ內三國有林（取分林）
臺帳面積三町六段三畝十步ノ內
一實測面積二畝步
一小杉六本
分收部合五官五民分收權利者本村山田子之吉
奥第一〇二三號ヨリ第一〇二七號ノ八マテ
同上三〇番ノ內二國有林
臺帳面積一町步ノ內
一實測面積一町三段五畝步
畑數トシテ本村紫在家丑之助ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二三號ヨリ第一〇二七號ノ九マテ
同上三一番ノ內二國有林
臺帳面積一段步ノ內
一實測面積一町五段六畝十二步
畑數トシテ本村畑川虎藏ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ二マテ
同上字繁見二番ノ內二國有林
臺帳面積二町四段六畝二十步ノ內
一實測面積八段五畝十步
畑數トシテ本村大川市太郎ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ三マテ
同上二番ノ內三國有林
臺帳面積二町四段六畝二十步ノ內
一實測面積四段十五步
畑數トシテ本村豐川德松ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ四マテ
同上二〇番ノ內二、六國有林
臺帳面積九段五畝步ノ內
一實測面積三段十九步
畑數トシテ本村豐川治助ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ五マテ
同上二〇番ノ內三、四、七國有林
臺帳面積九段五畝步ノ內
一實測面積二段三畝三步
畑數トシテ本村豐川榮藏ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ六マテ
同上二〇番ノ五、八番九番三八番ノ七國有林
臺帳面積七町九段九畝步ノ內
一實測面積一町五段七畝十三步
畑數トシテ本村豐川德松ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ七マテ
同上三八番ノ內二、三、五國有林
臺帳面積七町四畝步ノ內
一實測面積四段三畝十步
畑數トシテ本村豐川巳之助ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ八マテ
同上三八番ノ內四國有林
臺帳面積七町四畝步ノ內
一實測面積三段二畝十一步
畑數トシテ本村大川圓之助ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ九マテ
同上三八番ノ內六國有林
臺帳面積七町四畝步ノ內
一實測面積一段三步
畑數トシテ本村豐川定藏ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ一〇マテ
同上一三〇番ノ內二國有林
臺帳面積一段三畝十步ノ內
一實測面積三段五畝十二步
畑數トシテ本村大川由松ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ一一マテ
同上一三〇番ノ內三國有林
臺帳面積一段三畝十步ノ內
一實測面積八畝二十八步
畑數トシテ本村大川孫市ヘ明治四十二年三月マテ貸付中
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ一二マテ
同上六五番ノ內一國有林
臺帳面積四段七畝步ノ內
一實測面積一段六畝二十七步
奥第一〇二八號ヨリ第一〇三七號ノ一三マテ
同上六五番ノ內二國有林（取分林）
臺帳面積四段七畝步ノ內
一實測面積一畝二十步
分收部合二官二官八民分收權利者本村大川圓之助
奥第一一七三號第一一七七號第三一七八號
同上字大谷地五五番ノ一四、六三番六七番ノ二國有原野
臺帳面積三十四町二段七畝八步
一實測面積二十九町二段一畝九步
一杉三十八本　材積一〇尺〆三八
一松四十九本　同一棚七八
一雜木七百五十九本　材積三〇棚二六
奥第一一七四號
同上字大畑三七番國有原野
臺帳面積十六町八段二畝二步
一實測面積十五町六段四畝四步
一雜木四百三十二本　材積一〇棚四〇
奥第一一七九號ノ內三
同上字小森山七四番ノ二內三國有林（取分林）
臺帳面積二畝步
一實測面積二畝步
一杉　材積〇尺〆一二
分收部合二官八民分收權利者本村加賀澤太利
奥第一六一〇號
同上字大畑二四番ノ五國有原野
臺帳面積四段七畝二步
一實測面積十三町九段六畝十七步
一雜木二百四十本　材積一〇棚七九
一杉二十三本　材積二尺〆〇六
七第二〇七號
陸奥國上北郡七戶町字蛇坂五五國有原野
臺帳面積三町三段步
一實測面積一町五段五畝步
七第二四七號
同上五七番ノ二國有原野
臺帳面積七段七畝十八步
一實測面積七段五畝步
七第三一三號ノ內
同上字八掛田一〇五番ノ內國有原野
臺帳面積十四町一段四畝二十步ノ內
一實測面積三段五畝八步
七第三一六號
同上字後川原一〇一番ノ二國有原野
臺帳面積九段八畝二十五步
一實測面積一町一畝十九步
七第三九一九號
同上字櫻田六五番ノ二國有原野
臺帳面積八段八畝二十七步
一實測面積九段一畝十一步
七第一四〇七號
同上字下見町二五番ノ六國有原野
臺帳面積五畝二十四步
一實測面積五畝二十四步
奥第一四四〇號
同上字淸水頭七〇番ノ八國有原野
臺帳面積三段五畝十八步
一實測面積三段五畝十五步
第一四六〇號
同上字治部袋四七番ノ三國有原野
臺帳面積三段三畝二十三步
一實測面積九畝十三步
七第四三八號ヨリ第四四七號ノ一マテ
同上六戶村大字折茂字上折茂六七番ノ內一、六八番ノ內一國有林
臺帳面積二十九町三段七畝六步ノ內
一實測面積四十八町一段九畝二十六步
一松三百四十一本　材積三九九尺〆七〇
一松八千百三十七本　同一五三棚六一
一小松千九百十三本
一雜木一万二千七百三十本　材積一一一棚六二
一小柴五百十束
七第四三八號ヨリ第四四七號ノ四マテ
同上字今熊四九番一五七番一五二番國有林
臺帳面積五町三段四畝十步
一實測面積十四町六段四畝二十二步
一雜木千四百二十九本　材積四六棚三七
一松二百四十二本　同二八五尺〆〇〇
一松五千六百五本　同一一四棚八六
一杉五十三本　材積二五尺〆五六
一槻二本　材積六尺〆四二
七第四三八號ヨリ第四四七號ノ五マテ
同上一八番ノ內一國有林
臺帳面積二町四段步ノ內
一實測面積二町三段八畝四步
一雜木二百七十五本　材積一〇棚七六
一扁柏三本　材積五尺〆〇四
一杉二本　材積四尺〆四九
七第四三八號ヨリ第四四七號ノ七マテ
同上一一二番國有林
臺帳面積一畝六步
一實測面積一段七畝一步
一雜木三十九本　材積一棚五〇
一杉五本　材積二尺〆九四
七第四三八號ヨリ第四四七號ノ八マテ
同上一四〇番國有林
臺帳面積二畝八步
一實測面積三段六畝十五步
一雜木四十二本　材積〇棚九六
七第四三八號ヨリ第四四七號ノ九マテ
同上一三五國有林
臺帳面積二段五畝步
一實測面積六段五畝十二步
一雜木百十八本　材積二棚四〇
一栗七本　材積一二尺〆四五
七第四三八號ヨリ第四四七號ノ一〇マテ
同上一二三番國有林
臺帳面積二町六段步
一實測面積六町一段十四步
一松二十八本　材積五尺〆九三
一杉千七百九十四本　材積三六棚一四

第7474号　本文

一小松四百六十本
一雜木千五百十八本　材積二四棚三八
一小柴百束
奥第四四二號
同上六戸村大字下吉田字米澤七五番ノ一國有原野
一臺帳面積二十一町九段二畝二步
一實測面積二十四町一段一畝十六步
一松千百六十三本　材積九棚八九
一小松二千八百五本
牧場敷トシテ本村吉田和太郎ヘ明治四十二年七月マテ貸付中
七第五〇〇號
同上大字大落瀨字南平一四四番ノ一國有原野
一臺帳面積三十町七段六畝二十七步
一實測面積三十町八段八畝二十九步
七第六一九號
同上字沼久保一八五番國有林（部分林）
一臺帳面積三町二畝四步
一實測面積六町四段二步
一杉　材積一尺〆五五
一雜木　同〇棚一五
一松　同〇棚一九
一小松百四十二本
一小柴十束
分收部合二官八民分收權利者本村沼田金蔵
七第六二九號
同上大字折茂字上折茂六九番ノ內國有原野
一臺帳面積八十五町一段一畝四步ノ內
一實測面積二十六町一段七畝二十九步
一小松七百五十六本
七第七八三號
同上字畑刈下一二三番國有原野
一臺帳面積一段二畝步
一實測面積七畝三步
七第八三三號
同上大字大落瀨字上淋代一三番ノ一國有原野
一臺帳面積五段二畝五步
一實測面積四段步
一松百十三本　材積三棚五六
七第八三四號
同上字沼久保三二番ノ一國有原野
一臺帳面積一段二畝二十七步
一實測面積三畝十四步
七第八三五號
同上六九番國有原野
一臺帳面積七畝十一步
一實測面積一段二畝二十八步
七第八三六號
同上字岡沼五四番ノ一國有原野
一臺帳面積二段三步
一實測面積一段七畝九步
七第八三七號
同上字上淋代二六番ノ一國有原野
一臺帳面積四段七畝二十五步
一實測面積九段一畝二十二步
七第八三八號ヨリ第八三九號マテ
同上字金矢三二番ノ一、四二番ノ一國有林野
一臺帳面積二段四畝步
一實測面積五段十六步
七第八四〇號ヨリ第八四一號マテ
同上字上淋代三一番四六番ノ一國有原野
一臺帳面積八段二畝十三步
一實測面積三町四段八畝十五步
七第八四二號
同上字內山七七番國有原野
一臺帳面積六畝七步
一實測面積七段九畝十七步
一雜木三百二十一本　材積三棚七七
一小柴七十束
上第一八號ノ一
同上大深內村大字深持字小田山六九番ノ內國有林
一臺帳面積四十二町步ノ內
一實測面積二町二段九畝十二步
一松二百二十本　材積一六九尺〆四九
七第五四五號
同上大字洞內字五十貫目六三番ノ內國有原野
一臺帳面積四町四段二畝步ノ內
一實測面積一町五段六畝二十九步
七第六四〇號
同上大字八斗澤字伊谷澤六一番ノ一國有原野
一臺帳面積十町九段四畝十一步
一實測面積十町三段八畝十七步
第六八號
同上三澤村大字三澤字堀口三六番國有原野
一臺帳面積一段步
一實測面積八段六畝二十四步
一小松二百十七本　材積五棚七二
七第四三三號
同上九四番國有林（部分林）
一臺帳面積五十三町一段一畝二十步
一實測面積百十町二段一畝二步
一松　材積五四尺〆四三
一松　同八棚〇〇
一松千百八十束
分收部合二官八民分收權利者本村小比類卷鶴之助外五人
七第五九五號
同上字戸崎五番國有原野
一臺帳面積二町步
一實測面積一町五段一畝六步
一松百五十六本　材積一二〇尺〆〇七
七第五九六號
同上九一番國有原野
一臺帳面積三段步
一實測面積三段六畝十六步
一松四十六本　材積一九尺〆六九
七第五九七號
同上一五〇〇番國有原野
一臺帳面積四段步
一實測面積二町八段一畝七步
七第五九九號ノ內
同上字流平六九番ノ二ノ內國有原野
一臺帳面積十一町一段二步ノ內
一實測面積三町七段一畝二十步
養魚林暴風林トシテ上北郡長ヘ百八年マテ貸付中
七第五九九號ノ內
同上六九番ノ二ノ內國有原野
一臺帳面積十一町一段二步ノ內
一實測面積三町二段七畝二十一步
七第六〇〇號ノ內
同上字前平三〇番ノ二國有原野
一臺帳面積二十九町二段七畝八步ノ內
一實測面積九町六段三畝二十二步
一松四千五百束
一雜木植付ノタメ本村柿本嘉七ヘ明治六十一年
二月マテ貸付中
七第六〇〇號ノ內
同上三二番ノ二ノ內國有原野
一臺帳面積二十二町八段二畝十七步ノ內
一實測面積五町一段一畝二十二步
七第六〇〇號ノ內
同上三〇番ノ二國有原野
一臺帳面積二十九町二段七畝八步ノ內
一實測面積二段五畝十六步
樹木栽培ノタメ本村柿本嘉七ヘ明治六十二年
二月マテ貸付中
七第六〇二號ノ內
同上字水筒六三番ノ一ノ內國有原野
一臺帳面積六町三段三畝十步ノ內
一實測面積二町七畝十步
養魚林兼暴風林トシテ上北郡長ヘ百八年マテ
貸付中
七第六〇二號ノ內
同上六三番ノ一ノ內國有原野
一臺帳面積六町三段三畝十步ノ內
一實測面積一町七段二畝一步
七第六〇三號
同上六三番ノ二國有原野
一臺帳面積三町六段五畝步
一實測面積三町二畝十四步
七第六〇五號
同上字向平九〇番ノ五國有原野
一臺帳面積三町九段五畝十八步
一實測面積四町七段三畝二十七步
七第六〇五號ノ內
同上九〇番ノ五國有原野
一臺帳面積三町九段五畝十八步ノ內
一實測面積六段二十步
七第六〇六號
同上字下野五七番ノ九國有原野
一臺帳面積一町五段一步ノ內
一實測面積七段四畝一步
畑敷トシテ本村立花万蔵ヘ明治四十二年三月
マテ貸付中
七第六二五號ノ內
同上字大澤五八番ノ一國有原野
一臺帳面積三町五段八畝十一步
一實測面積十一町五段七畝二十八步
一小松四百束
養魚林兼暴風林トシテ上北郡長ヘ百八年マテ
貸付中
七第六二五號ノ內
同上五八番ノ一國有原野
一臺帳面積三町五段八畝十一步ノ內
一實測面積五段二畝二十八步
七第六二六號
同上字水筒三六番國有原野
一臺帳面積一町步
一實測面積九段五畝二十九步
七第六四一號
同上字早稻田三〇〇番國有原野
一臺帳面積三町五段二十四步
一實測面積三町二段四畝十五步
七第一四一六號
同上三澤村大字三澤字山下一二番國有原野
一臺帳面積五段步
一實測面積四畝十六步
七第一四一七號
同上一六番國有原野
一臺帳面積三段步
一實測面積一段七畝十七步
七第一四一八號
同上字下堀四四番國有原野
一臺帳面積三段三畝十步
一實測面積四段六畝九步
七第一四一九號
同上七〇番ノ一國有原野
一臺帳面積三畝步
一實測面積二畝十七步
七第一四二三號
同上字後久保四五番ノ一國有原野
一臺帳面積一段九畝二十九步
一實測面積六畝五步
七第一四二六號
同上字小山田一四番ノ一國有原野
一臺帳面積三段二十步
一實測面積七畝七步
七第一四八六號
同上三澤村大字三澤字早稻田二二七番國有原野
一臺帳面積五畝十九步
一實測面積一畝步
七第一六三一號
同上字向平九一番ノ二國有原野
一臺帳面積三町九段二畝步ノ內
一實測面積二町六段二畝五步
養魚林兼暴風林トシテ上北郡長ヘ百八年マテ
貸付中
七第一六三一號ノ內
同上九一番ノ二ノ內國有原野
一臺帳面積三町九段二畝步ノ內
一實測面積三町八段三畝五步
上第二五號
同上下田村字古間木山一四一番國有林
一臺帳面積四町步
一實測面積十町四畝十六步
一雜小柴五百束
七第四七九號
同上字黑坂谷地一一〇番國有原野
一臺帳面積三町三段三畝十步
一實測面積六町四段九畝三步
一小松二百束

七第四八二號
同上字上久保六三番國有原野
一臺帳面積六町八段步
一實測面積十五町九段三畝五步
七第八〇三號
同上字下境一一九番國有原野
一臺帳面積二段六畝步
一實測面積五段四畝十七步
七第八〇四號
同上字下境一二〇番國有原野
一臺帳面積二畝二十步
一實測面積九畝步
奥第二一六號ヨリ第二一七號マテ
同上四和村大字米田字大切七番八番國有原野
一臺帳面積三畝二十步
一實測面積二段五畝十五步
奥第三八六號
同上大字傳法寺字判遁三六番ノ內三國有林（部分林）
一臺帳面積一町六段六畝二十步
一實測面積四町九段七畝二十一步
一小松千百九十四本
分收部合二官八民分收權利者本村飯岡代次郎
外六人
奥第一〇一號ノ二
同上大字瀧澤字漆畑一〇九番ノ五國有原野
一臺帳面積十五町八段十五步ノ內
一實測面積四畝五步
奥第一〇二號ノ二
同上字財ノ川原二一番ノ二國有原野
一臺帳面積二十二町三段十二步ノ內
一實測面積三段二畝二十五步
奥第一一〇三號
同上字堤頭七〇番ノ一國有原野
一臺帳面積三十四町三段九畝十八步
一實測面積七十町一段二畝六步
一松三百六十四本　材積二棚七九
奥第一一〇四號
同上字米內沼五三番國有原野
一臺帳面積二十一町三段三畝十步
一實測面積五十町二段九畝一步
一松三十三本　材積〇棚二六
奥第一一〇五號
同上字小谷地二一番ノ四國有原野
一臺帳面積二十三町五段六畝二十七步
一實測面積五十四町六段二畝十八步
一松五十六本　材積〇棚三七
奥第一一六八號
同上四和村大字瀧澤字上大澤一七番國有原野
一臺帳面積三十八町步
一實測面積五十二町七段四畝十二步
奥第一一八九號ノ二
同上字上財ノ川原一八番ノ三ノ內
一臺帳面積二十二町九段六畝二十六步ノ內
一實測面積一段八畝三步
三第一五三號
陸奥國三戸郡田子村大字田子字坂下三二番國有原
野
一臺帳面積十二町步
一實測面積三十四町五畝十九步
三第二九三號
同上字風張二七番國有林（禁伐保安林）
一臺帳面積二町六段十三步
一實測面積二町六段十三步
一杉千四百四十二本　材積四二一五尺〆一六
一栗四本　材積六尺〆二二
奥第一四八〇號
同上川內村大字上市川字櫻澤四四番國有原野
一臺帳面積一町六畝五步
一實測面積一町五段十三步
三第一八一號
同上八戸町大字糠塚字外形一九番國有林（風害防備
保安林）
一臺帳面積一段二畝十五步
一實測面積三段三步
一杉二百三本　材積一二六五尺〆九一
一松五本　材積八尺〆九二
田第四五號田第四六號下第一六五號
陸奥國下北郡東通村大字小田野澤字南通二番ノ二、
一〇一番一〇三番一〇四番ノ內國有原野
一臺帳面積百七十五町三段十九步ノ內（八）
一實測面積百六十一町二段一畝七步
田第四七號
同上字燒山川目五番ノ九國有原野
一臺帳面積四十一町八段二十步
一實測面積三十三町九段三畝二十三步
田第四八號田第一九九號
同上字湯ノ澤川目四〇番ノ三、五番ノ六國有原野
一臺帳面積七十三町三段一畝十四步
一實測面積九十八町六段七畝十五步
一雜木四百本　材積二〇棚五〇
田第四九號田第五〇號田第一五一號
同上字荒沼一〇番一二番一三番國有原野
一臺帳面積百八十一町四段七畝十二步
一實測面積百三十六町五段步
一雜木三千八百本　材積九六棚〇〇
一松八百七十八本　材積二五二尺〆〇〇
田第五三號ノ內（二）
同上字滄通七八番ノ九ノ內（二）國有原野
一臺帳面積百五十町七段七畝二十步ノ內
一實測面積六十六町八段七畝十五步
田第五四號
同上大字白糠字赤平一三〇番ノ九國有原野
一臺帳面積三十四町十四步
一實測面積十九町一畝十七步
一松二十五本　材積二九尺〆三七
田第五五號ノ內
同上字前坂下三四番ノ一三國有原野
一臺帳面積五百二十六町七段四畝十六步ノ內ノ四
一實測面積百十五町八段九畝步
一ヒバ四十五本　材積二〇尺〆六三
一松百十三本　材積五五尺〆三九
一雜木二百本　材積一五〇棚〇〇
田第四四號
同上東通村大字滄ノ澤字宗前澤一番ノ三國有原野
一臺帳面積四十町四段六畝六步
一實測面積七町七畝十五步
下第一六六號下第一六七號
同上大字小田野澤字程山二番一一番國有原野
一臺帳面積三十七町三段五畝十六步
一實測面積三十一町二段五畝步
下第一六九號下第一七〇號下第一七一號下第一七
二號
同上字北向五一番ノ一、三七番四三番四五番國有原
野
一臺帳面積十一町三段五畝十一步
一實測面積五十六町一段七畝十五步
下第一七三號
同上字中道川八番ノ四國有原野
一臺帳面積三十五町八段十七步
一實測面積三十六町三段二畝二十三步
下第一七四號
同上一七番ノ四國有原野
一臺帳面積四町七段六畝二十七步
一實測面積七町八段步
下第一七七號
同上字燒山川目一〇番ノ二國有原野
一臺帳面積三町一段九畝十八步
一實測面積五町七段八畝二十五步
一杉六本　材積二尺〆八四
下第一七八號
同上大字小田野澤字湯ノ澤川目四一番國有原野
一臺帳面積四町步
一實測面積十町四段二畝十五步
下第一七九號
同上字滄通四五番國有原野
一臺帳面積三町五段七畝二十八步
一實測面積十一町三段六畝八步
下第一九三號ノ內
同上大字白糠字前田四四番ノ二八ノ內國有原野
一臺帳面積十八町八段八畝二十八步ノ內八
一實測面積十三町五段三畝十四步
下第四六一號
同上大字砂子又字蛙谷地一五番國有原野
一臺帳面積十二步
一實測面積八畝步
下第六八〇號
同上大字小田野澤字滄通四七番國有原野
一臺帳面積十五町步
一實測面積三十九町九段二畝十五步

（未完）

○商業登記

東京區裁判所千住出張所

東京保險株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役山中正道ハ明治四十年四月一日其住所ヲ豐多摩郡千駄ケ谷町三百五十六、七番地ト變更セリ
一取締役佐々木準士ハ明治四十一年五月十四日其住所ヲ東京市本郷區森川町一番地ヘ移轉セリ
一取締役久米彌太郎ハ明治四十一年五月十五日其住所ヲ東京市本郷區駒込千駄木林町百三番地ヘ移轉セリ
右明治四十一年五月二十三日登記

株式會社八王子貯蓄銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役關谷源兵衛ハ明治四十一年五月二十一日辭任ス
右明治四十一年五月二十三日登記

八王子區裁判所

日本紙輸出合資會社登記事項中左ノ通變更ス
社員市川茂三郎ハ出資ノ內金五百圓ヲ市川茂作ニ讓渡シ同人ハ之ヲ讓受ケ入社シタルニ依リ左ノ通變更ス
一金五百圓　有限　横濱市常盤町三丁目三十二番地　市川茂作
一金千圓　有限　同所　市川茂三郎
社員大藪米次郎ハ出資全部ヲ大藪儀三ニ讓渡シ退社シ同人ハ之ヲ讓受ケ入社シタルニ依リ左ノ通變更ス
一金五百圓　有限　東京市日本橋區堀留町一丁目四番地　大藪儀三
右明治四十一年五月二十二日登記

横濱區裁判所

商號登記第四一一號
一商號　榮興合記
一營業ノ種類　印刷業並ニ文房具類販賣業
一營業所　横濱市山下町四十一番地
一商號使用者ノ氏名住所　同市同町同番地淸國臣民　溫瑞琪　梁竹生
右明治四十一年五月二十二日登記

川越區裁判所所澤出張所

所澤精米株式會社登記事項中左ノ通變更ス
一監査役任期滿了ニ付改選ノ結果左記ノ者重任ス
埼玉縣入間郡所澤町大字久米百六十番地北田斧吉
一同縣同郡同町大字同百五十八番地伊藤作藏
右明治四十一年五月二十二日登記

沼田區裁判所桃野出張所

株式會社登記簿第七號
沼田商業株式會社取締役任期滿了ニ付明治四十一年五月十二日改選ノ結果原丑五郎中島助太郎高橋德次郎阿部伊重再選重任セリ
右明治四十一年五月二十二日登記

第7474号　本文

第7474号本文

株式會社登記簿第七號

沼田商業株式會社監査役任期滿了ニ付明治四十一年五月十二日改選ノ結果小野三十郎石坂新次郎再選重任セリ

右明治四十一年五月二十二日登記ス

沼田區裁判所桃野出張所

○東京郵便局外國郵便締切時限

明二十九日敦賀マテ汽車便送同地ヨリ「リームーン」號ヲ以テ浦潮斯德經由西伯利、歐洲及南米（伯剌西爾、亞爾然丁、巴拉圭及烏爾圭）ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十九日午後七時半	二十九日午後五時
通常（書留）	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同上	同上
爲替（聯合）	同日午後四時	二十八日午後四時
爲替（特別）	二十八日午後四時	同上

（備考）露國以外諸國宛通常郵便物ハ本便差立ノ指定アル書狀及葉書ニ限ル

同日神戸マテ汽車便送同地ヨリ博愛丸ヲ以テ上海經由南清地方ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	二十九日午後二時半	二十九日午前十一時半
通常（書留）	同日午後二時	同上
小包	同日午前九時半	二十八日午後十時

（備考）小包ハ清國（獨逸局所在地）宛萬國小包竝ニ威海衛、寧波宛香港小包

明後三十日横濱マテ汽車便送同地ヨリ「ゾレンファルグ」號ヲ以テバンクーバー經由米國及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局	横濱局
通常（普通）	三十日午前七時半	二十九日午後十時	三十日午前九時半
通常（書留）	同日午前七時	同上	同日午前八時半
爲替（聯合）	二十九日午後四時	同日午後一時	
爲替（特別）	二十八日正午十二時	二十八日午前九時	

同日神戸マテ汽車便送同地ヨリ「エルネ、シモン」號ヲ以テ上海經由香港、印度及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	三十日午後九時半	三十日午後六時半
通常（書留）	同日午後九時	同上
價格表記	同上	同上
小包	同日午後七時	同日午後五時
香港爲替	同日午後四時	同日正午十二時

（備考）小包ハ交趾支那、印度、埃及、濠洲、歐洲等宛

同日門司マテ汽車便送同地ヨリ神奈川丸ヲ以テ上海經由香港、印度及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

	東京局	市内各局
通常（普通）	三十日午後七時半	三十日午後五時
通常（書留）	同日午後七時	同上
價格表記	同上	同上
小包	二十九日午後七時	二十九日午後五時
香港爲替	三十日午後四時	三十日正午十二時

（備考）小包ハ清國（獨逸局所在地）埃及、歐洲等宛萬國小包

○同上締切豫告

六月中外國郵便締切豫定日左ノ如シ

一布哇經由歐米諸國宛	三、十四、二十九日頃締切ノ筈
一シアトル經由同上	十、二十四日頃締切ノ筈
一加拿陀經由同上	十一、二十二、三十日頃締切ノ筈
一タコマ經由同上	十九、二十四日頃締切ノ筈
一ポートランド經由同上	二十四日頃締切ノ筈

一西伯利經由ノ歐洲諸國及南米（伯剌西爾、亞爾然丁、巴拉圭及烏爾圭）宛ハ毎週日、火、金曜日ニ、上海竝ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ隨時差出ス方速達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

越後丸　今二十八日正午十二時横濱出帆半田、四日市行（船客ヲ搭載セス）

八幡丸（濠洲行）　明後三十日正午十二時横濱出帆六月二日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

三池丸　同日正午十二時横濱出帆四日市、神戸行

廣島丸　本月三十一日未明横濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行

山城丸　同日午前十時横濱出帆六月三日午前十時神戸出帆上海行（門司、長崎經由）（横濱、神戸棧橋繋留）

加賀丸　六月一日午前十時横濱出帆同五日午前十時神戸出帆門司、上海、香港行（米國線復航）

立神丸　同二日午後四時横濱出帆神戸行

三河丸　同三日未明横濱出帆荻ノ濱、函館、小樽行

兵庫丸　同五日午後二時横濱出帆八丈島、鳥島、父島、母島南中、北硫黄島行

高砂丸　同十日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行

博多丸（歐洲行）　同日正午十二時横濱出帆同十三日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

○同上神戸等出發表

相模丸　明二十九日午前十時神戸出帆門司、大連、芝罘、大沽、牛莊行

神奈川丸（歐洲行）　明後三十日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行

博愛丸　同日午前十時神戸出帆上海行（門司、長崎經由）（神戸棧橋繋留）

神戸丸　六月二日午前十一時神戸出帆宇品、門司、大連行

營口丸　同五日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行

安藝丸（米國行）　同日正午十二時神戸出帆同十日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行（歐米各地ヲ通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス）

弘前丸　同七日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、元山、清津、浦潮斯德行

烏帽子丸　同八日未明神戸出帆門司、香港、新嘉坡、コロンボ寄港孟買行（船客ヲ搭載セス）

臺灣航路

		神戸發正午	門司著	基隆著午前
西京丸	毎月	三日	四日	七日
		十八日	十九日	二十二日

右西京丸ハ神戸鐵道棧橋繋留ニ付キ同所ニテ切符購入乘船ノ便アリ

毎日	青森發	午後十一時（直航）	函館著	翌朝五時
	青森發	午後六時（直航）	室蘭著	翌朝六時

○大阪商船株式會社汽船神戸等出發表

韓國行

大禮丸　明後三十日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司（下關）、釜山、元山、城津、清津行

群山丸　同日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司（下關）、釜山、馬山、木浦、群山、仁川行

安平丸　六月一日午前八時大阪出帆同日午後三時神戸出帆宇品、門司（下關）、仁川、鎭南浦、安東縣行

開城丸　同九日正午十二時大阪出帆翌十日午前十時神戸出帆門司、大連行

清國行

大義丸　本月三十一日午前十時神戸出帆六月一日午後一時門司出帆大連行

天草丸　六月二日正午十二時大阪出帆翌三日午前十時神戸出帆門司、大連行

大信丸　同五日午前六時大阪出帆同日午前十時神戸出帆門司、天津行

鐵嶺丸　同六日正午十二時大阪出帆翌七日午前十時神戸出帆門司、大連行

大智丸　同十三日午前六時大阪出帆同日午前十時神戸出帆門司、天津行

臺灣行

嘉義丸　六月一日午後三時横濱出帆同四日正午十二時神戸出帆宇品、門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行

恒春丸　同七日午後三時横濱出帆同十二日午前八時神戸出帆宇品、門司、基隆、澎湖島、安平、打狗行

臺南丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

臺中丸　毎月十五日、三十日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行

鳳山丸　六月一日午後五時敦賀出帆同三日浦潮斯德著

木曜日午後二時浦潮斯德出發歐洲行急行列車ニ連絡ス

○附錄　今二十八日發刊辭令及廣告各〻四頁

付録

官報第七千四百七十四號附錄

明治四十一年五月二十八日

○辭令

故海軍一等水兵勳八等功七級山本中次郎父
山本　善次郎
故海軍四等水兵同　西尾福松同
西尾　吉次
故海軍二等水兵同　功七級松原助松同
松原　伊三松
故海軍一等水兵同　式木乙吉同
式木　五郎助
故海軍三等水兵同　功七級野坂政清同
野坂　政太郎
故海軍三等機關兵曹勳七等　大上謙造同
大上　正市郎
故海軍二等水兵勳八等功七級堀井彌太郎同
堀井　彌三郎
故海軍一等機關兵同　同　川口庄次郎同
川口　淺藏
故海軍三等機關兵同　三毛竹次郎母
三毛　トノ
故海軍二等信號兵曹勳七等功七級山本五六父
山本　久吉
故海軍三等機關兵勳八等　山田末造母
山田　やす
故海軍二等機關兵曹正八位　濱崎慶三郎妻
濱崎　リツ
故海軍一等水兵勳八等　山崎喜平父
山崎　佐平次
故海軍二等筆記　芦澤龜次郎相續人
芦澤　友三郎
故海軍三等機關兵曹勳七等　關榮治父
關　幾治
故海軍二等兵曹同　山本利太郎相續人
山本　キヌ
故海軍二等機關兵勳八等　松浦靜父
松浦　正治
故海軍一等水兵同　三輪介兄
三輪　錄郎
故海軍三等水兵　木原多一父
木原　龜太郎
故海軍一等水兵勳八等米田武治郎相續人
米田　まさ

故海軍二等水兵同　宮本永次郎父
宮本　定吉
故海軍三等水兵同　内山松次郎同
内山　善松
故海軍二等水兵同　串岡久次郎同
串岡　久助
故海軍一等信號兵曹勳七等　松平康松妻
松平　アイ
故海軍二等兵曹同　森鍋吉兄
森　善吉
故海軍二等水兵　國光篤郎父
國光　太郎吉
同　勳八等功七級杉本龍太同
杉本　石吉
故海軍一等水兵同　同　中北善八同
中北　伊八
故海軍一等機關兵同　古橋松右エ門同
古橋　文六
故海軍三等水兵同　川本春藏同
川本　辰五郎
故海軍四等水兵同　堀部信吉同
堀部　延吉
故海軍一等看護同　小松兼猪相續人
小松　信
故海軍一等信號兵同　箕田喜代松父
箕田忠右衛門
故海軍一等水兵同　小島才次郎相續人
小島　秀三郎
故海軍二等兵曹勳七等功七級日下秀太郎同
日下　修一
故海軍一等機關兵曹同　上木德次郎相續人
上木　義盛
故海軍一等水兵勳八等　宮西近次父
宮西　忠次
故海軍一等機關兵　杉崎安治同
杉崎　龜松
故海軍三等機關兵曹勳七等　志賀光一同
志賀　國太郎
故海軍三等水兵勳八等　秋山喜代治母
秋山　繁於
故海軍一等信號兵　中川武一郎同
中川　ゑ法
故海軍二等水兵勳八等　山崎直龜父
山崎　兼鹿

故海軍一等水兵同　功七級浮田友三郎相續人
浮田　市次
故海軍二等機關兵同　西島政楠父
西島　利吉
故海軍一等機關兵同　奥野貞次郎相續人
奥野　オイチ
故海軍二等水兵　山田助治郎母
山田　いて
故海軍一等水兵勳八等　京村松次郎同
京村　えつ
故海軍二等機關兵同　山口菊松父
山口　源兵衛
故海軍一等水兵同　安室忠吉同
安室　繼造
故海軍一等主厨　岡村猶相續人
岡村　虎男
故海軍三等水兵勳八等　吉田末吉同
吉田　トメ
故海軍三等信號兵曹勳七等功七級荒井三四郎同
荒井　キセ
故海軍三等機關兵曹勳八等同　東原三郎父
東原　喜三次
故海軍三等船匠手勳七等同　箱谷春吉妻
箱谷　シツヱ
故海軍三等兵曹勳八等同　安尾環妹
安尾　薫
故海軍三等信號兵曹同　同　嘉本常藏兄
嘉本　仙吉
故海軍一等信號兵同　同　藤井勝市父
藤井　保太郎
故海軍三等看護手同　同　和田要同
和田　金十郎
故海軍三等機關兵曹同　大石直次郎同
大石　和佐治
故海軍三等機關兵同　脊本七郎母
脊本　チヨ
故海軍二等機關兵同　石崎龜次郎同
石崎　はつ
故海軍一等水兵同　加納庄吉妻
加納　みよ

同　同　中津辰吉母
中津　志ん
故海軍一等兵曹勳七等　酒谷久吉相續人
酒谷　えつゑ
故海軍一等機關兵勳八等　笠原金次郎同
笠原　卯之松
故海軍一等水兵同　武智五郎母
武智　カメヨ
同　石黒金三郎父
石黒　金兵衛
同　勳八等　廣中作楨妻
廣中　フサ
故海軍一等主厨　田羅間高次郎相續人
田羅間　虎
故海軍三等兵曹勳八等　岡本長藏妻
岡本　イチ
故海軍一等機關兵曹勳七等　小森常吉同
小森　富榮
故海軍一等水兵同　青野房吉同
青野　ヨシ
同　勳八等　開原瀨市相續人
開原　キミヱ
故海軍二等水兵同　岡惣吉妻
岡　ツ子
故海軍四等水兵同　橋下泰治相續人
橋下　慶次郎
故海軍一等機關兵同　入梅榮次郎妻
入梅　きく
故海軍一等水兵　島崎長次郎母
島崎　むね
同　米谷中六妻
米谷　タマヱ
故海軍二等水兵勳八等　河村文作母
河村　ノフ
故海軍三等機關兵　盤崎九右衛門同
盤崎　タカ
故海軍二等機關兵勳八等　毛利鶴市父
毛利　鶴吉
同　小畑和三郎同
小畑　與平
故海軍一等兵曹勳七等功七級松浦信次郎男
松浦　益寅
故海軍一等機關兵勳八等同　小野九十九相續人
小野　ハル
故海軍一等看護　柳瀨爲吉父
柳瀨　榮助
故海軍三等水兵勳八等　今田彌三母
今田　ツメ

第7474号　付録

故海軍一等機關兵　同　同　庵原眞三父　庵原新吾郎
故海軍二等水兵同　同　青木馬之助母　青木シメ
故海軍一等水兵同　功七級　芦内櫻松同　芦内ハナ
故海軍二等水兵　石井淸治郎同　石井さため
故海軍一等兵曹勳七等　原田富藏妻　原田ツキ
故海軍二等主厨　林賴熊父　林榮太郎
故海軍一等兵曹勳七等功七級　西川常吉妻　西川セイ
同　同　西森安太郎相續人　西森安義
故海軍二等機關兵勳八等　西野鉄次郎母　西野さだ
故海軍三等水兵　土井岡敬治父　土井岡新藏
故海軍一等兵曹勳七等功七級　大橋八重吉妻　大橋小政
故海軍三等水兵勳八等　渡邊太市父　渡邊藤五郎
故海軍二等兵曹勳七等　多田龜太郎相續人　多田岩
故海軍二等信號兵曹　同　高田兼十父　高田與作
故海軍三等水兵勳八等　田代三喜造父　田代喜兵衛
故海軍二等機關兵曹勳七等　田久保直治郎相續人　田久保文代
故海軍二等水兵勳八等　田添安吉母　田添ふじ
同　同　谷口常三郎父　谷口善太郎
故海軍一等機關兵　長原定治郎妻　長原トク
故海軍三等信號兵曹勳七等　中田百助母　中田登野
故海軍三等機關兵曹　中村廣吉父　中村政藏
故海軍三等兵曹勳七等　中垣萬太郎同　中垣安二郎
故海軍一等信號兵勳八等　内山芳助母　内山スミ
故海軍一等水兵同　上野又一同　上野イチ
同　安岡竹太郎弟　安岡勇吉
同　久保田金之助父　久保田彌次右エ門
故海軍二等機關兵勳八等　安田寅藏同　安田竹市

故海軍一等水兵同　藤本繁三郎同　藤本安市
故海軍三等機關兵曹勳七等　手島敬助同　手島要助
故海軍一等機關兵勳八等　赤澤喜一同　赤澤菊屋
故海軍二等水兵同　齋藤市五郎相續人　齋藤こま
故海軍一等水兵　岸善次郎父　岸武助
故海軍二等信號兵勳八等　三宅友吉同　三宅幸作
故海軍一等水兵同　水本國松同　水本國助
故海軍二等主厨同　增原英祐同　增原猶衛
故海軍二等水兵　山本佐七妻　山本となみ
故海軍二等信號兵勳八等　伊藤音一相續人　伊藤スヤ
故海軍三等機關兵曹勳七等功七級　新開佐七父　新開治郎吉
故海軍三等機關兵勳八等　西谷由妻　西谷ふで
故海軍二等信號兵　小泉龜吉父　小泉寛太郎
故海軍一等水兵勳八等　瀨尾求馬父　瀨尾玉城
故海軍二等機關兵同　西尾九平同　西尾小一郎
故海軍一等水兵同　神野梅吉兄　神野大吉
故海軍二等兵曹勳七等　池ケ谷寅右衛門母　池ケ谷いわ
故海軍三等機關兵曹　富田重藏兄　富田蘇登
故海軍一等水兵　藤井福松相續人　藤井廣吉
故海軍二等兵曹勳七等　畑中恒松父　畑中濟六
故海軍二等機關兵勳八等　伊藤德次郎同　伊藤安次郎
故海軍一等水兵同　奥本淺吉相續人　奥本茂雄
故海軍三等機關兵　梶谷忠四郎兄　梶谷新一郎
故海軍三等水兵　越智正行父　越智忠藏

故海軍一等機關兵　鬼頭由三郎同　鬼頭治平
故海軍三等水兵　龍神松太郎同　龍神梅吉
故海軍三等信號兵　奥野省三同　奥野加賀次郎
故海軍一等機關兵　濱口松之助同　濱口勘吉
同　花野岸太郎同　花野夫治郎
故海軍三等水兵　川合傳左衛門同　川合吉次郎
故海軍一等兵曹　增田兼松母　增田テル
故海軍三等水兵　田中善五郎父　田中善四郎
故海軍二等船匠手　下田丈吉相續人　下田歌子
故海軍一等水兵勳八等功七級　田中乙五郎妻　田中むめ
同　同　同　北潟善吉相續人　北潟善松
故海軍一等機關兵　同　同　宮本秀一父　宮本孫右衛門
同　同　同　平井長太郎母　平井ツギ
故海軍二等水兵同　同　吉川幸治郎父　吉川德兵衛
故海軍二等兵曹勳七等同　秋本鹿藏母　秋本フサ
故海軍一等兵曹同　同　松本庄吉妻　松本セン
同　同　同　田尾幸藏兄　田尾長次郎
同　同　同　藏重重吉相續人　藏重寅一
故海軍三等兵曹勳八等同　岩本慶助妻　岩本きく
同　同　同　吉井好藏父　吉井平藏
同　同　同　森下淺治郎母　森下しな
故海軍一等機關兵曹勳七等同　湊治平女　湊英子
故海軍二等機關兵曹同　同　三吉惣吉父　三吉政藏
同　勳八等同　町田福三郎同　町田九左衛門
故海軍三等機關兵曹同　同　秋定秋太郎母　秋定ナヲ
同　同　同　林岩吉父　林惣次

同　同　同　田中富五郎母　田中スミ
同　同　同　上原岩吉父　上原關五郎
同　同　同　青山與太郎同　青山權右衛門
同　同　同　野田京三郎同　野田德左衛門
故海軍一等水兵同　同　三宮竹馬同　三宮喜之助
同　同　同　中村市郎兵衛母　中村セく
同　同　同　平出淸治父　平出芳藏
同　同　同　寺田永作同　寺田平左衛門
故海軍一等機關兵　同　同　末永新八祖母　末永キク
同　同　同　松島淸太郎相續人　松島きゑ
故海軍二等機關兵　同　同　石井儀一父　石井榮藏
同　同　同　西地菊次郎同　西地寅吉
故海軍二等兵曹勳七等功六級　同　中村勘藏同　中村兵次
故海軍一等水兵勳八等功七級　同　藤田豐吉同　藤田菊治
同　同　同　尾越柳一同　尾越半十郎
同　同　同　貝原丈四郎同　貝原仲八
同　同　同　高橋初太郎相續人　高橋治三郎
同　同　同　池田作五郎父　池田治作
故海軍三等水兵同　同　林謙治同　林種藏
同　同　同　玉井嘉平同　玉井次郎吉
同　同　同　藤井元市母　藤井岩野
故海軍一等水兵同　同　櫻井年松母　櫻井みよ
同　同　同　猪熊惣平父　猪熊佐次郎
故海軍三等水兵同　同　井口定市同　井口勘作
故海軍一等水兵同　同　宮腰松造母　宮腰きよ
同　同　同　宗田宗太郎父　宗田松十郎
同　同　同　芝田五十吉同　芝田與八

同　同　同　中南源左エ門同　中南久治郎
同　同　同　伊藤菊次郎父　伊藤善七
同　同　同　中野甚太郎母　中野やゐ
故海軍一等機關兵　同　同　稻葉織作父　稻葉喜兵衛
故海軍一等水兵同　同　鋤柄仁右衛門母　鋤柄たね
（各通）
故海軍三等兵曹同　同　永坂竹二郎母　永坂きよ
故海軍一等水兵同　同　兼石新作父　兼石作次郎
同　同　同　玉秋文吉同　玉秋峯藏
故海軍五等水兵　小松原由太郎父　小松原廣吉
故海軍四等水兵　西野保二同　西野順平
同　上杉眞二同　上杉佐助
故海軍一等水兵　高橋鎌治兄　高橋由藏
同　岡野孝七郎相續人　岡野まつ枝
故海軍二等水兵　山地千次郎妻　山地シゲ
故海軍四等水兵　橋本格郎父　橋本藤太郎
故海軍五等水兵　廣瀨格之助同　廣瀨音吉
同　田中房助同　田中幹助
故海軍一等兵曹勳七等功七級　池田貞治妻　池田フサ
同　同　同　小倉藤八郎同　小倉シナ
同　同　同　本田次郎兵衛同　本田芦野
同　同　同　萬壽壯之助父　萬壽嘉三次
同　同　同　中元市之助男　中元秀男
同　同　同　西田萬太郎父　西田淸太郎
故海軍一等機關兵曹勳七等功七級　古川猪之助妻　古川アクリ
同　同　同　竹下幾孝相續人　竹下美奈
同　同　同　内村龍之助妻　内村ヱイ
同　同　同　木ノ下仁右衛門相續人　木ノ下阿里

同　同　同　岩下彌次郎父　岩下關右衛門
同　同　同　木場與三次兄　木場與三郎
同　同　同　安留治兵衛兄　安留初太郎
同　同　同　濱田岩熊父　濱田盛右衛門
同　同　同　兒玉利明同　兒玉利永
同　同　同　松永源二母　松永チヨ
故海軍一等看護手　同　橋口賀之助妻　橋口ミテ
故海軍一等厨宰同　功七級　竹下小吉相續人　竹下庄一
故海軍二等兵曹同　增田寶同　增田タツ
同　同　功七級　脇田精治相續人　脇田吉次郎
同　同　同　野口卯之助母　野口喜和
同　同　同　土橋兼吉妻　土橋トメ
同　同　同　朴正熊父　朴正太
同　同　同　遠藤謂三郎相續人　遠藤タケ
同　同　同　吉原賦次郎父　吉原新左衛門
同　同　同　坂上喜兵衛母　坂上ミツ
故海軍二等信號兵曹勳七等　兒玉喜市父　兒玉武兵衛
故海軍二等機關兵曹同　功七級　圖師熊太郎同　圖師喜之助
同　同　同　兒島仙一妻　兒島アイ
同　同　岩井田善太相續人　岩井田磯吉
同　同　功七級　久永市之助父　久永善四郎
同　同　坂下長次郎相續人　坂下波津
同　同　德丸藤次郎男　德丸義春
故海軍三等兵曹同　福瀨傳太郎母　福瀨ハツ
同　同　中釜龍吉同　中釜須惠
同　從七位同　功七級　町田軍治父　町田杢左衛門

同　同　同　同　坂元德右衛門妻　坂元フヂノ
同　勳八等同　成枝五郎左エ門父　成枝萬助
同　同　同　石塚源兵衛父　石塚源右衛門
同　同　同　富吉龍助同　富吉郷八
同　同　折田敬藏同　折田庄藏
同　同　功六級　平野源次郎同　平野辰之助
同　同　功七級　有田助市母　有田以勢
同　勳七等　義牛熊男　義浦二
故海軍三等船匠手　同　山崎茂吉妻　山崎ユイ
同　勳八等　飯田彥助母　飯田加尾
故海軍三等機關兵曹勳七等　大堂惠吉父　大堂辰之進
同　同　春山二次郎相續人　春山源左エ門
同　同　有村新藏父　有村政右衛門
同　從七位勳八等功七級　野元佐太郎同　野元喜三次
同　同　同　二宮淼一母　二宮ミヨ
同　勳七等　戸崎喜右衛門父　戸崎岩次郎
同　同　湯淺圓彥相續人　湯淺愛二
同　同　加治屋吉次弟　加治屋藤吉
故海軍一等水兵勳八等功七級　梅北政彥父　梅北嘉左衛門
同　同　鄭正貞同　鄭虎悅
同　勳七等　内山力矢同　内山盛輔
同　勳八等功七級　川原喜助母　川原シヲ
同　同　同　野元貞助兄　野元稻吉
同　勳七等　德永善助相續人　德永忠芳
同　勳八等功七級　岡別府傳袈裟同　岡別府フユ
同　同　同　小松龍助父　小松末吉

同　同　同　庵地七二同　庵地[illegible]八
同　同　同　村田熊[illegible]同　村田[illegible]
同　同　功七級　西野常吉同　西野仁助
同　同　同　山崎敬次郎[illegible]　山崎四郎助
同　同　同　川畑六右衛門[illegible]　川畑[illegible]之助
故海軍一等信號兵　同　同　仲谷惣吉父　仲谷選作
同　同　同　堂平[illegible]　[illegible]
同　同　同　芦谷源[illegible]　芦谷[illegible]
故海軍一等機關兵　同　功七級　松角九郎[illegible]　松角[illegible]次郎
同　同　同　[illegible]
故海軍一等機關兵　同　白尾國丸母　白尾[illegible]
同　同　同　長井万次郎同　長井[illegible]
同　同　同　玉利[illegible]　玉利[illegible]
同　同　同　西川[illegible]　西川[illegible]
同　同　同　郡山[illegible]　郡山[illegible]
同　同　同　新山[illegible]　新山[illegible]
同　同　同　瀨戸山[illegible]　瀨戸山[illegible]
同　同　功七級　日高政[illegible]　日高[illegible]
同　同　同　站地[illegible]　站地[illegible]
故海軍一等機關兵　同　功七級　上村清八[illegible]　上村[illegible]
同　同　同　坂下猪之助[illegible]　坂下源太郎
故海軍一等主厨　同　同　野村八郎[illegible]　野村[illegible]
同　同　同　竹島[illegible]　竹島[illegible]
故海軍二等水兵同　同　同　鮫島[illegible]　鮫島[illegible]
同　同　同　原口平十[illegible]　原口[illegible]
同　同　同　稻元盛吉[illegible]　稻元[illegible]

第 7474 号　付録

同	同	中村武雄父	中村助次郎
同	同	重久政彦同	重久彦次郎
同	同	松元岩次郎同	松元郷太夫
同	同	堂薗三次郎同	堂薗伊三
同	同	前屋紋介母	前屋龜
故海軍一等水兵		西原長次郎同	西原計佐
故海軍二等水兵		清川源次郎父	清川助太郎
同	勳八等功七級	榮國七母	榮愛松
同	同 同	森水袈吉父	森水金太郎
故海軍一等水兵	同	德田吉之助同	德田喜左衛門
故海軍二等水兵	同 功七級	上野盛同	上野十太夫
同	同 同	今村庄兵衛兄	今村矢熊
同	同 同	內堀六兵衛父	內堀新太
同	同 同	原田東十郎母	原田ツタ
同	同	紙屋早市同	紙屋ヨ子
同	同	相德豐行同	相德タ子
同	同	木佐木孟吉相續人	木佐木國義
同	同	中野與吉父	中野伊兵衛
同	同	增岡彌市郎同	增岡權次郎
同	同	上敷領甚五郎同	上敷領伊勢市
同	同	西井上吉之助母	西井上カメツル
故海軍二等信號兵		今藤壯吉父	今藤矢五郎
故海軍二等機關兵	勳八等	黑木賓滿相續人	黑木スガ
同	同	山神金之助兄	山神喜之助
同	同	篠山善熊父	篠山藤左衛門
同	同	柏木永吉同	柏木袈裟助
同	同	今井圓相續人	今井嘉三

同	同	川野實滿父	川野覺四郎
同	同	和田道雄女	和田シヅ
同	同	西田藏助父	西田早助
同	同	森田紫夫兄	森田慶一郎
同	同	日高藤一郎母	日高モヨ
同	同	谷山安千代父	谷山清太郎
同	同	中村助太郎母	中村ケサカメ
故海軍二等機關兵	同	川路榮吉父	川路藤八
故海軍二等看護	同	今村藤次郎母	今村マンカメ
故海軍二等主厨	同	尾崎惣七父	尾崎庄松
同	同	木下吉之助母	木下キク
故海軍三等水兵	同	山下清八父	山下盛總
同	同	逆瀬川惠藏同	逆瀬川源右衛門
同	同	上野喜藤太同	上野藤四郎
同	同	朴英之丞同	朴檑官
同	同	森重高法同	森重源五郎
同	同	上村常次郎同	上村駒助
同 正八位	同 功七級	藤崎左久良母	藤崎ヤエ
同		小園仙之助父	小園吉藏
同	勳八等	瀬戸山直矢同	瀬戸山喜八
同		小原虎吉同	小原仲藏
同		山崎伴二同	山崎伴助
故海軍三等信號兵	勳八等	中島正純同	中島與左衛門
故海軍三等主厨	同	吉永務同	吉永普助
故海軍四等水兵	同	內田助太郎母	內田キセ
同	同	美坂岩彥父	美坂新太郎

同	同	大久保喜藏同	大久保長次郎
同	同	桃北庄吉母	桃北ナツ
同	同	米盛森右衛門父	米盛長次郎
同	同	原口正次郎同	原口仲次郎
同	同	米増宗一兄	米増源五郎
同	同	立迫計佐右衛門父	立迫與四郎
同	同	篠原紫榮母	篠原テイ
同	同	浮邊龜次郎相續人	浮邊ハル
同	同	染川秀夫父	染川伊三次
同		中原寅二相續人	中原從二
故海軍四等機關兵	勳八等	弓削順輔父	弓削與之助
同	同	森秋吉兄	森瓶
同	同	武元榮藏父	武元勇助
同	同	松崎才二同	松崎市藏
同	同	宮里豐治同	宮里佐一郎
同	同	岩井迫吉次同	岩井迫彥太郎
同	同	川原圓賑吉同	川原圓善吉
故海軍一等兵曹	勳七等功六級	中村佐一郎妻	中村トミ
同	同	福元幸左衛門父	福元源藏
故海軍三等機關兵曹	同	奧平德左衛門相續人	奧平ツルケサ
故海軍四等水兵		別府市兵衛父	別府長次郎
故海軍一等機關兵曹	勳七等功七級	四端和聰同	四端與市
故海軍三等兵曹		宮下貨藏同	宮下與兵衛
故海軍三等機關兵曹	勳八等功七級	川村喜作兄	川村喜右衛門
同	同	益戸類藏同	益戸榮太郎
故海軍三等兵曹	勳七等功七級	笹方善市父	笹方市松

故海軍一等水兵	勳八等	堀口新吾同	堀口新助
同	同 功七級	知花濟一同	知花濟行
同		濱口島太郎兄	濱口初藏
同	勳八等功七級	東莊五郎父	東茂平
同	同 同	萬代彥市弟	萬代音吉
同	同	中山久造父	中山國松
故海軍一等機關兵	同	山內興保同	山內興起
同	同	阿部熊次郎父	阿部民之助
同	同	大崎文彌同	大崎源雄
同	同 功七級	高橋運治同	高橋善兵衛
同	同	佐藤定治同	佐藤林治郎
同	同	藤澤朋太郎兄	藤澤喜三右エ門
同	同	堀田政次郎父	堀田太吉
同	同 功七級	象瀉半次郎同	象瀉治三郎
同	同	高橋治三郎兄	高橋政二郎
同	同 功七級	阪口力松弟	阪口寅吉
同	同	三浦金治郎兄	三浦駒太郎
故海軍二等水兵		田淵信行母	田淵豐
同	勳八等功七級	松宮權藏父	松宮清右衛門
同	同	湊川三四郎同	湊川隆藏
同	同	上田德松父	上田淺七
同	同	兼平重吉同	兼平爲吉
同	同 功七級	早金榮次郎同	早金庄三郎
同	同	村上藤治郎相續人	村上とゝを
同		鈴木伊太郎妻	鈴木タケ

明治三十七八年從軍記章條例ニ依リ海軍大臣ノ奏請ヲ經テ明治三十九年三月三十日勅定ノ從軍記章ヲ交付シ以テ之ヲ保存セシム（三十九年四月十一日賞勳局）

官報第七千四百七十四號附錄

明治四十一年五月二十八日

○廣告

○商業登記

株式會社登記簿第一册第二號ヘ左ノ如ク登記ス

一商號 岩船瓦斯動力株式會社
一本店 新潟縣岩船郡岩船町大字岩船千二百三十八番地
一設立ノ年月日 明治四十一年五月十五日
一目的 精米業製粉業其他瓦斯動力ノ供給
一資本ノ總額 金一万七千五百圓
一一株ノ金額 金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額 金十二圓五十錢
一公告ヲナス方法 所轄裁判所カ商業登記事項ヲ公告スル新聞紙ニ一回以上
一取締役ノ氏名住所
岩船郡岩船町大字岩船二百八十七番地 竹內政治郎
同所四十一番戸 松田中
同所五百六十番戸 津島惣三郎
同所千二百十六番地 村山良之丈
同所四百六十九番戸 伴田慶太郎
一監査役ノ氏名住所
岩船郡岩船町大字岩船五百三十七番戸 中山又太郎
同所千九百十七番地 美濃源六
一存立ノ時期又ハ解散ノ事由 存立ノ時期開業ノ日ヨリ滿二十箇年

明治四十一年五月二十日

村上區裁判所

一川佐商店ノ商號ハ明治四十一年四月十八日使用者死亡ニ因リ廢止ス

商號登記簿第一册八號
一商號 川佐商店
一營業ノ種類 米穀賣買及委託販賣
一營業所 長岡市表五ノ町四百四十四番地
一商號使用者ノ氏名住所 長岡市表五ノ町四百四十四番地 川上佐太郎

右明治四十一年五月二十日登記

長岡區裁判所

合名會社設立登記 商號、津名煙草元賣捌合名會社 本店、津名郡洲本町ノ內外通町乙二百三十九番地ノ二 目的、煙草元賣捌ノ事務ヲ營ムヲ以テ目的トス 設立、明治四十一年五月十八日 社員ノ住所氏名出資ノ種類及價格、金五千六百圓津名郡洲本町ノ內外通乙二百三十九番地ノ二八木五平、金二千圓同郡同町ノ內同町六十二番地赤松又市、金千六百圓同郡來馬村ノ內久留麻村五百十七番屋敷武田俊夫、金八百圓同郡山良町ノ內山良組千四百四十三番地田中德太郎

右明治四十一年五月十九日登記

洲本區裁判所

鐘淵紡績株式會社社債償還登記 第五回抽籤執行ノ上金八万五千圓社債一部償還セリ

右明治四十一年五月十九日登記

洲本區裁判所

株式會社讃岐銀行本店ヲ明治四十一年五月八日 靜岡縣榛原郡勝間田村靜谷八百二番地ヨリ移轉シタルニ付左ノ通登記ス

一商號 株式會社讃岐銀行
一本店 仲多度郡多度津町大字多度津乙三百四十六番地
一目的 普通銀行業
一設立ノ年月日 明治二十三年十一月二十二日
一資本ノ總額 金一万圓
一一株ノ金額 金二十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額 金二十圓
一公告ヲ爲ス方法 所轄登記所ノ公告スル新聞紙及店頭ニ揭ケ公告ス
一取締役ノ氏名住所
綾歌郡坂出町九百三十七番戸 津島吉之助
同郡坂出町千三百九十九番戸 須崎悅興
同郡同町千七十三番戸 龜井專助
一監査役ノ氏名住所
綾歌郡坂出町千四百九番地 須崎大三郎
同郡同町千五百二十三番地 津島駒吉
一存立ノ時期 明治四十二年十一月十七日迄

右明治四十一年五月十九日登記

丸龜區裁判所多度津出張所

名古屋市中區鐵砲町一丁目六番地八木合資會社登記事項中左ノ通變更ス

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金四万五千圓 有限 名古屋市中區南鍛冶屋町二丁目五番地 八木平兵衛
右ハ持分金七万五千圓ノ內金三万圓ヲ八木元三ニ讓渡タルニ依リ減額ス
一金二十四万圓 無限 名古屋市中區南鍛冶屋町二丁目五番地 八木元三
右ハ持分二十一万圓ノ處金三万圓ヲ八木平兵衛ヨリ讓受タルニ依リ增額ス

合名會社本店設立登記

一商號 山田合名會社
一本店 名古屋市中區鐵砲町三丁目二十八番地
一目的 小間物雜貨販賣
一設立ノ年月日 明治四十一年五月十九日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金六百圓 名古屋市中區鐵砲町三丁目二十八番地 山田そゑ
一金八百圓 同市中區鐵砲町三丁目二十八番地 山田市太郎
一金六百圓 同市中區南園町一丁目二番地 太田かね
一存立ノ時期 無期限

以上明治四十一年五月二十日登記

右公告ス

明治四十一年五月二十日

名古屋區裁判所

合名會社支店設立登記

一商號 合名會社惠那商會
一本店 惠那郡中津町中津川四百四十六番戸
一支店 同郡岩村町二百六十六番戸
一目的 煙草元賣捌業
一設立ノ年月日 明治四十一年四月二十八日
一代表者員ノ氏名 松田市次郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格
一金五千四百圓 惠那郡中津町中津川四百五十五番戸 太田政太郎
一金四千三百圓 同所二千二十六番地 藤井げん
一金四千三百圓 惠那郡岩村町二百九十三番戸 松田市次郎
一金千圓 同所三百十六番戸 富永又吉

右明治四十一年五月二十日登記

御嵩區裁判所岩村出張所

第7474号付録

合名會社解散ノ登記
一合名會社林屋組ハ明治四十一年五月十日總社員ノ同意ニ依リ解散セリ
一合名會社林屋組ノ清算人ヲ左ノ如ク選任セリ　金澤市長町河岸五十二番地林屋次三郎　金澤市百姓町百八番地友田安治
右明治四十一年五月二十日登記
金澤區裁判所

株式會社設立登記
一商號日本硬質陶器株式會社　一本店金澤市長町河岸五十二番地　一目的硬質陶器ノ製造販賣　一設立ノ年月日明治四十一年五月十一日　一資本ノ總額金八十万圓　一一株ノ金額金五十圓　一各株ニ付拂込ミタル株金額金十二圓五十錢　一公告ヲ爲ス方法所轄區裁判所ノ商業登記公告ニ供スル新聞紙ヲ以テ之ヲ爲ス　一取締役ノ氏名住所金澤市芙木町五十八番地宮野直道東京市四谷區東信濃町十番地原知信東京市芝區高輪南町四十三番地荻原芳明金澤市長町六番丁五十六番地大森孝次郎同市水溜町二番地清水彩之同市八坂十三番地横瀨錦之同市長町河岸五十二番地林屋次三郎　一監查役ノ氏名住所東京府豐多摩郡大久保村字西大久保三百八十番地杉原陟三郎東京市芝區高輪南町五十三番地岩崎一同市下谷區上根岸八十二番地大脇康直
右明治四十一年五月二十日登記
金澤區裁判所

株式會社廣島實業銀行可部支店登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十一年四月十五日監查役任期滿了ノ處左ノ者重任セリ
廣島市鍛治屋町七十番邸　三谷龜太郎
同市同町百七十六番邸　檜山　篤一
廣島縣安佐郡川內村大字中調子二百四十番邸　横槃　圭造
右明治四十一年五月二十日登記
廣島區裁判所可部出張所

株式會社變更登記
津屋崎馬車鐵道株式會社ヲ明治四十年十月二十日株主總會ニ於テ津屋崎軌道株式會社ト名稱ヲ變更セリ
右明治四十一年五月十二日登記
福岡區裁判所福間出張所

株式會社變更
津屋崎軌道株式會社取締役立石準ニ死亡跡補缺選擧ニ依リ福岡縣宗像郡吉武村武丸千十三番地立石新就任ス
右明治四十一年五月十二日登記
福岡區裁判所福間出張所

株式會社登記變更
津屋崎軌道株式會社監查役任期滿了ニ付明治四十一年四月二十九日株主總會ニ於テ左ノ者當選就任ス
監查役再選　福岡縣宗像郡津屋崎町津屋崎九百三十二番地　豐村喜三郎
同　同縣同郡東鄉村東鄉千十三番地　川島　田造
右明治四十一年五月十二日登記
福岡區裁判所福間出張所

明治四十一年五月十日株式會社宮野銀行株金拂込ニ付左ノ通登記ス
一各新株ニ付金六圓五十錢拂込ニ付各新株ニ付拂込タル株金額ヲ十九圓ニ變更ス
右明治四十一年五月十九日登記
飯塚區裁判所大隈出張所

富良野產業株式會社登記事項中監查役任期滿了ニ付明治四十一年五月十二日臨時株主總會ニ於テ改選重任シタルニヨリ左ノ通變更ス
監查役　石狩國空知郡下富良野村字下富良野市街地三百二十七號　平賀　音藏
監查役　兵庫縣三原郡倭文村ノ內長田村百十九番屋敷　加藤增次郎

株式會社北海道拓殖銀行旭川支店登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十一年四月二十九日第二回社債ノ內金四万二百圓ヲ償還シタルニヨリ社債ノ總額ヲ金百九十五万九千八百圓ト變更ス

登記第十七號株式會社設立登記
一商號　學田倉庫株式會社
一本店　北海道石狩國空知郡下富良野村市街地五百二十五番地
一目的　倉庫營業及金錢貸付業並ニ物品ノ依託販買業
一設立年月日　明治四十一年五月四日
一資本總額　金六千圓
一一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル金額　金十二圓五十錢
一公告ヲナス方法　北海旭新聞ニ掲載ス
一取締役ノ氏名住所　石狩國空知郡下富良野村字下富良野市街地五百二十五番地　横山金之助
右同所　秋山　來助
右同所　平子　岩藏
一監查役ノ氏名住所　石狩國空知郡下富良野村五百二十五番地　上坂　伊松
右同所　中村今治郎
一開業前ニ配當スヘキ利率ナシ
一存立時期　設立ノ日ヨリ向フ二十年間
右明治四十一年五月十九日登記
旭川區裁判所

株式會社根室銀行帶廣支店同利別太支店登記事項中左ノ通變更ス
取締役安田善八郎足立素彥ハ明治四十一年五月十二日任期滿了ノ處同年同月十日臨時株主總會ニ於テ再選重任ス
右明治四十一年五月十六日登記
帶廣區裁判所

株式會社根室銀行帶廣支店登記事項中左ノ通變更ス
株式會社根室銀行浦河支店ヲ明治四十一年五月十日日高國浦河郡浦河町大字浦河村六十一番地ヘ移轉ス
右明治四十一年五月十八日登記
帶廣區裁判所

○法人登記

社團法人早稻田大學登記事項中左ノ如ク追加ス
一明治四十一年五月九日社員過半數ノ決議ニヨリ解散ス
一清算人ノ氏名住所　東京市小石川區關口町二百番地　高田　早苗
同市麴町區飯田町三丁目二十八番地　天野　爲之
同市牛込區牛込水道町三十八番地　市島　謙吉

法人登記簿第一冊第九號
一名稱　財團法人早稻田大學
一事務所　豐多摩郡戶塚村大字下戶塚六百四十七番地
一目的　各種專門ノ學術ヲ教授ス
一設立許可年月日　明治四十一年五月九日
一存立ノ時期　定メナシ
一資產ノ總額　金二万六千四百八十四圓
一出資ノ方法　內外一般ノ寄附ニ因ル
一理事ノ氏名住所　東京市小石川區關口町二百番地　高田　早苗
明治四十一年五月二十一日登記
東京區裁判所淀橋出張所

法人設立　名稱私立京都女子手藝學校　事務所京都市上京區中立賣通西洞院東入三丁町四百五十四番地ノ一　目的第一本校ハ女子ニ適應スル技藝竝ニ日常必須ノ學術ヲ授クルヲ以テ目的トス第二本校ハ第一ノ目的ヲ擴充シテ女子教員ノ養成ヲ爲ス　設立許可ノ年月日明治四十一年四月二日　資產ノ總額金二万二百八十圓九十三錢內一万六千四百三十九圓六十三錢不動產三千八百四十一圓三十錢動產　出資ノ方法有志者寄附金及物件　理事ノ氏名住所京都市上京區上長者町西洞院東入土御門町三百十二番地中森孟夫
右明治四十一年五月二十一日登記
京都區裁判所

○產業組合登記

產業組合登記簿第一冊第二十一號
一名稱　有限責任東京市購買組合
一組織　有限責任
一事務所　東京市麴町區有樂町二丁目一番地東京市役所內
一目的　本組合ハ生計ニ必要ナル物品ヲ購買シ之ヲ組合員ニ分ツヲ以テ目的トス
一設立許可ノ年月日　明治四十一年二月十日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ一口ニ付金二圓トス第一回拂込後ハ剩餘金ヲ拂込ニ充ツル外每月金五十錢宛ヲ拂込モノトス
一理事ノ氏名住所　東京市本鄉區妻戀町七番地　椋川忠兵衛
同市赤阪區青山北町三丁目六十八番地　安藤　彪雄
同市麴町區永田町二丁目七十六番地　玉井　幸太
同市本鄉區本鄉五丁目二十五番地　島田　俊雄
同市赤阪區青山北町四丁目四十四番地　松尾　儀一
一監事ノ氏名住所　東京市赤阪區中之町二番地　見山　正賀

產業組合登記簿第一冊二十號
一名稱　有限責任購買組合城東社
一組織　有限責任
一事務所　東京市深川區西大工町四十番地
一目的　組合員ノ生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルヲ以テ目的トス
一設立許可ノ年月日　明治四十一年五月七日
一出資一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ二箇年以內ニ理事ノ指定スル方法ニ依リ拂込ヲ爲スコトヲ要ス
一理事ノ氏名住所　東京市深川區富岡門前仲町四十七番地　小川吉左衛門
同市同區龜久町二番地　關口　吉藏
同市同區伊勢崎町三十六番地　小林　勘藏
同市同區西平野町六番地　牛島豐太郎
同市京橋區本湊町二十二番地　千葉　諒二
一監事ノ氏名住所　東京市深川區富岡門前仲町二十四番地　林伊勢次郎
同市同區洲崎辨天町一丁目一番地　金子由太郎
右明治四十一年五月二十二日登記
東京區裁判所

有限責任小糸購買販賣組合登記事項中左ノ通變更
一監事改選再任ス
右明治四十一年五月二十二日登記
木更津區裁判所佐貫出張所

無限責任結城融通信用組合登記事項中左ノ如ク變更ス
一理事氏名住所　結城郡結城町大字結城六百二十五番地　鈴木　新平
同三百四番地　砂岡四郎平
同二百七十七番地　田中　茂吉
同二百七十四番地　小池　駒吉
一監事氏名住所
結城郡結城町大字結城六百三十一番地　小倉廣三郎
同四百十二番地　逆井和四郎
右改選ニ因リ變更ス
明治四十一年五月二十日
下妻區裁判所結城出張所

產業組合登記第一號
有限責任蠶絲販賣組合有誠社登記事項中理事及監事滿期改選ニ依リ左ノ通變更ス
一理事ノ氏名住所　長野縣小縣郡中鹽田村大字保野百二十九番地　遠藤用治郎
同縣同郡同村舞田六百三十五番地　北條五郎右衛門
同縣同郡同村三百六十五番地　片山　丑藏
同縣同郡同村二百三十九番地　矢幡　彌重
一監事ノ氏名住所　長野縣小縣郡西鹽田村百五十七番地　宮澤丑太郎
同縣同郡浦里村五百七番地　井澤榮治郎
同縣同郡泉田村百九番地　川村　梅吉
同縣同郡東鹽田村三百六番地　宮原　三平
同縣同郡青木村三十四番地　本田與四郎
同縣同郡富士山村二百九十六番地　室賀　四郎
同縣同郡中鹽田村百四十九番地　高野甚五兵衛
右明治四十一年五月二十一日登記
上田區裁判所本鄉出張所

一設立　二名稱有限責任東本梅信用購買販賣組合　三組織有限責任　四事務所京都府船井郡東本梅村大字南大谷小字生子田六十九番地　五目的(一)組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムル事(二)農事及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之レヲ組合員ニ賣却スル事(三)組合員ノ委托ヲ受ケ其生產シタル農產物ヲ販賣スル事　六設立許可ノ年月日明治四十一年四月十一日　七出資一口ノ金額金二十圓　八出資拂込ノ方法第一回拂込金額ハ金二圓トシ第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ出資各口ニツキ每年一月末金二圓宛全額ニ滿ツル迄拂込事　九理事ノ氏名住所京都府船井郡東本梅村字南大谷六十二番戶中井平六同府同郡同村字赤熊六十九番戶日下部新之助同府同郡同村字大內八番戶中西兵之助同府同郡同村字若森二十番戶加舍信之助同府同郡同村字中野十番戶法貴金治郎同府同郡同村大字松熊小字ソトハ二番地野々口市平　十監事ノ氏名住所京都府船井郡東本梅村字赤熊四十一番戶中川甚五兵衛同府同郡同村字大內三十八番戶中西徒太郎　十一存立時期三十箇年
右明治四十一年五月二十一日登記
園部區裁判所

有限責任菅原購買組合登記事項中出資拂込ノ方法ヲ左ノ通變更
出資第一回拂込ハ一口ニ付金一圓第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外總會ニ於テ必要ト認ムル時拂込ヲナスコト
右明治四十一年五月二十一日登記
枚方區裁判所

產業組合設立登記　登記第二號　名稱無限責任三方信用購買販賣組合　組織無限責任　事務所兵庫縣宍粟郡三方村役場內　目的組合員ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシメ又ハ農業及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却シ及組合員ノ委托ヲ受ケ其生產シタル物品ヲ販賣スルヲ以テ目的トス　設立許可ノ年月日明治四十一年四月四日　出資一口ノ金額金十五圓　出資拂込ノ方法第一回拂込金ハ一口ニ付金一圓五十錢トス以後剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資一口ニ付六月十二月各二十日迄ニ金七十五錢ヲ出資額ニ達スル迄拂込ヲナスモノトス　理事ノ住所氏名兵庫縣宍粟郡三方村ノ內公文村十一番屋敷秋田政規同縣同郡同村ノ內同村五十九番屋敷進藤信之助同縣同郡同村ノ內河原田村七十番屋敷森下萬藏同縣同郡同村ノ內同村十番屋敷山本近藏同縣同郡同村ノ內福野村四十一番屋敷田路直八同縣同郡同村ノ內三方町村八十八番屋敷太田嘉助同縣同郡同村ノ內同村三十八番屋敷小田親　監事ノ住所氏名兵庫縣宍粟郡三方村ノ內三方町村四十一番屋敷小阪致英同縣同郡同村ノ內公文村百三十二番屋敷小椋松太郎同縣同郡同村ノ內森添村十二番屋敷木村宇三郎同縣同郡同村ノ內河原田村十四番屋敷小林賢之助同縣同郡同村ノ內福野村二百七十番地ノ一田路祐太郎　存立期間設立許可ノ日ヨリ二十箇年
右明治四十一年五月二十日登記
龍野區裁判所安積出張所

有限責任厚生社信用販賣購買組合登記事項變更
一理事古川與惣平ハ明治四十一年五月二十二日辭任セリ
右明治四十一年五月二十二日登記
彥根區裁判所河瀨出張所

第7474号付録

第7474号付録

産業組合設立登記

一名稱　有限責任萩原信用組合
一組織　有限責任
一事務所　香川縣三豐郡萩原村千四百八十三番地ノ一
一目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
一設立許可ノ年月日　明治四十一年四月二十一日
一出資金一口ノ金額　金十圓
一出資拂込ノ方法　出資ノ第一回拂込金額ハ一口ニ付金一圓トス但シ新ニ加入スルモノニ付テハ現在組合員ノ拂込出資額ト同額トス第一回拂込後ハ剰餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資各口ニ付毎月十日金一圓宛ヲ拂込モノトス
一理事ノ氏名住所
香川縣三豐郡萩原村二十番戸　高丸伊平
同所二千七百七十五番地　清水金次
同所二百四十三番戸　谷馬太郎
同所二千七百五十二番地　清水茂三
同所二千三百八番地　矢野豐八
一監事ノ氏名住所
香川縣三豐郡萩原村三百十八番戸　渡邊爲吉
同所三百七十番戸　岡下金吉
同所四百九番戸　清水直次良
一存立ノ時期　明治六十一年四月二十日
右明治四十一年五月二十一日登記

觀音寺區裁判所姫ノ江出張所

産業組合設立

一名稱　無限責任庄内村購買販賣組合　一組織　無限責任　一事務所　鈴鹿郡庄内村大字原村二千四百三十番地ノ一　一目的　本組合ハ組合員ノ委托ヲ受ケ其生産シタル農産物ヲ販賣シ若クハ農業又ハ生計ニ必要ナル物品ヲ購買シ之ヲ組合員ニ賣却スルコト　一設立許可ノ年月日　明治四十一年一月九日　一出資一口ノ金額　金十圓　一出資拂込ノ方法　第一回拂込ノ金額ハ出資一口ニ付金五圓トス第一回拂込後ハ剰餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外左ノ各號ノ一ニヨリ出資拂込ヲ爲スコトヲ得(一)出資各口ニ付六月末及十二月末ニ金一圓以上拂込ヲナスコト(二)前號ノ外米作及蠶繭等收穫ノ場合ニ於テハ臨時ニ拂込ヲナスコト　一理事ノ氏名住所　鈴鹿郡庄内村大字原村百五十七番屋敷佐藤初次郎　同上六番屋敷中村長松同上九十一番屋敷大平佐平治同上大字三畑千五百九十一番地川北庄太郎　同上百三十四番屋敷内田要治郎同上二百三十四番屋敷坂口兵四郎　一監事ノ氏名住所　鈴鹿郡庄内村大字原村五十番屋敷佐藤邦治同上二千九百三十六番地藤井秀光　一存立ノ時期　無期限
右明治四十一年五月十八日登記

龜山區裁判所

産業組合設立登記

名稱有限責任七浦信用購買販賣組合　組織有限責任　事務所藤津郡七浦村大字音成千九百三番地二　目的(一)組合員ノ産業ニ必要ナル資本ヲ貸附及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(二)組合員ノ農事及生計ニ必要ナル物品ヲ購買シ之ヲ組合員ニ賣却スルコト(三)組合員ノ依托ヲ受ケ其生産物ヲ販賣スルコト　設立許可ノ年月日明治四十一年四月十五日　出資一口ノ金額五圓　出資拂込ノ方法第一回拂込ハ出資一口ニ付金二圓トス第二回拂込ハ明治四十一年六月十五日ニ金一圓トス第三回拂込ハ同年十二月十五日ニ金二圓トス　理事ノ氏名住所藤津郡七浦村大字音成七十五番地中村寛治同大字二百二十六番地石橋銀之助同村大字飯田甲千九百七十八番地中野儀六同大字三百八十九番地七井多吉　監事ノ氏名住所同村大字音成三百四番地江副保同村大字飯田二百七十三番地吉口村三　存立ノ時期又ハ解散ノ事由設立ノ日ヨリ二十五年(一)總會ノ決議(二)組合ノ合併(三)組合員カ七人未滿ニ減シタル時　右明治四十一年五月十八日登記

武雄區裁判所七浦出張所

産業組合登記第二號

一名稱　無限責任小白府信用組合
一組織　無限責任
一事務所　山形縣南村山郡山元村大字小白府三十二番地
一目的　組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシム
一設立許可年月日　明治四十一年五月七日
一出資一口金額　二十圓
一出資拂込ノ方法　第一回拂込後ハ剰餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外出資一口ニ付毎年八、十月ノ末日迄ニ金三圓ツヽ拂込ムモノトス
一理事ノ氏名住所
山形縣南村山郡山元村大字小白府三十二番地　江口茂八
同縣同郡同村大字狸森千四百二十四番地　横戸長作
同縣同郡同村大字小白府二百十四番地　門間德治
一監事ノ氏名住所
山形縣南村山郡山元村大字小白府三十八番地　江口市藏
同縣同郡同村大字同四百六十四番地　川合善六
同縣同郡同村大字同六百三十二番地　大宮新五郎
一存立時期　設立許可ノ日ヨリ滿二十箇年
右明治四十一年五月二十日登記

山形區裁判所柏倉門傳出張所

産業組合設立登記

名稱保證責任六戸信用購買販賣組合　組織保證責任　事務所青森縣上北郡六戸村大字犬落瀬字千刈田五番地二號　目的産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト農業ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト組合員ノ生産シタル農産物ヲ購買シテ之ヲ販賣スルコト　設立許可ノ年月日明治四十一年三月二十六日　出資一口ノ金額金十圓　出資拂込ノ方法出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金二圓トス第一回拂込後ハ剰餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノヽ外組合員ハ出資各口ニ付毎年十一月末迄ニ金二圓ツヽヲ拂込ムコト　理事ノ氏名住所上北郡六戸村大字折茂字前田百八十三番地吉田貞次郎同郡同村大字柳町二十番戸成田安次郎同郡同村大字同二番戸苫米地吉政同郡同村大字鶴喰字若宮下一番地津島丹藏同郡同村大字柳町字下川原二十九番地苫米地順司　同郡同村大字鶴喰字鶴喰十五番地松島孝吉同郡同村大字同字同八番地田中久次郎同郡同村大字犬落瀬字千刈田五番地二號　田口庄次郎同郡同村大字下吉田十二番戸種市繁太郎同郡同村大字折茂七十二番戸吉田廉助　同郡同村大字上吉田二十番戸吉田政治同郡同村大字同十五番戸山内福太郎同郡同村大字同四十七番戸山内伊太郎　同郡同村大字同七十番戸圓子廣治同郡同村大字小平字千刈田二十七番地小泉彌兵衛同郡同村大字下吉田字米澤八番地吉田和太郎同郡同村大字折茂百十三番戸沖澤權太郎同郡同村大字下吉田十一番戸　種市政治同郡同村大字折茂五十九番戸吉田庄一郎同郡同村大字同十九番戸第一號外山要助　監事ノ氏名住所上北郡六戸村大字折茂五十六番戸吉田重太郎同郡同村大字鶴喰字明堂二十二番地　保土澤長助同郡同村大字上吉田字上川原六番地一號吉田則定　存立時期ナシ
右明治四十一年五月二十日登記

八戸區裁判所三本木出張所

○準禁治産宣告

愛知縣碧海郡櫻井村大字川島二十九番戸平民職業不詳　加藤常太郎
明治六年十一月十一日生

右ノ者ニ對シ加藤喜右衛門ノ申立ニ依リ浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告シタリ

明治四十一年五月二十二日

西尾區裁判所
判事　村瀬熊吉

愛知縣幡豆郡西尾町大字八ツ面字麓四十五番地平民農　松田嘉六
明治十六年五月二十三日生

右ノ者ニ對シ松田嘉次三郎ノ申立ニ依リ浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告シタリ

明治四十一年五月二十二日

西尾區裁判所
判事　村瀬熊吉

○準禁治産宣告取消

栃木縣河内郡藥師寺村大字成田十四番地平民農　園部豐次郎
明治元年十二月一日生

右ニ對シ明治四十年六月十九日當區裁判所カ宣告シタル準禁治産ハ父園部定八ノ申立ニ因リ本月十四日之ヲ取消シタリ

明治四十一年五月二十二日

宇都宮區裁判所
判事　佐々木軌三